

General	Elective	英語総合2	1195211	Academic Credit	2	<input type="text"/>	Taninaka Toshihiro
General	Elective	ドイツ語	1195301	School Credit	1	<input type="text"/>	chang chinhu i
General	Elective	中国語	1195302	School Credit	1	<input type="text"/>	Zhao Tong
General	Elective	日本語の表現	1195501	Academic Credit	2	<input type="text"/>	Tsuboi Taiji, Nishikori Hirofumi

Anan College		Year	2020	Course Title	体育
Course Information					
Course Code	1111101	Course Category	General / Compulsory		
Class Format	Lecture	Credits	School Credit: 2		
Department	Liberal Arts and Sciences	Student Grade	1st		
Term	Year-round	Classes per Week	2		
Textbook and/or Teaching Materials	なし/なし				
Instructor	Arai Osamu, Nakashima Hajime				
Course Objectives					
1. 互い協力し合い、主体的に運動に参加できる。 2. 自己の能力に応じて、運動の技能や体力を身につけることができる 3. 安全に留意して運動や活動ができる。					
Rubric					
	理想的な到達レベル(優)	標準的な到達レベル(良)	最低限の到達レベル(可)		
到達目標1	自己及び、仲間の取るべき行動を判断し、適切に働きかけながら準備や活動に参加できる。	自己の取るべき行動を判断し、他人と互いに協力しながら準備や活動に参加できる。	周囲に合わせて、準備や活動を行うことができる。		
到達目標2	自己の能力を理解し、適切なプログラムを作成して運動の技能や体力を身につける事ができる。	教員が指示したプログラムに従い、運動の技能や体力を身につける事ができる。	教員が指示したプログラムに従い、運動の技能や体力を身につける取り組みができる。		
到達目標3	活動中、自己のみならず仲間の安全に留意し、必要に応じて危険を回避する行動をとる事ができる。	活動中、自己の安全に留意し、必要に応じて危険を回避する行動をとる事ができる。	教員の指示により、安全に留意することができる。		
Assigned Department Objectives					
Teaching Method					
Outline	運動を行うことにより、運動することの楽しさや喜びの実感、運動に必要な技能の習得及び、体力の向上を図る。あわせて自ら意欲的に運動に取り組む姿勢や、生涯に渡って運動に親しむ態度を育てる。特に本授業では、運動自体を楽しみながら、各運動に必要な技能の習得及び、体力の向上を図ることに重点を置く。				
Style	各種目のルールを説明、基本的な技能の習得、ゲームの実践と段階的に競技を行なう。 授業時間 60 時間				
Notice	普段から健康管理を心がけ、風邪などにより授業を見学・欠席することの無いよう気をつけてください。 学校指定の体操服で活動して下さい。 天候等、やむを得ない事情により、実施種目は変更されることがあります。 体育大会は授業時数に含まれますので、欠席しないようにして下さい。				
Course Plan					
			Theme	Goals	
1st Semester	1st Quarter	1st	バスケットボール	バスケットボールのルールを理解し説明できる。	
		2nd	バスケットボール	バスケットボールのルールを理解し説明できる。	
		3rd	バスケットボール	パス、ドリブル、シュート等の個人技能を習得する。	
		4th	バスケットボール	パス、ドリブル、シュート等の個人技能を習得する。	
		5th	バスケットボール	互いに協力し、ゲームを実践できる。	
		6th	バスケットボール	互いに協力し、ゲームを実践できる。	
		7th	バレーボール	バレーボールのルールを理解し説明できる。	
		8th	バレーボール	バレーボールのルールを理解し説明できる。	
	2nd Quarter	9th	バレーボール	サーブ、パス、スパイク等の個人技能を習得する。	
		10th	バレーボール	サーブ、パス、スパイク等の個人技能を習得する。	
		11th	バレーボール	互いに協力し、ゲームを実践できる。	
		12th	バレーボール	互いに協力し、ゲームを実践できる。	
		13th	体育大会 (前期)	参加する種目で、仲間と協力してゲームを実践できる。	
		14th	体育大会 (前期)	参加する種目で、仲間と協力してゲームを実践できる。	
		15th	体育大会 (前期)	参加する種目で、仲間と協力してゲームを実践できる。	
		16th			
2nd Semester	3rd Quarter	1st	新体力テスト	自らの体力の重要性を理解し、正確に測定ができる。	
		2nd	新体力テスト	自らの体力の重要性を理解し、正確に測定ができる。	
		3rd	バドミントン	バドミンントンのルールを理解し説明できる。	
		4th	バドミントン	サーブ、ストローク、スマッシュ等の個人技能を習得する。	
		5th	バドミントン	サーブ、ストローク、スマッシュ等の個人技能を習得する。	
		6th	バドミントン	互いに協力し、ゲームを実践できる。	
		7th	バドミントン	互いに協力し、ゲームを実践できる。	
		8th	卓球	卓球のルールを理解し説明できる。	
	4th Quarter	9th	卓球	サーブ、レシーブ、スマッシュ等の個人技能を習得する。	

		10th	卓球	サービス、レシーブ、スマッシュ等の個人技能を習得する。
		11th	卓球	互いに協力し、ゲームを実践できる。
		12th	卓球	互いに協力し、ゲームを実践できる。
		13th	ニュースポーツ	主体的に参加し、仲間と協力してゲームを実践できる。
		14th	ニュースポーツ	主体的に参加し、仲間と協力してゲームを実践できる。
		15th	ニュースポーツ	主体的に参加し、仲間と協力してゲームを実践できる。
		16th		

Evaluation Method and Weight (%)

	定期試験	小テスト	ポートフォリオ	発表・取り組み姿勢	その他	Total
Subtotal	0	0	0	0	100	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	100	100

Anan College		Year	2020	Course Title	基礎数学 1
Course Information					
Course Code	1111A01	Course Category	General / Compulsory		
Class Format	Lecture	Credits	School Credit: 4		
Department	Liberal Arts and Sciences	Student Grade	1st		
Term	Year-round	Classes per Week	4		
Textbook and/or Teaching Materials	「高等学校 数学 I、数学 II」、 「新課程チャート式基礎と演習 数学 I + A、II + B」、 「はぎ取り式練習ドリル 数学 I、数学 II」 (数研出版)				
Instructor	Yamada Kohtarō				
Course Objectives					
1. 多項式の基本的な計算ができる。 2. 2次関数について理解し、具体的な事象の考察や2次不等式を解くことなどに活用できる。 3. 三角比の意味について理解し、具体的な事象の考察に活用できる。 4. 三角関数について理解し、その計算ができる。					
Rubric					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安(可)		
到達目標1	和や積の組み合わせを工夫して、式の展開や因数分解を行うことができる。	多項式の計算ができる。	多項式の基本的な計算ができる。		
到達目標2	具体的な事象に対し、2次方程式や2次不等式を用いて、問題を解決することができる。	2次関数について理解し、2次方程式や2次不等式を解くことができる。	基本的な2次方程式や2次不等式を解くことができる。		
到達目標3	具体的な事象に対し、三角比および正弦定理・余弦定理を用いて、問題を解決することができる。	三角比の意味について理解し、三角比および正弦定理・余弦定理を用いた計算ができる。	基本的な三角比および正弦定理・余弦定理を用いた計算ができる。		
到達目標4	具体的な事象に対し、三角関数を用いて、問題を解決することができる。	三角関数およびそのグラフ等について理解し、三角関数を含む方程式や不等式を解くことができる。	基本的な三角関数を含む方程式や不等式を解くことができる。		
Assigned Department Objectives					
学習・教育到達度目標 B-2					
Teaching Method					
Outline	数学は工業高専において根幹となる科目である。基礎数学 1 では、方程式と不等式、2次関数、図形と計量及び三角関数について基礎的な知識と技能を習得する。また、それらを的確に活用する能力を養い、数学的な見方や考え方を身につける。				
Style	【授業時間120時間】				
Notice	1. 授業に集中し、効率的に学習する方法を確立すること。 2. 数学力の定着には、日々の復習が必要不可欠である。積極的に取り組むこと。 3. 定期試験と数学実力試験は同等に扱う。また提出物および小テストの状況も重視される。 4. 提出物の期限は厳守すること。				
Course Plan					
			Theme	Goals	
1st Semester	1st Quarter	1st	1. 方程式と不等式	1-(1) 整式の加法、減法、乗法ができる。	
		2nd	1. 方程式と不等式	1-(2) 因数分解ができる。	
		3rd	1. 方程式と不等式	1-(2) 因数分解ができる。	
		4th	1. 方程式と不等式	1-(3) 根号を含む計算ができる。	
		5th	1. 方程式と不等式	1-(3) 根号を含む計算ができる。	
		6th	1. 方程式と不等式	1-(4) 1次不等式を解くことができる。	
		7th	1. 方程式と不等式	1-(4) 1次不等式を解くことができる。	
		8th	前期中間試験		
	2nd Quarter	9th	2. 2次関数	2-(1) 2次関数およびそのグラフについて理解している。	
		10th	2. 2次関数	2-(2) 2次関数の最大・最小を求めることができる。	
		11th	2. 2次関数	2-(2) 2次関数の最大・最小を求めることができる。	
		12th	2. 2次関数	2-(3) 2次方程式を解くことができる。	
		13th	2. 2次関数	2-(3) 2次方程式を解くことができる。	
		14th	2. 2次関数	2-(4) 2次不等式を解くことができる。	
		15th	2. 2次関数	2-(4) 2次不等式を解くことができる。	
		16th	前期末試験		
2nd Semester	3rd Quarter	1st	3. 図形と計量	3-(1) 正弦・余弦・正接およびその相互関係を理解している。	
		2nd	3. 図形と計量	3-(1) 正弦・余弦・正接およびその相互関係を理解している。	
		3rd	3. 図形と計量	3-(1) 正弦・余弦・正接およびその相互関係を理解している。	
		4th	3. 図形と計量	3-(2) 正弦定理・余弦定理を理解している。	
		5th	3. 図形と計量	3-(2) 正弦定理・余弦定理を理解している。	
		6th	3. 図形と計量	3-(2) 正弦定理・余弦定理を理解している。	
		7th	3. 図形と計量	3-(3) 三角比を用いて三角形の面積を求めることができる。	

4th Quarter	8th	後期中間試験	
	9th	4. 三角関数	4-(1) 弧度法および一般角の三角関数について理解している。
	10th	4. 三角関数	4-(1) 弧度法および一般角の三角関数について理解している。
	11th	4. 三角関数	4-(1) 弧度法および一般角の三角関数について理解している。
	12th	4. 三角関数	4-(2) 三角関数の性質とグラフについて理解している。
	13th	4. 三角関数	4-(2) 三角関数の性質とグラフについて理解している。
	14th	4. 三角関数	4-(3) 加法定理を理解している。
	15th	4. 三角関数	4-(3) 加法定理を理解している。
	16th	学年末試験	

Evaluation Method and Weight (%)

	定期試験	小テスト	ポートフォリオ	発表・取り組み姿勢	その他	Total
Subtotal	80	0	20	0	0	100
基礎的能力	80	0	20	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2020	Course Title	数学A
Course Information					
Course Code	1111A02		Course Category	General / Compulsory	
Class Format	Lecture		Credits	School Credit: 2	
Department	Liberal Arts and Sciences		Student Grade	1st	
Term	Year-round		Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	「改訂版 高等学校 数学A, 数学 I, 数学 II」(数研出版) / 「改訂版 チャート式 基礎からの数学 I + A, II + B」, 「はぎ取り式練習ドリル 数学A, I, II」(数研出版)				
Instructor	Tagami Takanori				
Course Objectives					
1. 場合の数を, 順列や組み合わせと関連して理解し整理できる。 2. 確率を集合との関係でとらえて計算できる。 3. 指数関数及び対数関数について理解し, その計算ができる。					
Rubric					
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安	
到達目標 1		場合の数, 順列や組合せのやや複雑な計算ができる。	場合の数, 順列や組合せの基本的な計算ができる。	場合の数, 順列や組合せの計算ができない。	
到達目標 2		具体的な事象に対し, 確率を集合との関係で理解することができ, やや複雑な計算ができる。	確率を集合との関係で理解することができ, 基本的な計算ができる。	確率を集合との関係で理解することができない。または, 基本的な計算ができない。	
到達目標 3		指数関数及び対数関数について理解し, やや複雑な計算ができる。	指数関数及び対数関数について理解し, その基本的な計算ができる。	指数関数及び対数関数について理解できない。または, 基本的な計算ができない。	
Assigned Department Objectives					
学習・教育到達度目標 B-2					
Teaching Method					
Outline	数学は工業高専において根幹となる科目である。集合や命題の学習を通して論理的な思考を身につけ, 場合の数や確率を通して日常の中に現れる数学を学ぶ。また, 指数関数・対数関数について学び, 事象を数学的に考察し処理する能力とそれらを活用する態度を育てる。				
Style	1. 授業に集中し, 効率的に学習する方法を確立すること。 2. 数学力の定着には, 日々の予習復習が必要不可欠である。積極的に取り組むこと。 3. 定期試験と数学実力試験は同等に扱う。また提出物および小テストの状況も重視される。 4. 提出物の期限は厳守すること。 【授業時間 60 時間】				
Notice					
Course Plan					
			Theme	Goals	
1st Semester	1st Quarter	1st	集合	集合について理解している。	
		2nd	集合	補集合とド・モルガンの法則を理解している。	
		3rd	場合の数	集合の要素と個数を理解している。	
		4th	場合の数	集合の要素と個数を理解している。	
		5th	場合の数	順列の計算ができる。	
		6th	場合の数	順列の計算ができる。	
		7th	場合の数	組合せの計算ができる。	
		8th	前期中間試験		
	2nd Quarter	9th	場合の数	組合せの計算ができる。	
		10th	確率	事象と確率を理解している。	
		11th	確率	確率の基本性質を理解している。	
		12th	確率	独立な試行の確率を求めることができる。	
		13th	確率	独立な試行の確率を求めることができる。	
		14th	確率	反復試行の確率を求めることができる。	
		15th	確率	反復試行の確率を求めることができる。	
		16th	前期末試験返却		
2nd Semester	3rd Quarter	1st	命題と条件	命題と条件について理解している。	
		2nd	命題と条件	必要条件, 十分条件について理解している。	
		3rd	命題と条件	命題と証明について理解している。	
		4th	指数関数	指数法則を理解している。	
		5th	指数関数	累乗根の計算ができる。	
		6th	指数関数	指数が有理数である指数法則を理解している。	
		7th	指数関数	指数の拡張に関する計算ができる。	
		8th	後期中間試験		
	4th Quarter	9th	指数関数	指数の拡張に関する計算ができる。	
		10th	指数関数	指数関数とそのグラフの関係を理解している。	
		11th	指数関数	指数関数を含む方程式, 不等式の解法を理解している。	
		12th	対数関数	指数と対数の関係を理解している。	
		13th	対数関数	対数とその性質を理解している。	

		14th	対数関数	対数関数とそのグラフの関係を理解している。
		15th	対数関数	対数関数を含む方程式，不等式の解法を理解している。
		16th	学年末試験	

Evaluation Method and Weight (%)

	定期試験	小テスト	ポートフォリオ	発表・取り組み	その他	Total
Subtotal	80	0	20	0	0	100
基礎的能力	80	0	20	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0

Anan College	Year	2020	Course Title	物理 1
--------------	------	------	--------------	------

Course Information

Course Code	1111B01	Course Category	General / Compulsory
Class Format	Lecture	Credits	School Credit: 1
Department	Liberal Arts and Sciences	Student Grade	1st
Term	Second Semester	Classes per Week	2
Textbook and/or Teaching Materials	総合物理 1 (数研)、リードα問題集 (数研)		
Instructor	Sonoda Akihiko		

Course Objectives

物体にはたらく力を理解し、図で表すことができる。物体に対する力のつりあいの式を立てることができる。物体の運動に関してニュートンの3法則を用いた基本的な計算を行うことができる。静止摩擦力と動摩擦力の違いについて説明でき、計算できる。物体の運動エネルギー、重力による位置エネルギー、弾性力による位置エネルギーに関して理解している。保存力について説明できる。力学的エネルギーの保存則に関する問題を解くことができる。力学的エネルギーが保存しない場合の問題を解くことができる。

Rubric

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安(可)
1. 力	物体にはたらく力を図示でき、その関係を説明でき、力の計算ができる。	物体にはたらく力を図示でき、力の計算ができる。	重力や弾性力などの計算ができる。
2. 力のつりあいの式	力のつりあいの諸問題について解くことができる。	複数の物体にはたらく力のつりあいの式を求めることができる。	斜面上における物体にはたらく力のつりあいの式を求めることができる。
3. 慣性の法則	慣性の法則に関する諸問題について解くことができる。	慣性の法則について説明することができる。	慣性の法則が成り立つ例を挙げることができる。
4. 運動方程式	2体に多数の力がはたらく際の運動方程式を立てることができ、解を求めることができる。	2体における運動方程式を立てることができ、解を求めることができる。	1体における運動方程式を立てることができ、解を求めることができる。
5. 作用・反作用の法則	作用・反作用の法則に関する諸問題について解くことができる。	作用・反作用の法則について説明することができる。	作用・反作用の法則にしたがう例を挙げることができる。
6. 静止摩擦力と動摩擦力	摩擦力とその他の力がはたらく物体における複合問題を解くことができる。	静止摩擦力と動摩擦力の標準的な問題を解くことができる。	静止摩擦力と動摩擦力の違いについて説明できる。
7. 圧力、浮力	圧力と浮力における発展問題を解くことができる。	圧力と浮力における標準問題を解くことができる。	圧力と浮力における基本問題を解くことができる。
8. 仕事・仕事率	力が一定でない場合の仕事について理解し、説明できる。	仕事と仕事率の標準問題を解くことができる。	仕事と仕事率の定義を説明でき、計算することができる。
9. 運動エネルギーと位置エネルギー	保存力と位置エネルギーの一般論を理解し、説明することができる。	位置エネルギーの基準点について正確に理解し、標準問題を解くことができる。	運動エネルギーと位置エネルギーの式を書くことができ、簡単な計算問題が解くことができる。
10. 力学的エネルギーの保存則	重力やばねによる位置エネルギーに関連した複合問題を解くことができる。	力学的エネルギーの保存則の式を運動エネルギーと仕事の関係式から導出でき、標準問題を解くことができる。	力学的エネルギーの保存則の式を書くことができ、基本問題を解くことができる。

Assigned Department Objectives

学習・教育到達度目標 B-3

Teaching Method

Outline	自然現象を系統的、論理的に考えていく能力を養い、広く自然現象を科学的に解明するための見方、考え方を身につける。物理は工学を学ぶための極めて重要な基礎であり、多くの分野において科学技術の発展に欠かせない知識・素養を身につけることを目的とする。1年生では、力学を中心に学習する。
Style	講義では積極的に発言し、理解できないことや疑問に思ったことなどは質問すること。また、友達や先輩などを捕まえて積極的に議論を行うこと。予習→講義→復習、このサイクルを大切に、自分の理解度が定量的に分かるようにしておくこと。
Notice	簡単な物理実験を行う場合がある。そのときは事前に連絡を行う。

Course Plan

		Theme	Goals	
2nd Semester	3rd Quarter	1st	力のつりあい	図を用いて力のつりあいの式を立てることができる
		2nd	運動の法則1	慣性の法則を説明できる
		3rd	運動の法則2	運動方程式の内容を説明できる
		4th	運動の法則3	作用・反作用の法則を説明できる
		5th	運動の法則4	簡単な系に対して運動方程式を立てることができる
		6th	運動の法則5	斜面上の物体の運動方程式をあつかえる
		7th	運動の法則6	2物体の運動方程式をあつかえる
		8th	中間試験	
	4th Quarter	9th	摩擦を受ける運動	静止摩擦力と最大摩擦力を説明できる
		10th	摩擦を受ける運動	動摩擦力を説明できる
		11th	液体や気体から受ける力	圧力、浮力を説明できる
		12th	仕事とエネルギー	仕事とエネルギーの関係について説明できる
		13th	運動エネルギー	運動エネルギーを計算できる
		14th	位置エネルギー	種々の位置エネルギーを計算できる

		15th	力学的エネルギー保存則	力学的エネルギー保存則を使って問題を解くことができる		
		16th	期末試験返却			
Evaluation Method and Weight (%)						
	定期試験	小テスト	ポートフォリオ	発表・取り組み姿勢	その他	Total
Subtotal	50	25	0	0	25	100
基礎的能力	40	25	0	0	25	90
専門的能力	10	0	0	0	0	10
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2020	Course Title	化学 1	
Course Information						
Course Code	1111D01		Course Category	General / Compulsory		
Class Format	Lecture		Credits	School Credit: 1		
Department	Liberal Arts and Sciences		Student Grade	1st		
Term	Second Semester		Classes per Week	2		
Textbook and/or Teaching Materials	化学基礎（第一学習社）、フォローアップドリル化学基礎（数研出版）、リードα化学基礎+化学（数研出版）、化学図録（数研出版）					
Instructor	Yamada Yohei					
Course Objectives						
1.化学結合の概念と物質が持つ性質をリンクさせて説明することができる。 2.代表的なイオンや化学物質の名前や化学式を記述できる 3.化学反応式が記述でき、定量的に化学反応を扱うことができる。 4. pHの計算ができ、滴定実験の原理や滴定曲線について説明することができる。						
Rubric						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
化学結合	共有結合・イオン結合・金属結合・化学結合に付随する各種概念（極性・結晶）について正確に説明できる。関連する演習問題を解くことができる。		共有結合・イオン結合・金属結合・化学結合に付随する各種概念（極性・結晶）について簡易に説明できる。関連する演習問題をある程度解くことができる。		化学結合の考え方をを用いた基礎的な問題であれば解くことができる。	
化学式・イオン式	専門的な物質にまで幅を広げて名前や化学式を覚え、書くことができる。		代表的な物質の名前や化学式を覚え、書くことができる。		代表的な物質の名前や化学式をごく一部のみ覚えたり、書いたりできる。	
物質・化学反応式・量的関係	係数が1でない反応や過不足のある反応に関する応用問題を解くことができる。教科書に記載されるレベルの化学反応式であれば、正確に書くことができる。		係数が1でない反応や過不足のある反応に関する標準的な問題を解くことができる。代表的な物質の化学式を覚え、化学反応式を書くことができる。		量的関係に関する基礎的な問題であれば解くことができる。	
pHの考え方・酸塩基滴定	pHの定義を説明できる。応用的なpHの計算問題を解くことができる。中和滴定実験に関する原理の説明や結果の考察を滴定曲線の形状にまで踏み込んだ議論ができる。		pHの定義を説明できる。標準的なpHの計算問題を解くことができる。中和滴定実験に関する原理の説明や結果の考察がある程度できる。		pHに関する基礎的な問題であれば解くことができる。	
Assigned Department Objectives						
学習・教育到達度目標 B-3						
Teaching Method						
Outline	前期の理工学基礎での知識をベースにして、更に化学の学習を進めていく。化学に関する重要語句や概念が数多く出てくるので、語句の意味については学生自身が説明できるようになるまで、反復して覚えること。また、定量的に化学反応を扱う能力を身に付けること。					
Style	基本的に、解説と演習のサイクルで授業を進めていく。演習の際には集中して問題を解くこと、分からないことがあれば積極的に議論すること。					
Notice						
Course Plan						
			Theme	Goals		
2nd Semester	3rd Quarter	1st	共有結合	共有結合の原理を説明できる。分子模型を用いて簡単な分子を組み立てることができる。		
		2nd	共有結合	簡単な物質の電子式と構造式が書ける。		
		3rd	配位結合・分子の極性	配位結合と分子の極性を説明できる。		
		4th	分子間の結合	分子結晶の特徴を説明できる。極性分子間に働く力を説明できる。		
		5th	物質質量	原子量、分子量、式量の考え方を説明できる。		
		6th	物質質量	物質質量を用いた簡単な計算ができる。		
		7th	化学反応式	化学反応式の係数を決定できる。簡単な化学反応式が書ける。		
		8th	中間試験	中間試験		
	4th Quarter	9th	化学反応式	化学反応式の量的関係に関する簡単な計算問題が解ける。		
		10th	化学反応式	化学反応式の量的関係に関する簡単な計算問題が解ける。		
		11th	酸と塩基	酸と塩基の定義を説明できる。		
		12th	酸と塩基	簡単なpHの計算問題が解ける。		
		13th	酸と塩基	中和滴定の操作の原理を説明できる。		
		14th	酸と塩基	中和滴定実験を行うことができる。		
		15th	酸と塩基	中和滴定曲線や指示薬の選択について簡単な説明ができる。		
		16th	期末試験	期末試験返却		
Evaluation Method and Weight (%)						
	試験	小テスト	ポートフォリオ	発表・取り組み姿勢	その他	Total
Subtotal	50	25	0	0	25	100

基礎的能力	40	25	0	0	25	90
專門的能力	10	0	0	0	0	10
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2020	Course Title	理科総合
Course Information					
Course Code	1111F01		Course Category	General / Compulsory	
Class Format	Lecture		Credits	School Credit: 2	
Department	Liberal Arts and Sciences		Student Grade	1st	
Term	First Semester		Classes per Week	4	
Textbook and/or Teaching Materials	総合物理 1 (数研)、化学基礎 (第一学習社)、地学基礎 (啓林館)、生物基礎 (東京書籍)				
Instructor	Matsuo Toshihiro, Sonoda Akihiko, Yoshimura Hiroshi, Ota Naotomo				
Course Objectives					
<p>理工学基礎：工学、自然科学を対象とする量や単位について、基本的な取り扱いができる。</p> <p>物理：物体の運動に関してニュートンの3法則を用いた基本的な計算を行うことができる。</p> <p>化学：身の回りにおける物質の性質やその変化を、化学的な観点(化学結合や物質量)を用いて理解できる。</p> <p>地学：地球の表層や内部構造について理解し、プレート境界での地震活動について説明できる。</p> <p>生物：生物の進化や多様性・生態系について理解するとともに、地球環境問題の原因や保全対策について説明できる。</p>					
Rubric					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		最低限の到達レベルの目安(可)
理工学基礎	工学、自然科学を対象とする量や単位について、原理を理解し、自在に取り扱うことができる。		工学、自然科学を対象とする量や単位に関する典型的な問題について取り扱える。		工学、自然科学を対象とする量や単位について、基本的な取り扱いができる。
物理	速度、加速度を説明でき、斜方投射の公式を導出でき、応用問題を解くことができる。		速度、加速度を説明でき、斜方投射の公式を導出でき、基本問題を解くことができる。		速度、加速度を説明でき、斜方投射の公式に当てはめて、基本問題を解くことができる。
化学	身の回りにおける物質の性質やその変化を、化学的な観点(化学結合や物質量)を用いて説明でき、問題解決に応用できる。		身の回りにおける物質の性質やその変化を、化学的な観点(化学結合や物質量)を用いて説明できる。		身の回りにおける物質の性質やその変化を、化学的な観点(化学結合や物質量)を用いて理解できる。
地学	地球の表層や内部構造について説明でき、プレート境界での地震活動を説明できる。		地球の表層や内部構造について理解し、プレート境界での地震活動を説明できる。		地球の表層や内部構造について理解し、プレート境界での地震活動を理解できる。
生物	生物の進化や多様性、生態系について理解し、持続可能な社会を目指すための環境保全活動ができる。		生物の進化や多様性、生態系について理解し、地球環境問題の原因と影響、保全対策について説明できる。		生物の進化や多様性、生態系について理解し、環境問題の生物への影響や保全対策が理解できる。
Assigned Department Objectives					
学習・教育到達度目標 B-3					
Teaching Method					
Outline	理科の総合的学習を通じて、自然現象を系統的、論理的に考えていく能力を養い、広く自然現象を科学的に解明するための見方、考え方を身につける。物理・化学・生物・地学は工学を学ぶための極めて重要な基礎であり、多くの分野において科学技術の発展に欠かせない知識・素養を身につけることを目的とする。				
Style	理工学基礎(第1~2週)、地学・生物(第3~7週)、物理・化学(第9週以降)の順に授業を行う。 【授業時間120時間】				
Notice	地学、生物分野の成績評価についてはレポート課題によって行う。(各10%)				
Course Plan					
			Theme	Goals	
1st Semester	1st Quarter	1st	理工学基礎：有効数字	数値の取り扱い方を理解し、有効桁数を考慮した数値の計算ができる。	
		2nd	理工学基礎：数値と単位	数値の意味を理解し、種々の物理量に単位をつけることができる。	
		3rd	地学：宇宙と地球 生物：生物進化と生物多様性	地学：地球の外観について理解し、地球表層や内部の地学的事象を説明できる。 生物：生物の構造を知り、進化や多様性について理解できる	
		4th	地学：宇宙と地球 生物：生物進化と生物多様性	地学：地球の外観について理解し、地球表層や内部の地学的事象を説明できる。 生物：生物の構造を知り、進化や多様性について理解できる	
		5th	地学：大気と海洋 生物：生物進化と生物多様性	地学：地球の外観について理解し、地球表層や内部の地学的事象を説明できる。 生物：生物の構造を知り、進化や多様性について理解できる	
		6th	地学：大気と海洋 生物：人間活動と地球環境の保全	地学：地球の大気圏、水圏での基礎的な現象を説明できる。 生物：生態系の構成要素とその関係について理解し、地球環境問題の原因と影響、保全対策について説明できる	
		7th	地学：大気と海洋 生物：人間活動と地球環境の保全	地学：地球の大気圏、水圏での基礎的な現象を説明できる。 生物：生態系の構成要素とその関係について理解し、地球環境問題の原因と影響、保全対策について説明できる	
		8th	中間試験		
	2nd Quarter	9th	物理：変位・速度・加速度 化学：物質の成分	物理：変位・速度・加速度の定義を説明できる 化学：混合物と純物質の違い、混合物を分離・生成する方法を説明できる。	

	10th	物理：変位・速度・加速度 化学：物質の成分	物理：平面運動の変位が説明できる 化学：化合物と単体、同素体、物質の三態などの用語を説明できる。
	11th	物理：変位・速度・加速度 化学：原子の構造	物理：相対速度の問題が解ける 化学：原子の構造、電子配置の考え方を説明できる。
	12th	物理：変位・速度・加速度 化学：原子の構造・周期表	物理：等加速度直線運動の公式を運用して問題が解ける 化学：周期表と電子配置の関係を説明できる。
	13th	物理：落体の運動 化学：周期表	物理：自由落下、鉛直投射の問題が解ける 化学：族と周期、金属元素と非金属元素などの語句を説明できる。
	14th	物理：落体の運動 化学：化学結合	物理：水平・斜方投射の問題が解ける 化学：化学結合の概要を説明できる。
	15th	物理：いろいろな力 化学：イオン化、イオン結合	物理：重力や弾性力、摩擦力の性質を説明できる 化学：イオン化の生成やイオン化の際に必要なエネルギーを説明できる。イオン結合と説明でき、組成式が記述できる。
	16th	期末試験返却	

Evaluation Method and Weight (%)

	中間・定期試験	小テスト	ポートフォリオ	発表・取り組み姿勢	その他	Total
Subtotal	40	10	20	10	20	100
基礎的能力	30	10	20	10	20	90
専門的能力	10	0	0	0	0	10
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2020	Course Title	日本語総合
Course Information					
Course Code	1111G01		Course Category	General / Compulsory	
Class Format	Lecture		Credits	School Credit: 2	
Department	Liberal Arts and Sciences		Student Grade	1st	
Term	Year-round		Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	高専日本語アビリティ I (阿南高専) / 常用漢字ダブルクリア (尚文出版)				
Instructor	Nishikori Hirofumi				
Course Objectives					
1. 情報の収集・整理を行い、構成を工夫して口頭発表できる。 2. 実用的な文章を、目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。 3. 古文・漢文の表現を理解し、意味・内容を説明できる。					
Rubric					
		理想的な到達レベル(優)	標準的な到達レベル(良)	最低限の到達レベル(可)	
到達目標1		情報の収集・整理を適切に行い、論理的な構成、適切な表現スキルにより口頭発表できる。	情報の収集・整理を適切に行い、論理的な構成により口頭発表できる。	情報の収集・整理を行い、構成を工夫して口頭発表できる。	
到達目標2		実用的な文章を、目的に応じた体裁や語句を適切に用いて即応的に作成できる。	実用的な文章を、目的に応じた体裁や語句を適切に用いて作成できる。	実用的な文章を、目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。	
到達目標3		古文・漢文の表現を理解し、意味・内容を自分の考えを加えて適切に説明できる。	古文・漢文の表現を理解し、意味・内容を適切に説明できる。	古文・漢文の表現を理解し、意味・内容を説明できる。	
Assigned Department Objectives					
学習・教育到達度目標 C-2					
Teaching Method					
Outline	科学技術に関するものを含む広範囲な日本語を対象に、より高度な理解、柔軟な発想・思考、豊かな口頭表現を含む効果的なコミュニケーションや主体的な表現ができることを目的とする。				
Style	授業は、文章表現に関する学習・練習を基本とする。また、表現力・理解力を育むために漢字学習を行う。【授業時間60時間】				
Notice	毎時間の冒頭に「読書の時間」を設けるので、各自で本を用意すること（マンガ、雑誌、テキストを除く）。				
Course Plan					
			Theme	Goals	
1st Semester	1st Quarter	1st	ガイダンス、校歌	シラバスにより、到達目標、評価割合、達成度基準等を理解する。	
		2nd	文書作成（履歴書）	適切な言葉遣い、構成法を用いて履歴書を作成できる。	
		3rd	文書作成（履歴書）	適切な言葉遣い、構成法を用いて履歴書を作成できる。	
		4th	文書作成（履歴書）	適切な言葉遣い、構成法を用いて履歴書を作成できる。	
		5th	敬語	尊敬語、謙譲語、丁寧語をもちいて、適切な敬語を使用できる。	
		6th	敬語	尊敬語、謙譲語、丁寧語をもちいて、適切な敬語を使用できる。	
		7th	敬語	尊敬語、謙譲語、丁寧語をもちいて、適切な敬語を使用できる。	
		8th	前期中間試験		
	2nd Quarter	9th	詩歌作成（短歌）	短歌の形式に則り、短歌を作成できる。	
		10th	詩歌作成（短歌）	短歌の形式に則り、短歌を作成できる。	
		11th	文書作成（通信文）	通信文の形式に則り、通信文を作成できる。	
		12th	文書作成（通信文）	通信文の形式に則り、通信文を作成できる。	
		13th	文書作成（通信文）	通信文の形式に則り、通信文を作成できる。	
		14th	詩歌作成（俳句）	俳句の形式に則り、俳句を作成できる。	
		15th	詩歌作成（俳句）	俳句の形式に則り、俳句を作成できる。	
		16th	答案返却		
2nd Semester	3rd Quarter	1st	文章作成（超短文）	テーマに沿った効果的な短文を作成できる。	
		2nd	文章作成（超短文）	テーマに沿った効果的な短文を作成できる。	
		3rd	古文（物語・紀行文）	古文の表現を理解し、意味・内容を説明できる。	
		4th	古文（物語・紀行文）	古文の表現を理解し、意味・内容を説明できる。	
		5th	古文（物語・紀行文）	古文の表現を理解し、意味・内容を説明できる。	
		6th	古文（物語・紀行文）	古文の表現を理解し、意味・内容を説明できる。	
		7th	古文（物語・紀行文）	古文の表現を理解し、意味・内容を説明できる。	
		8th	後期中間試験		
	4th Quarter	9th	発表（POPを用いた本の紹介）	POPを作成し、本の魅力を発表することができる。	
		10th	発表（POPを用いた本の紹介）	POPを作成し、本の魅力を発表することができる。	
		11th	発表（POPを用いた本の紹介）	POPを作成し、本の魅力を発表することができる。	

	12th	漢文（漢詩・格言）	漢文の表現を理解し、意味・内容を説明できる。
	13th	漢文（漢詩・格言）	漢文の表現を理解し、意味・内容を説明できる。
	14th	小論文（構成メモ）	小論文作成のための構成メモを作成できる。
	15th	小論文（構成メモ）	小論文作成のための構成メモを作成できる。
	16th	答案返却	

Evaluation Method and Weight (%)

	定期試験	小テスト	ポートフォリオ	発表・取り組み姿勢	その他	Total
Subtotal	70	0	20	5	5	100
基礎的能力	70	0	20	5	5	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2020	Course Title	英語 1
Course Information					
Course Code	1111H01		Course Category	General / Compulsory	
Class Format	Lecture		Credits	School Credit: 2	
Department	Liberal Arts and Sciences		Student Grade	1st	
Term	Year-round		Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	PROMINENCE English Communication I, 同準処予習ノート,およびWORKBOOK Standard, WORD BOX 3000				
Instructor	Fujii Hiromi				
Course Objectives					
1. 予習復習を含む着実な英語の学習習慣を身に付ける。 2. 教科書の読み物を、100語~200語のパートごとに、重要語句と重要文法事項を意識しながら正確に理解できる。 3. 教科書の読み物で学習した重要語句と語彙集の語彙やチャンクの意味を理解し、習得する。					
Rubric					
		理想的な到達レベル	標準的な到達レベル	最低限の到達レベル	
到達目標1		予習復習に加え、自分なりの目標も決めて英語学習を着実に進める習慣が身に付いている。	予習復習中心に着実な英語の学習習慣が身に付いている。	予習復習が十分にはできなかった。	
到達目標2		教科書の読み物の英文で学んだ重要語句・重要文法事項を他の英文の理解にも応用できる。	教科書の読み物の英文を、パートごとに重要語句・重要文法事項を含めば理解できた。	教科書の読み物の英文理解が50%以下にとどまっている。	
到達目標3		教科書の読み物で学習した語句と語彙集の語句を80%以上の正確さで理解し、習得している。	教科書の読み物で学習した語句と語彙集の語句を60%~79%以上の正確さで理解し、習得している。	教科書の読み物で学習した語句と語彙集の語句の理解や習得が60%未満である	
Assigned Department Objectives					
学習・教育到達度目標 C-3					
Teaching Method					
Outline	教科書に収録されているさまざまな題材の読み物の読解演習を通して、正確な読解力と重要語句や重要文法事項を習得する。同時に、教科書の音読を通して英語の発音と自然なリズムと直読直解のスキルを身に付ける。さらに、語彙集を用いて語句やチャンクを暗記し、語句の使い方を学習し、語彙力を増やす。				
Style	教科書準拠の予習ノートを用いて授業を行う。予習では、新出単語や不明な語句を辞書を使って調べる。授業では、単元の学習のポイントをスライドを用いて説明し、その後音読やシャドウイングを行ってインプットの定着を促進する。復習として、その単元のワークブックの問題を解き、学習内容の定着を図る。語彙集に関しては、小テストを随時行い、学習の進捗を確認する。 【授業時間60時間】				
Notice	1. 授業には必ず英和辞典（電子辞書可）を持参すること。 2. オリエンテーションで指示するやり方で、十分予習復習と語彙学習を行うこと。 3. 特別課題として、長期休暇中に課題を課す。 4. 語彙集を用いて、単語テストを実施する。				
Course Plan					
			Theme	Goals	
1st Semester	1st Quarter	1st	新入生課題テスト、オリエンテーション Lesson 1	・学習方法についての理解 ・地球環境や共生、コミュニケーションの重要性や言葉の働きについて理解している。 ・文化による相違点や共通点があることを理解している。 ・「文構造」「to不定詞」「動名詞」の使い方を理解する。 ・英語の音の連結について理解し、音読している。	
		2nd	Lesson 1	・地球環境や共生、コミュニケーションの重要性や言葉の働きについて理解している。 ・文化による相違点や共通点があることを理解している。 ・「文構造」「to不定詞」「動名詞」の使い方を理解する。 ・英語の音の連結について理解し、音読している。	
		3rd	Lesson 1	・地球環境や共生、コミュニケーションの重要性や言葉の働きについて理解している。 ・文化による相違点や共通点があることを理解している。 ・「文構造」「to不定詞」「動名詞」の使い方を理解する。 ・英語の音の連結について理解し、音読している。	
		4th	Lesson 1	地球環境や共生、コミュニケーションの重要性や言葉の働きについて理解している。 ・文化による相違点や共通点があることを理解している。 ・「文構造」「to不定詞」「動名詞」の使い方を理解する。 ・英語の音の連結について理解し、音読している。	
		5th	Lesson 1 Lesson 2	・動物や人間の感情の共通点や相違点について理解している。 ・「現在完了形」「節を表す形式主語のit」「受け身」の使い方を理解する。 ・英文の意味上の区切りでポーズを置き、音読している。	

2nd Quarter		6th	Lesson 2	<ul style="list-style-type: none"> 動物や人間の感情の共通点や相違点について理解している。 「現在完了形」「節を表す形式主語のit」「受け身」の使い方を理解する。 英文の意味上の区切りでポーズを置き、音読している。 	
		7th	Lesson 2	<ul style="list-style-type: none"> 動物や人間の感情の共通点や相違点について理解している。 「現在完了形」「節を表す形式主語のit」「受け身」の使い方を理解する。 英文の意味上の区切りでポーズを置き、音読している。 	
		8th	前期中間試験		
	9th	前期中間答案返却 Lesson 2	<ul style="list-style-type: none"> 動物や人間の感情の共通点や相違点について理解している。 「現在完了形」「節を表す形式主語のit」「受け身」の使い方を理解する。 英文の意味上の区切りでポーズを置き、音読している。 		
	10th	Lesson 4	<ul style="list-style-type: none"> 「リサイクル・オーケストラ」が生まれた背景や、その活動内容について理解する。 環境問題が発生する原因や、それが社会生活に及ぼす影響について理解する。 「使役動詞・知覚動詞」「過去完了形」「S + V + O(O= whatなどで始まる節)」の使い方を理解する。 固有名詞の効果的な読み方に習熟し、相手にわかりやすく音読する。 		
	11th	Lesson 4	<ul style="list-style-type: none"> 「リサイクル・オーケストラ」が生まれた背景や、その活動内容について理解する。 環境問題が発生する原因や、それが社会生活に及ぼす影響について理解する。 「使役動詞・知覚動詞」「過去完了形」「S + V + O(O= whatなどで始まる節)」の使い方を理解する。 固有名詞の効果的な読み方に習熟し、相手にわかりやすく音読する。 		
	12th	Lesson 4	<ul style="list-style-type: none"> 「リサイクル・オーケストラ」が生まれた背景や、その活動内容について理解する。 環境問題が発生する原因や、それが社会生活に及ぼす影響について理解する。 「使役動詞・知覚動詞」「過去完了形」「S + V + O(O= whatなどで始まる節)」の使い方を理解する。 固有名詞の効果的な読み方に習熟し、相手にわかりやすく音読する。 		
	13th	Lesson 4	<ul style="list-style-type: none"> 「リサイクル・オーケストラ」が生まれた背景や、その活動内容について理解する。 環境問題が発生する原因や、それが社会生活に及ぼす影響について理解する。 「使役動詞・知覚動詞」「過去完了形」「S + V + O(O= whatなどで始まる節)」の使い方を理解する。 固有名詞の効果的な読み方に習熟し、相手にわかりやすく音読する。 		
	14th	Lesson 5	<ul style="list-style-type: none"> アメリカの有名雑誌LIFEの特集「過去千年の最重要人物」の上位100人に、日本人で唯一取り上げられた葛飾北斎。その人物像や、作品が西洋美術に与えた影響について知り、日本文化について考える。 句を指す形式目的語のit / 関係代名詞の非制限用法 / 未来完了形 		
	15th	Lesson 5	<ul style="list-style-type: none"> アメリカの有名雑誌LIFEの特集「過去千年の最重要人物」の上位100人に、日本人で唯一取り上げられた葛飾北斎。その人物像や、作品が西洋美術に与えた影響について知り、日本文化について考える。 句を指す形式目的語のit / 関係代名詞の非制限用法 / 未来完了形 		
	16th	前期末試験 前期末答案返却			
	2nd Semester	3rd Quarter	1st	課題テスト1 Lesson 7	<ul style="list-style-type: none"> ユーモアと批判精神に満ちたユニークな賞の面白さを理解する。 「seemなどの動詞」「S + V + O1 + O2 (O2= that節)」「S + suggest など+ that + S + V (V=動詞の原形)」の使い方を理解する。 ピリオド、コンマ、コロンの区切りでポーズを置くことを理解し、音読する。
			2nd	Lesson 7	<ul style="list-style-type: none"> ユーモアと批判精神に満ちたユニークな賞の面白さを理解する。 「seemなどの動詞」「S + V + O1 + O2 (O2= that節)」「S + suggest など+ that + S + V (V=動詞の原形)」の使い方を理解する。 ピリオド、コンマ、コロンの区切りでポーズを置くことを理解し、音読する。
			3rd	Lesson 7	<ul style="list-style-type: none"> ユーモアと批判精神に満ちたユニークな賞の面白さを理解する。 「seemなどの動詞」「S + V + O1 + O2 (O2= that節)」「S + suggest など+ that + S + V (V=動詞の原形)」の使い方を理解する。 ピリオド、コンマ、コロンの区切りでポーズを置くことを理解し、音読する。

4th Quarter	4th	Lesson 7	ユーモアと批判精神に満ちたユニークな賞の面白さを理解する。 <ul style="list-style-type: none"> 「seem などの動詞」 「S + V + O1 + O2 (O2=that節)」 「S + suggest など + that + S + V (V=動詞の原形)」 の使い方を理解する。 ピリオド、コンマ、コロンの区切りでポーズを置くことを理解し、音読する。
	5th	Lesson 7	ユーモアと批判精神に満ちたユニークな賞の面白さを理解する。 <ul style="list-style-type: none"> 「seem などの動詞」 「S + V + O1 + O2 (O2=that節)」 「S + suggest など + that + S + V (V=動詞の原形)」 の使い方を理解する。 ピリオド、コンマ、コロンの区切りでポーズを置くことを理解し、音読する。
	6th	Lesson 8	<ul style="list-style-type: none"> 科学的な題材の典型的な説明の仕方に習熟する。 日本の伝統文化が科学技術にどう応用されているかについての正しい知識を持ち、理解する。 「分詞構文」 「S+ be 動詞+C (C=that 節)」 「仮定法過去完了」 の使い方を理解する。 英語の音の連結について正しく理解し、音読する。
	7th	Lesson 8	<ul style="list-style-type: none"> 科学的な題材の典型的な説明の仕方に習熟する。 日本の伝統文化が科学技術にどう応用されているかについての正しい知識を持ち、理解する。 「分詞構文」 「S+ be 動詞+C (C=that 節)」 「仮定法過去完了」 の使い方を理解する。 英語の音の連結について正しく理解し、音読する。
	8th	後期中間試験	
	9th	後期中間答案返却 Lesson 8	<ul style="list-style-type: none"> 科学的な題材の典型的な説明の仕方に習熟する。 日本の伝統文化が科学技術にどう応用されているかについての正しい知識を持ち、理解する。 「分詞構文」 「S+ be 動詞+C (C=that 節)」 「仮定法過去完了」 の使い方を理解する。 英語の音の連結について正しく理解し、音読する。
	10th	Lesson 8	<ul style="list-style-type: none"> 科学的な題材の典型的な説明の仕方に習熟する。 日本の伝統文化が科学技術にどう応用されているかについての正しい知識を持ち、理解する。 「分詞構文」 「S+ be 動詞+C (C=that 節)」 「仮定法過去完了」 の使い方を理解する。 英語の音の連結について正しく理解し、音読する。
	11th	Lesson 9	<ul style="list-style-type: none"> パラリンピック創設までの経緯とルートヴィヒ・グットマンの功績を理解する。 「関係代名詞what」 「付帯状況のwith」 「強調構文」 の使い方を理解する。 英語の持つ強弱のリズムについて理解し、場面にふさわしい臨場感を出しながら音読する。
	12th	Lesson 9	<ul style="list-style-type: none"> パラリンピック創設までの経緯とルートヴィヒ・グットマンの功績を理解する。 「関係代名詞what」 「付帯状況のwith」 「強調構文」 の使い方を理解する。 英語の持つ強弱のリズムについて理解し、場面にふさわしい臨場感を出しながら音読する。
	13th	課題テスト2 Lesson 9	<ul style="list-style-type: none"> パラリンピック創設までの経緯とルートヴィヒ・グットマンの功績を理解する。 「関係代名詞what」 「付帯状況のwith」 「強調構文」 の使い方を理解する。 英語の持つ強弱のリズムについて理解し、場面にふさわしい臨場感を出しながら音読する。
	14th	Lesson 9	<ul style="list-style-type: none"> ジェーン・ジェイコブズの活動の意義と、信念と勇気を持ち仲間とともに自分の愛するコミュニティーのために行動することの大切さを理解する。 「S + V + O1 + O2 (O2= what など で始まる節)」 「S + V + O1 + O2 (O2=if または whether で始まる節)」 「分詞構文 (完了形)」 の使い方を理解する。 話の内容を理解し、場面にふさわしい臨場感を出しながら音読する。
	15th	Lesson 9	<ul style="list-style-type: none"> パラリンピック創設までの経緯とルートヴィヒ・グットマンの功績を理解する。 「関係代名詞what」 「付帯状況のwith」 「強調構文」 の使い方を理解する。 英語の持つ強弱のリズムについて理解し、場面にふさわしい臨場感を出しながら音読する。
	16th	学年末試験 学年末答案返却	

Evaluation Method and Weight (%)

	定期試験・課題テスト	小テスト	ポートフォリオ	発表・取り組み姿勢	Total
Subtotal	50	20	30	0	100
基礎的能力	50	20	30	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2020	Course Title	英語A
Course Information					
Course Code	1111H02		Course Category	General / Compulsory	
Class Format	Lecture		Credits	School Credit: 2	
Department	Liberal Arts and Sciences		Student Grade	1st	
Term	Year-round		Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	ブレイクスルー英文法36章(美誠社)、英文速読10分テスト Rapid Reading Level 1(美誠社) / 副教材: ブレイクスルー英文法36章ワークブック(美誠社)、参考書: ブレイクスルー総合英語(美誠社)				
Instructor	Katsufuji Kazuko				
Course Objectives					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 教科書で学ぶ基本的な英文法の概念を理解できる。 2. 教科書で学ぶ基本的な英文法の知識を応用できる。 3. 文全体の意味を把握しながら、必要な情報を見つけることのできる速読力を身につける。 4. 教科書で学習した語彙・熟語を理解し、運用できる。 					
Rubric					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		最低限の到達レベル
評価項目1	基本的な英文法の概念や構文を理解し、文法用語を用いて英文を分析し、正確に説明できる。		基本的な英文法の概念や構文を理解し、文法用語を用いて英文を分析し、ほぼ正確に説明できる。		基本的な英文法の概念や構文の理解が不十分で、文法用語を用いた英文の分析や説明ができない。
評価項目2	学習した文法知識を正確に理解して、正しい1文単位の英作文ができる。		学習した文法知識を理解して、ほぼ正しい1文単位の英作文ができる。		学習した文法知識が不十分で、文法的に正しい1文単位の英作文ができない。
評価項目3	150~250語程度の英文を制限時間より短い時間で速読しながら内容を理解し、必要な情報のほとんどを正しく探し出せる。		150~250語程度の英文を制限時間程度で速読しながら内容をほぼ理解し、必要な情報の60%程度を探し出せる。		150~250語程度の英文を時間をかけて読んでも、探し出せる必要な情報は60%未満である
評価項目4	速読で取り扱う英文のシャドウイングが、ほとんどできる。		速読で取り扱う英文のシャドウイングでは、複雑な文章では間違うが、簡易な文章はほとんどできる。		速読で取り扱う英文のシャドウイングが短い簡易な文章のときしか、できない。
Assigned Department Objectives					
学習・教育到達度目標 C-3					
Teaching Method					
Outline	英文法の理解を通じて英語基礎力を固め、英語の4技能(読む・聞く・書く・話す)を総合的に伸ばす。また、速読演習を通して読解力を向上させるとともに語彙力を増強させる。				
Style	計測しながら速読し、単語熟語の発音と意味の確認、文章全体の同時読み、シャドウイングを行う。文法は文法項目についての講義のあと、問題集を用いて演習に取り組む。予習には、基本例文ノートを用い、復習には、English Grammar 36を用いる。試験前には、ワークブックの課題を課し、速読教材の単語テストを実施する。				
Notice	<ol style="list-style-type: none"> 1. プリント類や問題集を日頃からキチンと整理しておくこと。 2. 授業には必ず辞書(電子辞書可)を持ってくること。 3. 提出物の期限は厳守すること。 4. 下記授業計画以外に小テストや提出課題を課す。 				
Course Plan					
			Theme	Goals	
1st Semester	1st Quarter	1st	オリエンテーション 文の種類 Rapid Reading Level 1 第1回	<ol style="list-style-type: none"> (1) シラバスの内容を理解する。 (2) 文の種類概念を理解し、分析し、ほぼ正確に説明できる。 (3) (2)の知識を応用して、ほぼ正しい英文(1文単位)を作成できる。 (4) 150~250語程度の英文を速読し、必要な情報をほぼ探し出すことができる。 (5) 速読で取り扱う英文のシャドウイングでは、複雑な文章では間違うが、簡易な文章はほとんどできる。 	
		2nd	基本文型(1) Rapid Reading Level 1 第2回	<ol style="list-style-type: none"> (1) 基本文型の概念を理解し、分析し、ほぼ正確に説明できる。 (2) (2)の知識を応用して、ほぼ正しい英文(1文単位)を作成できる。 (3) 150~250語程度の英文を速読し、必要な情報をほぼ探し出すことができる。 (4) 速読で取り扱う英文のシャドウイングでは、複雑な文章では間違うが、簡易な文章はほとんどできる。 	
		3rd	基本文型(2) Rapid Reading Level 1 第3回	<ol style="list-style-type: none"> (1) 基本文型の概念を理解し、分析し、ほぼ正確に説明できる。 (2) (2)の知識を応用して、ほぼ正しい英文(1文単位)を作成できる。 (3) 150~250語程度の英文を速読し、必要な情報をほぼ探し出すことができる。 (4) 速読で取り扱う英文のシャドウイングでは、複雑な文章では間違うが、簡易な文章はほとんどできる。 	

	4th	様々な疑問文 Rapid Reading Level 1 第4回	<p>(1) 様々な疑問文の概念を理解し、分析し、ほぼ正確に説明できる。</p> <p>(2) (2)の知識を応用して、ほぼ正しい英文(1文単位)を作成できる。</p> <p>(3) 150~250語程度の英文を速読し、必要な情報をほぼ探し出すことができる。</p> <p>(4) 速読で取り扱う英文のシャドウイングでは、複雑な文章では間違うが、簡易な文章はほとんどできる。</p>
	5th	基本時制 Rapid Reading Level 1 第5回	<p>(1) 基本時制の概念を理解し、分析し、ほぼ正確に説明できる。</p> <p>(2) (2)の知識を応用して、ほぼ正しい英文(1文単位)を作成できる。</p> <p>(3) 150~250語程度の英文を速読し、必要な情報をほぼ探し出すことができる。</p> <p>(4) 速読で取り扱う英文のシャドウイングでは、複雑な文章では間違うが、簡易な文章はほとんどできる。</p>
	6th	進行形 小テスト	<p>(1) 進行形の概念を理解し、分析し、ほぼ正確に説明できる。</p> <p>(2) (2)の知識を応用して、ほぼ正しい英文(1文単位)を作成できる。</p>
	7th	前期中間試験	
	8th	試験返却と解説 Rapid Reading Level 1 第6回	<p>(1) 試験解説を理解できる。</p> <p>(2) 150~250語程度の英文を速読し、必要な情報をほぼ探し出すことができる。</p> <p>(3) 速読で取り扱う英文のシャドウイングでは、複雑な文章では間違うが、簡易な文章はほとんどできる。</p>
2nd Quarter	9th	完了形(1)など Rapid Reading Level 1 第7回	<p>(1) 完了形の概念を理解し、分析し、ほぼ正確に説明できる。</p> <p>(2) (2)の知識を応用して、ほぼ正しい英文(1文単位)を作成できる。</p> <p>(3) 150~250語程度の英文を速読し、必要な情報をほぼ探し出すことができる。</p> <p>(4) 速読で取り扱う英文のシャドウイングでは、複雑な文章では間違うが、簡易な文章はほとんどできる。</p>
	10th	完了形(2) Rapid Reading Level 1 第8回	<p>(1) 完了形の概念を理解し、分析し、ほぼ正確に説明できる。</p> <p>(2) (2)の知識を応用して、ほぼ正しい英文(1文単位)を作成できる。</p> <p>(3) 150~250語程度の英文を速読し、必要な情報をほぼ探し出すことができる。</p> <p>(4) 速読で取り扱う英文のシャドウイングでは、複雑な文章では間違うが、簡易な文章はほとんどできる。</p>
	11th	助動詞(1) Rapid Reading Level 1 第9回	<p>(1) 助動詞の概念を理解し、分析し、ほぼ正確に説明できる。</p> <p>(2) (2)の知識を応用して、ほぼ正しい英文(1文単位)を作成できる。</p> <p>(3) 150~250語程度の英文を速読し、必要な情報をほぼ探し出すことができる。</p> <p>(4) 速読で取り扱う英文のシャドウイングでは、複雑な文章では間違うが、簡易な文章はほとんどできる。</p>
	12th	助動詞(2) Rapid Reading Level 1 第10回	<p>(1) 助動詞の概念を理解し、分析し、ほぼ正確に説明できる。</p> <p>(2) (2)の知識を応用して、ほぼ正しい英文(1文単位)を作成できる。</p> <p>(3) 150~250語程度の英文を速読し、必要な情報をほぼ探し出すことができる。</p> <p>(4) 速読で取り扱う英文のシャドウイングでは、複雑な文章では間違うが、簡易な文章はほとんどできる。</p>
	13th	助動詞(3) Rapid Reading Level 1 第11回	<p>(1) 助動詞の概念を理解し、分析し、ほぼ正確に説明できる。</p> <p>(2) (2)の知識を応用して、ほぼ正しい英文(1文単位)を作成できる。</p> <p>(3) 150~250語程度の英文を速読し、必要な情報をほぼ探し出すことができる。</p> <p>(4) 速読で取り扱う英文のシャドウイングでは、複雑な文章では間違うが、簡易な文章はほとんどできる。</p>
	14th	助動詞(3) 小テスト	<p>(1) 助動詞の概念を理解し、分析し、ほぼ正確に説明できる。</p> <p>(2) (2)の知識を応用して、ほぼ正しい英文(1文単位)を作成できる。</p>
	15th	前期末試験	
	16th	受動態(1) Rapid Reading Level 1 第12回	<p>(1) 受動態の概念を理解し、分析し、ほぼ正確に説明できる。</p> <p>(2) (2)の知識を応用して、ほぼ正しい英文(1文単位)を作成できる。</p> <p>(3) 150~250語程度の英文を速読し、必要な情報をほぼ探し出すことができる。</p> <p>(4) 速読で取り扱う英文のシャドウイングでは、複雑な文章では間違うが、簡易な文章はほとんどできる。</p>

2nd Semester	3rd Quarter	1st	受動態 (1) (2) Rapid Reading Level 1 第13回	(1) 受動態の概念を理解し、分析し、ほぼ正確に説明できる。 (2) (2) の知識を応用して、ほぼ正しい英文 (1文単位) を作成できる。 (3) 150~250語程度の英文を速読し、必要な情報をほぼ探し出すことができる。 (4) 速読で取り扱う英文のシャドウイングでは、複雑な文章では間違うが、簡易な文章はほとんどできる。
		2nd	受動態 (2) Rapid Reading Level 1 第14回	(1) 受動態の概念を理解し、分析し、ほぼ正確に説明できる。 (2) (2) の知識を応用して、ほぼ正しい英文 (1文単位) を作成できる。 (3) 150~250語程度の英文を速読し、必要な情報をほぼ探し出すことができる。 (4) 速読で取り扱う英文のシャドウイングでは、複雑な文章では間違うが、簡易な文章はほとんどできる。
		3rd	不定詞 (1) Rapid Reading Level 1 第15回	(1) 不定詞の概念を理解し、分析し、ほぼ正確に説明できる。 (2) (2) の知識を応用して、ほぼ正しい英文 (1文単位) を作成できる。 (3) 150~250語程度の英文を速読し、必要な情報をほぼ探し出すことができる。 (4) 速読で取り扱う英文のシャドウイングでは、複雑な文章では間違うが、簡易な文章はほとんどできる。
		4th	Rapid Reading Level 1 第16回 小テスト	(1) 150~250語程度の英文を速読し、必要な情報をほぼ探し出すことができる。 (2) 速読で取り扱う英文のシャドウイングでは、複雑な文章では間違うが、簡易な文章はほとんどできる。
		5th	後期中間試験	
		6th	試験返却と解説 Rapid Reading Level 1 第17回	(1) 試験解説を理解できる。 (2) 150~250語程度の英文を速読し、必要な情報をほぼ探し出すことができる。 (3) 速読で取り扱う英文のシャドウイングでは、複雑な文章では間違うが、簡易な文章はほとんどできる。
		7th	不定詞 (2) Rapid Reading Level 1 第18回	(1) 不定詞の概念を理解し、分析し、ほぼ正確に説明できる。 (2) (2) の知識を応用して、ほぼ正しい英文 (1文単位) を作成できる。 (3) 150~250語程度の英文を速読し、必要な情報をほぼ探し出すことができる。 (4) 速読で取り扱う英文のシャドウイングでは、複雑な文章では間違うが、簡易な文章はほとんどできる。
		8th	不定詞 (3) Rapid Reading Level 1 第19回	(1) 不定詞の概念を理解し、分析し、ほぼ正確に説明できる。 (2) (2) の知識を応用して、ほぼ正しい英文 (1文単位) を作成できる。 (3) 150~250語程度の英文を速読し、必要な情報をほぼ探し出すことができる。 (4) 速読で取り扱う英文のシャドウイングでは、複雑な文章では間違うが、簡易な文章はほとんどできる。
	4th Quarter	9th	不定詞 (4) Rapid Reading Level 1 第20回	(1) 不定詞の概念を理解し、分析し、ほぼ正確に説明できる。 (2) (2) の知識を応用して、ほぼ正しい英文 (1文単位) を作成できる。 (3) 150~250語程度の英文を速読し、必要な情報をほぼ探し出すことができる。 (4) 速読で取り扱う英文のシャドウイングでは、複雑な文章では間違うが、簡易な文章はほとんどできる。
		10th	不定詞 (4) Rapid Reading Level 1 第21回	(1) 不定詞の概念を理解し、分析し、ほぼ正確に説明できる。 (2) (2) の知識を応用して、ほぼ正しい英文 (1文単位) を作成できる。 (3) 150~250語程度の英文を速読し、必要な情報をほぼ探し出すことができる。 (4) 速読で取り扱う英文のシャドウイングでは、複雑な文章では間違うが、簡易な文章はほとんどできる。
		11th	動名詞 (1) Rapid Reading Level 1 第22回	(1) 動名詞の概念を理解し、分析し、ほぼ正確に説明できる。 (2) (2) の知識を応用して、ほぼ正しい英文 (1文単位) を作成できる。 (3) 150~250語程度の英文を速読し、必要な情報をほぼ探し出すことができる。 (4) 速読で取り扱う英文のシャドウイングでは、複雑な文章では間違うが、簡易な文章はほとんどできる。

		12th	動名詞 (1) (2) Rapid Reading Level 1 第23回	(1) 動名詞の概念を理解し、分析し、ほぼ正確に説明できる。 (2) (2) の知識を応用して、ほぼ正しい英文 (1文単位) を作成できる。 (3) 150~250語程度の英文を速読し、必要な情報をほぼ探し出すことができる。 (4) 速読で取り扱う英文のシャドウイングでは、複雑な文章では間違いが、簡易な文章はほとんどできる。
		13th	動名詞 (2) 小テスト	(1) 動名詞の概念を理解し、分析し、ほぼ正確に説明できる。 (2) (2) の知識を応用して、ほぼ正しい英文 (1文単位) を作成できる。
		14th	学年末試験	
		15th	答案返却	
		16th		

Evaluation Method and Weight (%)

	定期試験	小テスト	ポートフォリオ	発表・取り組み姿勢	その他	Total
Subtotal	60	30	10	0	0	100
基礎的能力	60	30	10	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2020	Course Title	英語コミュニケーション基礎
Course Information					
Course Code	1111H03		Course Category	General / Compulsory	
Class Format	Lecture		Credits	School Credit: 2	
Department	Liberal Arts and Sciences		Student Grade	1st	
Term	Year-round		Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	English Listening & Speaking Patterns 1 (前期) and Stretch Starter Student Book B (Oxford)				
Instructor	Christopher Prowant, Ogasawara Maiko, Fujii Hiromi				
Course Objectives					
1. 教科書の各ユニットの会話をディクテーション、シャドウイングできる。 2. 各ユニットの重要表現パターンを習得し、パターンを応用して英作文できる。 3. 英語で行われる授業に慣れ、躓いても辞書に頼らず、推測するスキルを身に付ける。					
Rubric					
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安	
評価項目1		教科書の各ユニットのDictationの会話がほぼ完璧にディクテーション(聞いて書き取る)でき、正しい発音でシャドウイングできる。	教科書の各ユニットのDictationの会話が半分はディクテーションでき、簡易な文章であればシャドウイングできる。	教科書の各ユニットのDictationの会話の()に記入はできない。教科書の会話は音読しかできない。	
評価項目2		教科書の各ユニットの重要表現パターンを理解し、そのパターンを用いて自力で英作文できる。	教科書の各ユニットの重要表現パターンを理解し、そのパターンの例文を応用して英作文できる。	教科書の各ユニットの重要表現パターンを理解するのみにとどまり、英作文は困難である。	
評価項目3		英語で授業が行われる際、完璧に理解できなくても推測するスキルを習得し、トップダウンリスニングに慣れる。グループやペアワーク、または教師を相手に積極的に英語で会話できる。	英語で授業が行われる際、理解できない場合でも諦めずに推測する姿勢を身につける。グループやペア、または教師との活動の中で、単語レベルなら英語で意思表示できる。	英語で授業が行われる際、指導内容の理解が不十分である。グループやペア、または教師との活動に参加できない。	
Assigned Department Objectives					
学習・教育到達度目標 C-3					
Teaching Method					
Outline	英語コミュニケーション基礎では、後期のネイティブ講師によるオールイングリッシュの授業に備え、前期は主にリスニング力を強化していく。ディクテーション、シャドウイングを通してボトムアップリスニングで基礎を固め、英語で行われる授業に慣れ、躓いても辞書に頼らず、推測するスキル(トップダウンリスニング)を身に付ける。				
Style	各ユニットの最初のページを毎回予習し、授業はリスニング活動と英作文を中心に進める。家庭学習として、ポートフォリオを活用し、各ユニットの復習や学習の振り返りを記録していく。適宜小テスト(ディクテーション)を行う。授業時間60時間。				
Notice	1. 配布プリント、ポートフォリオはきちんと管理、整頓し提出できる状態にしておく。 2. テキストも提出あり(練習問題の記入をチェックする)。 3. 提出物の期限は厳守すること。				
Course Plan					
		Theme	Goals		
1st Semester	1st Quarter	1st	オリエンテーション	自己紹介、目標設定、教科書の使い方説明	
		2nd	Unit 1 : Family	各ユニットのトピックに関する語彙力、会話を理解するリスニング力を身に付ける	
		3rd	Unit 2 : Friends	各ユニットのトピックに関する語彙力、会話を理解するリスニング力を身に付ける	
		4th	Unit 3 : Culture Unit 7 : Food	各ユニットのトピックに関する語彙力、会話を理解するリスニング力を身に付ける	
		5th	Unit 4 : Education Unit 8 : Studying English	各ユニットのトピックに関する語彙力、会話を理解するリスニング力を身に付ける	
		6th	Unit 6 : Work	各ユニットのトピックに関する語彙力、会話を理解するリスニング力を身に付ける	
		7th	Unit 5 : Sports Unit 9 : Health	各ユニットのトピックに関する語彙力、会話を理解するリスニング力を身に付ける	
		8th	前期中間試験		
	2nd Quarter	9th	Unit 11 : Traveling	各ユニットのトピックに関する語彙力、会話を理解するリスニング力を身に付ける。 トピックに関する会話ができるようになる。	
		10th	Unit 10 : Clothes Unit 14 : Shopping	各ユニットのトピックに関する語彙力、会話を理解するリスニング力を身に付ける。 トピックに関する会話ができるようになる。	
		11th	Unit 12 : Music Unit 13 : Movie	各ユニットのトピックに関する語彙力、会話を理解するリスニング力を身に付ける。 トピックに関する会話ができるようになる。	
		12th	Unit 15 : Internet	各ユニットのトピックに関する語彙力、会話を理解するリスニング力を身に付ける。 トピックに関する会話ができるようになる。	
		13th	Unit 16 : Weather	各ユニットのトピックに関する語彙力、会話を理解するリスニング力を身に付ける。 トピックに関する会話ができるようになる。	

		14th	Unit 17 : Feeling	各ユニットのトピックに関する語彙力、会話を理解するリスニング力を身に付ける。 トピックに関する会話ができるようになる。
		15th	前期末試験	
		16th	答案返却・夏季休暇課題案内	
2nd Semester	3rd Quarter	1st	Free time activities / Cultural comparisons	Purpose of international studies / communication
		2nd	Numbers, charts graphs and statistics	Understanding numbers and dates; discussion question
		3rd	Popular Sports - Listening to information, adding information and gathering main ideas, etc	Vocabulary Word list review / Quiz preparation
		4th	Big Events - time phrases, showing enthusiasm, understanding data.	Distinguishing between words with similar meanings; forms of present tense / review of past tenses
		5th	Identifying subjects in a conversation, talking about ability, supporting ideas, etc	Listening for main ideas and more nuanced details
		6th	Plans - Accepting an invitation, notes and data analysis, writing revisions	Note-taking skills, writing key words and main ideas
		7th	後期中間試験	
		8th	Accepting invitations to various cultural events, replies, revisions, and using visual data to make predictions	Strategies to improve reading speed; Recognizing new vocabulary
	4th Quarter	9th	On Vacation - Listening for tone, Responding to news	Context clues (grammatical, semantic, organizational) to deduce meaning
		10th	Brainstorming using a mind map, making lists, etc	Identifying references in a text (pronouns/nouns)
		11th	Responding to news, ask and answer Wh-questions using simple past tense	Predict development and anticipate ideas; active reading
		12th	Making lists and speaking loudly and responding appropriately to group conversations	Give and seek constructive feedback through peer review
		13th	Practice Presentation	Practice presentation using eye contact, tone of voice and pauses
		14th	Presentation	Class presentation: Tell a personal story with details
15th		学年末試験		
16th		答案返却		

Evaluation Method and Weight (%)

	定期試験	小テスト	ポートフォリオ	発表・取組姿勢	Total
Subtotal	60	20	10	10	100
基礎的能力	60	20	10	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2020	Course Title	倫理	
Course Information						
Course Code	1111I01		Course Category	General / Compulsory		
Class Format	Lecture		Credits	School Credit: 2		
Department	Liberal Arts and Sciences		Student Grade	1st		
Term	Year-round		Classes per Week	2		
Textbook and/or Teaching Materials	高等学校 倫理(第一学習社)/講義中に、適宜、紹介します。					
Instructor	Fujii Taketo					
Course Objectives						
1. 日本とは異なった外国文化等、倫理・思想に関する基礎的な知識について説明できる。 2. 「ものづくり」に関する調査を通して、技術者と倫理との関係について基礎的な内容を説明できる。						
Rubric						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		最低限の到達レベルの目安(可)	
到達目標1	倫理・思想に関する基礎的な知識について詳細に説明できる。		倫理・思想に関する基礎的な知識について、その概要を説明できる。		倫理・思想に関する基礎的な知識について、その要点を説明できる。	
到達目標2	調査レポートの論旨が明快で、その内容について詳細に説明できる。		調査レポートがまとまっており、その内容について十分に説明できる。		調査レポートの論旨がやや不明瞭だが、その内容についてある程度説明できる。	
Assigned Department Objectives						
学習・教育到達度目標 A-2						
Teaching Method						
Outline	我々人間は社会の中で生活している関係上、自己実現を果たしながら、なおかつ他者とうまく折り合いをつけてゆく必要があります。自己と他者との間の、共感できる点や異質な点について自分なりに考えるところに「倫理」が生まれます。本講義では、自己と他者との関係について自分で考えるための材料を提供してゆきたいと思います。また、「ものづくり」に関する調査を通して、技術者としての基本的倫理観について考えてもらいたいと思います。					
Style	基本的に教室での講義ですが、「ものづくり」に関する調査のときは演習室で実施します。 【授業時間60時間】					
Notice	1. 成績評価とも関連しますが、講義で述べたことについて定期試験・中間試験で確認する方針なので、「講義をしっかり聴く」ことを心がけてほしいと思います。 2. 「ものづくり」に関する調査は、前期・後期にそれぞれ実施します(時期は適宜)。					
Course Plan						
			Theme	Goals		
1st Semester	1st Quarter	1st	「倫理」とは?	本来の「倫理」について、説明できる。		
		2nd	ギリシアの思想	自然哲学者・ソクラテスらの倫理観について、その概要を説明できる。		
		3rd	ギリシアの思想	自然哲学者・ソクラテスらの倫理観について、その概要を説明できる。		
		4th	ギリシアの思想	自然哲学者・ソクラテスらの倫理観について、その概要を説明できる。		
		5th	ギリシアの思想	プラトン・アリストテレスらの倫理観について、その概要を説明できる。		
		6th	ギリシアの思想	プラトン・アリストテレスらの倫理観について、その概要を説明できる。		
		7th	ギリシアの思想	プラトン・アリストテレスらの倫理観について、その概要を説明できる。		
		8th	【前期中間試験】			
	2nd Quarter	9th	「ものづくり」に関する調査1		調査を通して、技術者と倫理とについて、自分の考えをまとめて表現できる。	
		10th	「ものづくり」に関する調査1		調査を通して、技術者と倫理とについて、自分の考えをまとめて表現できる。	
		11th	「ものづくり」に関する調査1		調査を通して、技術者と倫理とについて、自分の考えをまとめて表現できる。	
		12th	キリスト教		ユダヤ教と現代史との関係について、その概要を説明できる。	
		13th	キリスト教		ユダヤ教と現代史との関係について、その概要を説明できる。	
		14th	キリスト教		イエスの倫理観の概要について説明できる。	
		15th	キリスト教		イエスの倫理観の概要について説明できる。	
		16th	【答案返却時間】			
2nd Semester	3rd Quarter	1st	イスラム教	イスラム文化と現代の関係について、その概要を説明できる。		
		2nd	イスラム教	イスラム教の倫理観について、その概要を説明できる。		
		3rd	イスラム教	イスラム教の倫理観について、その概要を説明できる。		
		4th	インドの思想	インド人の思想の特徴について、その概要を説明できる。		
		5th	インドの思想	インド人の思想の特徴について、その概要を説明できる。		

4th Quarter	6th	インドの思想	ゴータマの思想について、その概要を説明できる。
	7th	インドの思想	ゴータマの思想について、その概要を説明できる。
	8th	【後期中間試験】	
	9th	「ものづくり」に関する調査2	調査を通して、技術者と倫理とについて、自分の考えをまとめて表現できる。
	10th	「ものづくり」に関する調査2	調査を通して、技術者と倫理とについて、自分の考えをまとめて表現できる。
	11th	「ものづくり」に関する調査2	調査を通して、技術者と倫理とについて、自分の考えをまとめて表現できる。
	12th	中国の思想	儒家の倫理観（孔子の思想を含む）について、その概要を説明できる。
	13th	中国の思想	儒家の倫理観（孔子の思想を含む）について、その概要を説明できる。
	14th	中国の思想	道家の思想について、その概要を説明できる。
15th	中国の思想	道家の思想について、その概要を説明できる。	
16th	【答案返却期間】		

Evaluation Method and Weight (%)

	定期試験	小テスト	ポートフォリオ	発表・取り組み姿勢	その他	Total
Subtotal	70	0	0	0	30	100
基礎的能力	70	0	0	0	30	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2020	Course Title	美術・デザイン
Course Information					
Course Code	1191201		Course Category	General / Elective	
Class Format	Lecture		Credits	School Credit: 2	
Department	Liberal Arts and Sciences		Student Grade	1st	
Term	Year-round		Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	美術1 (光村図書)				
Instructor	Koduki Kayo				
Course Objectives					
1. 観察力、主題の表現、方法を工夫することができる。 2. 発想、構想、着想の表現ができる。 3. 材料、用具、技法の理解ができる。					
Rubric					
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安(可)	
到達目標1		観察力、主題の表現、方法を工夫し、独自の世界観を作り出すことができる。	観察力、主題の表現、方法をよく工夫することができる。	観察力、主題の表現、方法を工夫することができる。	
到達目標2		発想、構想、着想の表現ができ、独自の世界観を作り出すことができる。	発想、構想、着想の表現がよくできる。	発想、構想、着想の表現ができる。	
到達目標3		材料、用具、技法の理解ができ、的確に扱うことができる。	材料、用具、技法の理解がよくできる。	材料、用具、技法の理解ができる。	
Assigned Department Objectives					
Teaching Method					
Outline	美術・デザインの専門分野で、創造活動を通して、人間・社会・自然で美的体験を豊かにし、美意識を深め、感性やアイデアを表現する。また、情報社会の中で、生活や文化・環境を思考しながら、工学デザインへの一歩として理解し、個性ある能力を高める。				
Style	【授業時間60時間】				
Notice	美術は自己をしっかりと見つめ、自分を表現する。身近な生活の中造形に興味を持ち、楽しむ。与えられた課題は最後まで取り組み、根気や忍耐力を発揮すること。				
Course Plan					
			Theme	Goals	
1st Semester	1st Quarter	1st	1 美術・デザインの概念	美術・デザインの意識を理解して美術に取り組む心構えができる。	
		2nd	2 色彩(色相環・三属性)	色彩(色相環・三属性)を理解することができる。	
		3rd	2 色彩(色相環・三属性)	色彩(色相環・三属性)を理解することができる。	
		4th	2 色彩(色相環・三属性)	色彩(色相環・三属性)を理解することができる。	
		5th	3 平面構成	バランスの取れた平面構成をし、調和のとれた色彩構成をすることができる。	
		6th	3 平面構成	バランスの取れた平面構成をし、調和のとれた色彩構成をすることができる。	
		7th	3 平面構成	バランスの取れた平面構成をし、調和のとれた色彩構成をすることができる。	
		8th	3 平面構成	バランスの取れた平面構成をし、調和のとれた色彩構成をすることができる。	
	2nd Quarter	9th	3 平面構成	バランスの取れた平面構成をし、調和のとれた色彩構成をすることができる。	
		10th	3 平面構成	バランスの取れた平面構成をし、調和のとれた色彩構成をすることができる。	
		11th	3 平面構成	バランスの取れた平面構成をし、調和のとれた色彩構成をすることができる。	
		12th	3 平面構成	バランスの取れた平面構成をし、調和のとれた色彩構成をすることができる。	
		13th	3 平面構成	バランスの取れた平面構成をし、調和のとれた色彩構成をすることができる。	
		14th	3 平面構成	バランスの取れた平面構成をし、調和のとれた色彩構成をすることができる。	
		15th	3 平面構成	バランスの取れた平面構成をし、調和のとれた色彩構成をすることができる。	
		16th	3 平面構成	バランスの取れた平面構成をし、調和のとれた色彩構成をすることができる。	
2nd Semester	3rd Quarter	1st	4 工業デザイン(立体)	機能的な形と美しさの調和を考えて、造形し、着色することができる。	
		2nd	4 工業デザイン(立体)	機能的な形と美しさの調和を考えて、造形し、着色することができる。	
		3rd	4 工業デザイン(立体)	機能的な形と美しさの調和を考えて、造形し、着色することができる。	
		4th	4 工業デザイン(立体)	機能的な形と美しさの調和を考えて、造形し、着色することができる。	

		5th	4 工業デザイン (立体)	機能的な形と美しさの調和を考えて、造形し、着色することができる。
		6th	5 鉛筆によるデッサン	対象を観察して、それを素描で表現することができる。
		7th	5 鉛筆によるデッサン	対象を観察して、それを素描で表現することができる。
		8th	5 鉛筆によるデッサン	対象を観察して、それを素描で表現することができる。
	4th Quarter	9th	5 鉛筆によるデッサン	対象を観察して、それを素描で表現することができる。
		10th	5 鉛筆によるデッサン	対象を観察して、それを素描で表現することができる。
		11th	6 静物画	静物を観察し、どう表現するかを考えて、画面構図・着色することができる。
		12th	6 静物画	静物を観察し、どう表現するかを考えて、画面構図・着色することができる。
		13th	6 静物画	静物を観察し、どう表現するかを考えて、画面構図・着色することができる。
		14th	6 静物画	静物を観察し、どう表現するかを考えて、画面構図・着色することができる。
		15th	7 美術・デザインのまとめ	美術・デザインのまとめとして、絵画などを鑑賞して作者の意図が理解できる。
		16th	7 美術・デザインのまとめ	美術・デザインのまとめとして、絵画などを鑑賞して作者の意図が理解できる。

Evaluation Method and Weight (%)

	定期試験	小テスト	ポートフォリオ	発表・取り組み姿勢	その他	Total
Subtotal	0	0	70	0	30	100
基礎的能力	0	0	70	0	30	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2020	Course Title	体育
Course Information					
Course Code	1112101		Course Category	General / Compulsory	
Class Format	Lecture		Credits	School Credit: 2	
Department	Liberal Arts and Sciences		Student Grade	2nd	
Term	Year-round		Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	なし/なし				
Instructor	Arai Osamu, Nakashima Hajime				
Course Objectives					
1. 互い協力し合い、主体的に運動に参加できる。 2. 自己の能力に応じて、運動の技能や体力を身につけることができる 3. 安全に留意して運動や活動ができる。					
Rubric					
	理想的な到達レベル(優)		標準的な到達レベル(良)		最低限のレベル(可)
到達目標1	自己及び、仲間の取るべき行動を判断し、適切に働きかけながら準備や活動に参加できる。		自己の取るべき行動を判断し、他人と互いに協力しながら準備や活動に参加できる。		周囲に合わせて、準備や活動を行うことができる。
到達目標2	自己の能力を理解し、適切なプログラムを作成して運動の技能や体力を身につける事ができる。		教員が指示したプログラムに従い、運動の技能や体力を身につける事ができる。		教員の指示したプログラムに従い、運動の技能や体力を身につける取り組みができる。
到達目標3	活動中、自己のみならず仲間の安全に留意し、必要に応じて危険を回避する行動をとる事ができる。		活動中、自己の安全に留意し、必要に応じて危険を回避する行動をとる事ができる。		教員の指示により、安全に留意することができる。
Assigned Department Objectives					
Teaching Method					
Outline	運動を行うことにより、運動することの楽しさや喜びの実感、運動に必要な技能の習得及び、体力の向上を図る。あわせて自ら意欲的に運動に取り組む姿勢や、生涯に渡って運動に親しむ態度を育てる。特に本授業では、運動自体を楽しみながら、各運動に必要な技能の習得及び、体力の向上を図ることに重点を置く。				
Style	各種目のルールを説明、基本的な技能の習得、ゲームの実践と段階的に競技を行なう。 授業時間 60 分				
Notice	普段から健康管理を心がけ、風邪などにより授業を見学・欠席することの無いよう気をつけてください。 学校指定の体操服で活動して下さい。 天候等、やむを得ない事情により、実施種目は変更されることがあります。 体育大会は授業時数に含まれますので、欠席しないようにして下さい。				
Course Plan					
			Theme	Goals	
1st Semester	1st Quarter	1st	ソフトバレーボール	ソフトバレーボールのルールを理解し説明できる。	
		2nd	ソフトバレーボール	サービス、パス、スパイク等の個人技能を習得する。	
		3rd	ソフトバレーボール	互いに協力し、ゲームを実践できる。	
		4th	アルティメット	アルティメットのルールを理解し説明できる。	
		5th	アルティメット	個人技能を習得し、互いに協力してゲームを実践できる	
		6th	インディアカ	インディアカのルールを理解し説明できる。	
		7th	インディアカ	サービス、パス、スパイク等の個人技能を習得する。	
		8th	インディアカ	互いに協力し、ゲームを実践できる。	
	2nd Quarter	9th	ヘルスパレーボール	ヘルスパレーボールのルールを理解し説明できる。	
		10th	ヘルスパレーボール	サービス、パス、スパイク等の個人技能を習得する。	
		11th	ヘルスパレーボール	互いに協力し、ゲームを実践できる。	
		12th	ニュースポーツ作成	チームで協力し、ニュースポーツを作成することができる。	
		13th	体育大会 (前期)	参加する種目で、仲間と協力してゲームを実践できる。	
		14th	体育大会 (前期)	参加する種目で、仲間と協力してゲームを実践できる。	
		15th	体育大会 (前期)	参加する種目で、仲間と協力してゲームを実践できる。	
		16th			
2nd Semester	3rd Quarter	1st	ソフトボール	ソフトボールのルールを理解し説明できる。	
		2nd	ソフトボール	ソフトボールのルールを理解し説明できる。	
		3rd	ソフトボール	打撃、守備、走塁等の個人技能を習得する。	
		4th	ソフトボール	打撃、守備、走塁等の個人技能を習得する。	
		5th	ソフトボール	互いに協力し、ゲームを実践できる。	
		6th	ソフトボール	互いに協力し、ゲームを実践できる。	
	4th Quarter	7th	サッカー・フットサル	サッカー・フットサルのルールを理解し説明できる。	
		8th	サッカー・フットサル	サッカー・フットサルのルールを理解し説明できる。	
		9th	サッカー・フットサル	ドリブル、パス、シュート等の個人技能を習得する。	
		10th	サッカー・フットサル	ドリブル、パス、シュート等の個人技能を習得する。	

	11th	サッカー・フットサル	互いに協力し、ゲームを実践できる。
	12th	サッカー・フットサル	互いに協力し、ゲームを実践できる。
	13th	選択制スポーツ	選択した種目で、仲間と協力してゲームを実践できる。
	14th	選択制スポーツ	選択した種目で、仲間と協力してゲームを実践できる。
	15th	選択制スポーツ	選択した種目で、仲間と協力してゲームを実践できる。
	16th		

Evaluation Method and Weight (%)

	定期試験	小テスト	ポートフォリオ	発表・取り組み姿勢	その他	Total
Subtotal	0	0	0	0	100	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	100	100

Anan College		Year	2020	Course Title	基礎数学 2
Course Information					
Course Code	1112A01		Course Category	General / Compulsory	
Class Format	Lecture		Credits	School Credit: 4	
Department	Liberal Arts and Sciences		Student Grade	2nd	
Term	Year-round		Classes per Week	4	
Textbook and/or Teaching Materials	「改訂版 高等学校 数学Ⅱ」（数研出版）/「改訂版 チャート式 基礎と演習 数学Ⅱ+B」、新版 微分積分（実教出版）、「はぎ取り式練習ドリル Ⅱ、Ⅲ」（数研出版）				
Instructor	Nishimori Yasuhito, Tagami Takanori, Ukida Takuya				
Course Objectives					
1. 整式の四則演算ができる。 2. 複素数の概念を理解し、その計算ができる。 3. 2次方程式や高次方程式を解くことができる。 4. 微分を使って接線の方程式や増減表を求めることができる。また、増減表からグラフ描画と極値を求めることができる。 5. 不定積分と定積分の計算ができる。また定積分を使って図形の面積を求めることができる。					
Rubric					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安		
評価項目1	3次式以上の複雑な整式の四則演算ができる。	整式の四則演算ができる。	簡単な整式の四則演算ができる。		
評価項目2	複素数の複雑な計算ができる。	複素数の概念を理解し、その計算ができる。	簡単な複素数の計算ができる		
評価項目3	複雑な2次方程式や高次方程式を解くことができる。	2次方程式や高次方程式を解くことができる。	2次方程式や簡単な高次方程式を解くことができる。		
評価項目4	複雑な合成関数の極限や微分を計算することができる。	極限と微分の計算が確実にできる。	簡単な極限と微分の計算ができる。		
評価項目5	方程式の解の個数を、増減表を用いて特定することができる。	微分を使って接線の方程式や増減表を求めることができる。増減表をもとにグラフが作図できる。	微分を使って簡単な関数の接線の方程式を求め、増減表を作ることができる。		
Assigned Department Objectives					
学習・教育到達度目標 B-2					
Teaching Method					
Outline	数学は工業高専において根幹となる科目である。本授業では、高専数学での最重要事項である各種関数の取り扱い方、方程式の解き方、微分と積分の計算とその応用方法について学習する。				
Style	1. 授業に集中して効率的に学習する方法を確立すること。予習復習は必須である。 2. 定期試験の勉強同様に、実力試験や小テストの勉強、宿題にも全力で取り組むこと。 3. 宿題などの課題は、提出期限を厳守すること。 【授業時間 1 2 0 時間】				
Notice	1. 授業に集中して効率的に学習する方法を確立すること。予習復習は必須である。 2. 定期試験の勉強同様に、実力試験や小テストの勉強、宿題にも全力で取り組むこと。 3. 宿題などの課題は、提出期限を厳守すること。				
Course Plan					
		Theme	Goals		
1st Semester	1st Quarter	1st	3次式の展開と因数分解	3次の展開公式を使って、式を展開することができる。また、3次式の因数分解の公式を使って因数分解できる。	
		2nd	二項定理とパスカルの三角形	二項定理を使って展開できる。また、パスカルの三角形を書くことができ、対応する多項式の係数を求めることができる。	
		3rd	整式の割り算と分数式の四則演算	整式の割り算と、分数式の四則演算ができる。	
		4th	恒等式	恒等式を理解できる。また、恒等式の両辺を比較して係数を求めることができる。	
		5th	複素数とその基本性質およびその四則演算	複素数を理解できる。また、その四則演算ができる。	
		6th	2次方程式の解の公式と判別式	2次方程式の解の公式を使って、虚数解を求めることができる。また、判別式を計算し、2次方程式の解の種類を判別することができる。	
		7th	剰余の定理と因数定理	剰余の定理を使って、整式を整式で割ったときの余りを求めることができる。また、因数定理を使って因数分解することができる。	
		8th	高次方程式の因数分解	因数定理を使って高次方程式を因数分解し、方程式の解を求めることができる。	
	2nd Quarter	9th	前期中間試験		
		10th	関数の極限と微分係数	関数の極限を求めることができる。また平均変化率の極限として微分係数を求めることができる。	
		11th	簡単な関数の微分	1次関数や2次関数、そして一般の多項式関数の微分ができる。またそれらのグラフ上の接線を求めることができる。	
		12th	関数の値の変化	関数の増減表を書くことができる。これを利用して極大値や極小値を求めることができ、関数の概形を描くことができる。	
		13th	積の微分、商の微分	関数fと関数gの積fg、商f/gの微分ができる。	
		14th	合成関数の微分	関数 f と関数gの合成関数である関数f○gの微分ができる。	

		15th	やや複雑な関数の微分	積、商、合成関数に関する微分公式を使って、やや複雑な関数を微分することができる。
		16th	期末試験返却	
2nd Semester	3rd Quarter	1st	三角関数の微分	三角関数の微分ができる。積、商、合成関数に関する微分公式を使って、やや複雑な三角関数の微分ができる。
		2nd	逆三角関数の微分	逆三角関数の微分ができる。積、商、合成関数に関する微分公式を使って、やや複雑な逆三角関数の微分ができる。
		3rd	対数関数・指数関数	自然対数の基本的な計算ができる。
		4th	対数関数の微分	対数関数の微分ができる。
		5th	対数関数の微分	積、商、合成関数に関する微分公式を使って、やや複雑な対数関数の微分ができる。
		6th	指数関数の微分	指数関数の微分ができる。
		7th	指数関数の微分	積、商、合成関数に関する微分公式を使って、指数関数の微分ができる。
		8th	後期中間試験	
	4th Quarter	9th	分数関数の極限	収束、発散、無限大の概念を理解できる。また、分数式の極限を求めることができる。
		10th	指数関数を含む分数関数の極限	指数関数の含む分数関数の極限を求めることができる。
		11th	三角関数の極限	三角関数の極限を計算することができる。
		12th	不定積分	1次関数や2次関数、そして一般の多項式関数の不定積分ができる。
		13th	定積分	1次関数や2次関数、そして一般の多項式関数の定積分ができる。
		14th	定積分と図形の面積	定積分を使って、図形の面積を求めることができる。
		15th	定積分と図形の面積	定積分を使って、2つの曲線の間の面積を求めることができる。
		16th	期末試験返却	

Evaluation Method and Weight (%)

	定期試験	小テスト	課題	発表	その他	Total
Subtotal	80	0	20	0	0	100
基礎的能力	80	0	20	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2020	Course Title	数学B
Course Information					
Course Code	1112A11		Course Category	General / Compulsory	
Class Format	Lecture		Credits	School Credit: 2	
Department	Liberal Arts and Sciences		Student Grade	2nd	
Term	Year-round		Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	「高等学校 数学B」岡部恒治ほか著 数研出版/「はぎ取り式練習ドリル 数学B」数研出版/「改訂版 チャート式 基礎からの数学Ⅱ+B」				
Instructor	Kushida Masahiro, Nishimori Yasuhito				
Course Objectives					
1.ベクトルの基本的な計算ができる。 2.平面および空間ベクトルの成分表示ができ、基本的な計算ができる。 3.平面および空間ベクトルの内積を求めることができる。 4.平面および空間内の直線・平面・円・球の方程式を求めることができる。 5.等差数列・等比数列の一般項やその和を求めることができ、 Σ の計算ができる。					
Rubric					
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限の到達レベル(可)	
到達目標1		やや複雑なベクトルの和・差・定数倍の計算ができる。	ベクトルの和・差・定数倍の計算ができる。	簡単なベクトルの和・差・定数倍の計算ができる。	
到達目標2		平面および空間ベクトルの成分表示ができ、複雑な計算ができる。	平面および空間ベクトルの成分表示ができ、基本的な計算ができる。	平面および空間ベクトルの成分表示ができ、簡単な計算ができる。	
到達目標3		平面および空間ベクトルの内積を求めることができ、内積を用いてベクトルの大きさが計算できる。	平面および空間ベクトルの内積を求めることができ、内積を用いてベクトルなす角が計算できる。	平面および空間ベクトルの内積を求めることができる。	
到達目標4		複雑な条件で平面および空間内の直線・平面・円・球の方程式を求めることができる。	平面および空間内の直線・平面・円・球の方程式を求めることができる。	平面および空間内の直線・平面・円・球の方程式を簡単な条件で求めることができる。	
到達目標5		等差・等比以外の数列の一般項や和を求めることができる。	等差数列・等比数列の一般項やその和を求めることができ、 Σ の計算ができる。	簡単な等差数列・等比数列の一般項やその和を求めることができ、簡単な Σ の計算ができる。	
Assigned Department Objectives					
学習・教育到達度目標 B-2					
Teaching Method					
Outline	数学は工業高校において根幹となる科目である。本授業では、平面および空間のベクトルの概念を学習し、基本的なベクトルの計算方法を習得する。数列では規則に従って並ぶ数やその和、および漸化式概念を学習する。				
Style	【授業時間 6 0 時間】				
Notice	1. 授業に集中し、効果的に学習する方法を確立すること。予習復習は必須である。 2. 定期試験はもちろん重要であるが、平常の小テスト、提出物等での努力を怠らないこと。 3. 課題等提出物の提出期限は厳守すること。				
Course Plan					
			Theme	Goals	
1st Semester	1st Quarter	1st	ベクトルの意味	平面上のベクトルの概念を理解するとともに、ベクトルに関する基本的な用語・記号を理解する。	
		2nd	ベクトルの演算	平面上のベクトルの和・差・定数倍の計算ができる。	
		3rd	ベクトルの平行とベクトルの分解	1つのベクトルと同じ向き単位ベクトルを式で表現して利用できる。有向線分表示されたベクトルを、2つのベクトルの和、差に表現できる。	
		4th	ベクトルの成分	平面上のベクトルが2つの実数の組として表されることを理解し、大きさ、和、差、実数倍の計算ができる。	
		5th	ベクトルの内積(1)	ベクトルの内積を求めることができ、ベクトルのなす角を求めることができる。	
		6th	ベクトルの内積(2)	ベクトルの大きさを内積におき換えて扱うことができる。	
		7th	ベクトルと平面図形	位置ベクトルの意味を理解し、線分の内分点・外分点を求めることができる。	
		8th	前期中間試験		
	2nd Quarter	9th	平面上の直線(1)	平面上の直線の方程式を求めることができる。	
		10th	平面上の直線(2)	ベクトルを用いて平面上の直線の方程式を求めることができる。	
		11th	円	平面上の円の方程式を求めることができる。	
		12th	空間の座標	座標空間を理解し、点の座標、2点間の距離を求めることができる。	
		13th	空間のベクトル	成分表示されたベクトルの大きさ、和、差、実数倍の計算ができる。	
		14th	空間ベクトルの内積	空間ベクトルの内積を求めることができ、平行・垂直条件を利用することができる。	
		15th	演習		
		16th	前期末試験返却		
2nd Semester	3rd Quarter	1st	ベクトルと空間図形	位置ベクトルの意味を理解し、線分の内分点・外分点を求めることができる。	

		2nd	空間内の直線	空間内の直線の方程式を求めることができる。
		3rd	空間内の平面	空間内の平面の方程式を求めることができる。
		4th	球	球の方程式を求めることができる。
		5th	数列と一般項	数列の定義, 表記について理解し, 数の並び方からその規則性を推定して, 数列の一般項を考察できる。
		6th	等差数列	初項と公差を文字で表して, 条件から数列の一般項を決定できる。
		7th	等差数列の和	等差数列の和の公式を, 適切に利用して数列の和が求められる。
		8th	後期中間試験	
		4th Quarter	9th	等比数列
	10th		等比数列の和	等差数列の一般項やその和を求めることができる。等比数列の一般項やその和を求めることができる。
	11th		和の記号 Σ	記号 Σ の意味と性質を理解し, 数列の和が求められる。
	12th		総和の計算	第k項をkの式で表して, 初項から第n項までの和が求められる。
	13th		いろいろな数列の和	等比数列の和の公式を, 適切に利用して数列の和が求められる。
	14th		漸化式	漸化式の意味を理解し, 具体的に項が求められる。
	15th		等差数列・等比数列の漸化式	等差数列・等比数列の漸化式から一般項を求めることができる
	16th		学年末試験返却	

Evaluation Method and Weight (%)

	定期試験	小テスト	ポートフォリオ	発表・取り組み姿勢	その他	Total
Subtotal	80	0	0	0	20	100
基礎的能力	80	0	0	0	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2020	Course Title	物理 2
Course Information					
Course Code	1112B01		Course Category	General / Compulsory	
Class Format	Lecture		Credits	School Credit: 2	
Department	Liberal Arts and Sciences		Student Grade	2nd	
Term	Year-round		Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	総合物理 1, 2 (数研出版), リードα (数研出版)				
Instructor	Matsuo Toshihiro, Yamada Yohei, Sonoda Akihiko				
Course Objectives					
物理学を通じて自然現象を系統的, 論理的に考えていく能力を養い, 幅広い自然諸現象を科学的に解明するための物理的な見方, 考え方を身に付ける。 さらに, 物理学は工学を学ぶための極めて重要な基礎であり, 工学の数多くの分野において, 科学技術の発展に欠かせない知識であることを認識する。					
Rubric					
		理想的な到達レベルの目安(優)	標準的な到達レベルの目安(良)	最低限の到達レベル(可)	
運動量の保存		運動量の保存について説明でき, その諸問題について解決する能力がある。	運動量の保存を用いて, 問題を解くことができる。	運動量などの計算ができる。	
円運動		円運動と単振動の関係について説明できる。また, これらを利用して, 問題を解決できる能力がある。	円運動を利用して, 問題を解くことができる。	円運動についての基本問題の計算ができる。	
剛体にはたらく力のつりあい		剛体のつりあい, 重心などを説明でき, これらを用いて, 問題を解決できる能力がある。	剛体のつりあい, 重心などを用いて, 問題を解くことができる。	剛体のつりあい, 重心などを用いて, 基本問題の計算ができる。	
熱量の保存		熱量の保存を用いて, 物体の比熱を求めることができ, 熱と仕事の関係を説明できる能力がある。	熱量の保存を用いて, 物体の比熱を求めることができる。	熱量の保存則を用いて, 基本問題の計算ができる。	
熱力学第一法則		熱力学第一法則について説明でき, 気体が状態変化したときの内部エネルギーの変化, 気体がされた仕事, 気体に与えた熱量の関係を説明できる能力がある。	熱力学第一法則に関する諸問題を解くことができる。	熱力学第一法則に関する基本問題の計算ができる。	
波の性質		波の波長や振動数などの基本量を用いて, 波を記述でき, 波の基本原理, 諸現象についての標準問題について説明できる能力がある。	波の波長や振動数などの基本量の計算ができ, 波の基本原理, 諸現象についての標準問題を解くことができる。	波の波長や振動数などの基本量の計算ができる。	
音		発音体の振動や共振・共鳴, 及び音のドップラー効果について説明でき, これらの諸問題を解決できる能力がある。	発音体の振動や共振・共鳴, 及び音のドップラー効果についての標準問題を解くことができる。	発音体の振動や共振・共鳴, 及び音のドップラー効果についての基本問題を解くことができる。	
Assigned Department Objectives					
学習・教育到達度目標 B-3					
Teaching Method					
Outline	物理学は自然現象の探求を目的として発展した学問であるが, その成果は基礎科学だけでなく, 工学分野の基礎としても根付いている。 本講義では, 物理学の学習を通じて自然現象を系統的・論理的に考えていく力を養い, 幅広い自然現象を科学的に解明するための物理的な見方, 考え方を身につける。 2年生では, 力学, 熱力学, 波動を中心に学習する。				
Style	講義では理解できないことや疑問に思ったことなどは積極的に質問すること。また, 友達や先輩と積極的に議論を行うこと。予習→講義→復習, このサイクルを大切に, 自分の理解度が定量的に分かるようにしておくこと。				
Notice	科目コード: 1112B01				
Course Plan					
			Theme	Goals	
1st Semester	1st Quarter	1st	運動量と力積	運動量と力積をそれぞれ計算でき, それらの間の関係を使って問題を解くことができる。	
		2nd	運動量保存則	運動量保存則を使って直線上の衝突の問題を解くことができる。	
		3rd	運動量保存則	運動量保存則を使って平面上の衝突の問題を解くことができる。	
		4th	反発係数	反発係数を計算できる。	
		5th	円運動	角速度を使って変位や速度等を計算できる。	
		6th	円運動の加速度	円運動における加速度や向心力を計算できる。	
		7th	慣性力	慣性力を求めることができ, 遠心力を計算できる。	
		8th	前期中間試験		
	2nd Quarter	9th	単振動	単振動と円運動の式の間の関係を理解できる。	
		10th	単振動	種々の単振動の問題を扱うことができる。	
		11th	単振り子 (実験)	重力加速度の測定実験	
		12th	剛体に働く力のつりあい	剛体のつりあいの式をたてることができる。	
		13th	熱 (実験)	比熱実験	
		14th	気体の法則	気体の法則を用いて気体の状態を計算できる。	

		15th	熱と仕事	熱力学第一法則について理解している。
		16th	前期末試験	
2nd Semester	3rd Quarter	1st	気体分子の運動	気体分子の運動によって温度や圧力などの巨視的量を説明できる。
		2nd	気体の状態変化	熱力学第一法則により気体の状態変化を説明でき、状態量の計算ができる。
		3rd	気体の状態変化	熱力学第一法則により気体の状態変化を説明でき、状態量の計算ができる。
		4th	熱機関と効率	熱機関について理解し、熱効率に関する計算ができる。
		5th	波の性質	波の波長、周期、振動数、速さについて説明でき、それらの間の関係を答えることができる。
		6th	横波・縦波	横波と縦波の違いについて説明できる。
		7th	正弦波	正弦波の式を扱うことができる。
		8th	後期中間試験	
	4th Quarter	9th	波の重ね合わせの原理	波の重ね合わせの原理と波の独立性を理解できる。
		10th	波の反射と波の干渉	自由端と固定端について説明でき、波の干渉に関する基本問題を解くことができる。
		11th	波の反射、屈折、回折	ホイヘンスの原理を理解し、波の反射の法則、屈折の法則、および回折について説明できる。
		12th	音の性質	音の性質について説明できる。
		13th	発音体	弦や気柱の固有振動数を求めることができる。
		14th	ドップラー効果1	ドップラー効果による振動数変化を計算できる。
		15th	ドップラー効果2	ドップラー効果による振動数変化を計算できる。
		16th	学年末試験	

Evaluation Method and Weight (%)

	中間・定期試験	小テスト	ポートフォリオ	発表・取り組み姿勢	その他	Total
Subtotal	50	20	20	10	0	100
基礎的能力	40	20	20	10	0	90
専門的能力	10	0	0	0	0	10
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0

Anan College	Year	2020	Course Title	化学 2
--------------	------	------	--------------	------

Course Information

Course Code	1112D01	Course Category	General / Compulsory
Class Format	Lecture	Credits	School Credit: 2
Department	Liberal Arts and Sciences	Student Grade	2nd
Term	Year-round	Classes per Week	2
Textbook and/or Teaching Materials	高等学校 化学基礎 (第一学習社)、高等学校 化学 (第一学習社)、フォローアップドリル化学・化学基礎 (数研出版)、化学図録 (数研出版)		
Instructor	Yamada Yohei,		

Course Objectives

1. 基本的な炭化水素を記述、分類できる。官能基から有機化合物の性質を類推できる。
2. 構成原子間の電子移動により酸化還元反応が進むことを理解し、酸化還元反応の量的な計算ができる。
3. 身近な電池の仕組みを理解し、構造の概略を説明できる。電気分解における量的関係の計算ができる。
4. 与えられた条件から熱化学方程式を立式できる。反応熱の計算ができる。
5. 反応速度の定義を学び、反応速度式で記述することができる。

Rubric

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安
到達目標1	アルカン・アルケン・アルキン・シクロアルカンなど炭化水素の分類ができる。分子模型を通じて、構造異性体の概念を理解できた。飽和/不飽和炭化水素を用いた反応について、構造式を書ける。官能基を含む有機化合物 (アルコール・エーテル・アルデヒド・ケトン・カルボン酸) について、構造式を書ける。	資料を軽く読めば、アルカン・アルケン・アルキン・シクロアルカンなど炭化水素の分類ができる。分子模型を通じて、構造異性体の概念を理解できた。飽和/不飽和炭化水素を用いた反応について、構造式を書ける。官能基を含む有機化合物 (アルコール・エーテル・アルデヒド・ケトン・カルボン酸) について、構造式を書ける。	基本的な炭化水素の命名、記述であればできる。構造式を見て一部の官能基を識別できる。
到達目標2	酸化数を正確に決定できる。酸化反応、還元反応を別々に立式し、それらを足し合わせることができる。様々な酸化剤・還元剤を用いた酸化還元反応の量的な計算ができる。	酸化数を正確に決定できる。酸化反応、還元反応を別々に立式し、それらを足し合わせることができる。基礎的な酸化剤・還元剤を用いた酸化還元反応の量的な計算ができる。	酸化数がおおよそ決定できる。半反応式が与えられれば、全反応式を書ける。酸化剤・還元剤を用いた酸化還元反応の量的な計算が少しはできる。
到達目標3	様々な電池の仕組みを系統的に説明できる。電気分解における量的な計算が正確にできる。	代表的な電池の仕組みを説明できる。電気分解における量的な計算が6割程度できる。	電池の原理を説明する図をみれば、内容が理解できる。電気分解における量的な関係を教科書の情報から。
到達目標4	熱化学方程式を立式できる。エネルギー図と連立方程式の両解法を用いて反応熱の計算が正確にできる。	熱化学方程式を立式できる。エネルギー図と連立方程式の両解法を使い分けて、反応熱の計算を実行できる。	熱化学方程式を立式できない。エネルギー図の書き方が分からない。反応熱の計算ができない。
到達目標5	反応速度の測定結果から反応速度式が記述できる。反応速度と濃度、温度、触媒の関係を説明することができる。アレニウス式を用いて、反応速度定数と活性化エネルギーの関係を説明することができる。	反応速度の測定結果から反応速度式が記述できる。反応速度と濃度、温度、触媒の関係を説明することができる。	反応速度の測定結果から反応速度式が記述できない。反応速度と濃度、温度、触媒の関係を説明することができない。

Assigned Department Objectives

学習・教育到達度目標 B-3

Teaching Method

Outline	講義は理科総合 (1年) での学習内容をふまえて進めていく。理解が十分でない内容は必ず復習をして、授業には集中して取り組むこと。
Style	講義と演習を中心に進めていく。
Notice	

Course Plan

		Theme	Goals
1st Semester	1st Quarter	1st 酸化還元反応1	酸化還元反応を水素原子の移動・酸素原子の移動・電子の移動の観点から説明できる。酸化数の変化から、酸化された物質、還元された物質を決定できる。
		2nd 酸化還元反応2	酸化数の変化から、酸化された物質、還元された物質を決定できる。酸化剤と還元剤の半反応式をつくることができる。また、それらを足し合わせることで全反応式を立てることができる。
		3rd 酸化還元反応3	酸化剤・還元剤の強さに関する概念を説明できる。酸化還元滴定を用いた量的関係について計算できる。
		4th 酸化還元反応4	金属のイオン化傾向と金属の反応性について関連付けて説明できる。この考え方をを用いて起こり得る酸化還元反応を推測することができる。
		5th 酸化還元反応5	酸化還元反応に関するまとめ。総復習。
		6th 電池1	電池の基本的な原理を説明できる。ダニエル電池・ボルタ電池の原理を説明できる。
		7th 電池2	鉛蓄電池・燃料電池の原理を説明できる。

2nd Semester	2nd Quarter	8th	中間試験	
		9th	電池3・電気分解1	電池分野のまとめ。電気分解の原理を説明できる。
		10th	電気分解2	反応系を見て、電極材料と水溶液中に存在する分子やイオンを列挙できる。演習問題を解くことができる。
		11th	電気分解3	電極材料と水溶液の情報から、電極上で起こる反応を記述できる。
		12th	電気分解4	電気分解の応用例（NaCl水溶液の電気分解・電解精錬）を説明できる。
		13th	電気分解5	電気分解における量的関係の計算ができる。
		14th	反応熱と熱化学方程式1	熱化学方程式の表記ルールを説明できる。基本的な熱化学方程式を書くことができる。
		15th	反応熱と熱化学方程式2	基本的な熱化学方程式を書くことができる。
	16th	前期末試験		
	3rd Quarter	1st	反応熱と熱化学方程式3	反応熱、ヘスの法則を駆使して、反応熱に関する問題を解くことができる。
		2nd	反応熱と熱化学方程式4	反応熱、結合エネルギー、ヘスの法則を駆使して、反応熱に関する問題を解くことができる。
		3rd	化学反応の速さ1	反応速度に影響を与える因子を説明できる。反応速度の定義について説明できる。
		4th	化学反応の速さ2	過酸化水素を用いた反応速度実験について、原理を理解し、測定結果をグラフ化したり、反応の速さに関する情報を求めることができる。
		5th	化学反応の速さ3	反応速度式を立てることができる。
		6th	化学反応の速さ4	反応の速さに関するまとめ
		7th	化学平衡1	化学平衡の概念を説明できる。濃度・圧力・温度変化と平衡移動の関係性について説明できる。
8th		中間試験		
4th Quarter	9th	化学平衡2	ハーバーボッシュ法について、ルシャトリエの原理を用いて説明できる。	
	10th	有機化合物1	飽和炭化水素の名称や構造を説明できる。	
	11th	有機化合物2	飽和炭化水素・不飽和炭化水素の名称や構造を説明できる。	
	12th	有機化合物3	飽和炭化水素・不飽和炭化水素の名称や構造、性質を説明できる。	
	13th	有機化合物4	代表的な構造式を見て、官能基を見つけることができる。	
	14th	有機化合物5	官能基を持つ物質の合成法や反応について記述することができる。	
	15th	有機化合物6	官能基を持つ物質の合成法や反応について記述することができる。	
	16th	後期末試験		

Evaluation Method and Weight (%)

	定期試験	小テスト	ポートフォリオ	発表・取り組み姿勢	その他	Total
Subtotal	60	20	20	0	0	100
基礎的能力	60	20	20	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2020	Course Title	日本語総合
Course Information					
Course Code	1112G01		Course Category	General / Compulsory	
Class Format	Lecture		Credits	School Credit: 2	
Department	Liberal Arts and Sciences		Student Grade	2nd	
Term	Year-round		Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	高専日本語アビリティ I・II (阿南高専) / 級別漢字学習帳7級~2級 (東京法令出版)				
Instructor	Tsuboi Taiji				
Course Objectives					
1.情報の収集・分析・整理を行い、構成を工夫して口頭発表できる。 2.文学的な文章を表現に即して読み味わい、説明できる。 3.論理的な文章について、その論拠の妥当性を判断し、自分の意見を述べることができる。					
Rubric					
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安	
到達目標1		情報の収集・分析・整理を適切に行い、論理的な構成、適切な表現スキルにより口頭発表できる。	情報の収集・分析・整理を適切に行い、論理的な構成により口頭発表できる。	情報の収集・分析・整理を行い、構成を工夫して口頭発表できる。	
到達目標2		文学的な文章を表現に即して読み味わい、自分の考えを加えて適切に説明できる。	文学的な文章を表現に即して読み味わい、適切に説明できる。	文学的な文章を表現に即して読み味わい、説明できる。	
到達目標3		論理的な文章について、その論拠の妥当性を的確に判断し、自分の意見を論理立てて述べるができる。	論理的な文章について、その論拠の妥当性を的確に判断し、自分の意見を述べるができる。	論理的な文章について、その論拠の妥当性を判断し、自分の意見を述べるができる。	
Assigned Department Objectives					
学習・教育到達度目標 C-2					
Teaching Method					
Outline	日本語の表現に関する基礎知識・技術を理解し、論理的なコミュニケーション能力を養うことを目的とする。				
Style	授業は、文章表現および口頭表現に関する学習・練習を基本とする。また、小説・詩の鑑賞により社会を見つめる視野拡大の起点を獲得し、評論読解や漢字学習により理解や表現の力を培う。 【学習時間60時間】				
Notice	毎時間の冒頭に「読書の時間」を設けるので、各自で本を用意すること（漫画、雑誌、テキストを除く）。				
Course Plan					
			Theme	Goals	
1st Semester	1st Quarter	1st	ガイダンス	シラバスにより、到達目標、評価割合、達成度基準等を理解する。	
		2nd	表現法①	文末表現、修辭法（比喩的修辭）を活用して、表現できる。	
		3rd	表現法②	修辭法（比喩的修辭以外のもの）を活用して、表現できる。	
		4th	表現法③	設疑法、反語法を活用して、表現できる。	
		5th	小説の鑑賞①	鑑賞技法を活用して、『枯野抄』を鑑賞できる。	
		6th	小説の鑑賞②	『枯野抄』についての鑑賞をチームで共有し、まとめられる。	
		7th	小説の鑑賞③	『枯野抄』についてのチームの鑑賞を、役割分担をして発表し、質疑に回答できる。	
		8th	前期中間試験	学習のまとめ	
	2nd Quarter	9th	文章表現①	読書感想文のテンプレートについて、論文との違いを説明できる。	
		10th	文章表現②	既習の表現法を活用して、読書感想文を執筆できる。	
		11th	文章表現③	読書感想文を、自身で校正できる。	
		12th	文章表現④	助言を受けて表現法を改善し、読書感想文を執筆できる。	
		13th	表現法④	構成法（3段構成）と接続の言葉を活用し、評論を読解できる。	
		14th	表現法⑤	設疑法、反語法や文末表現等の表現法に留意し、意見文を執筆できる。	
		15th	表現法⑥	助言を受けて表現法を改善し、意見文を執筆できる。	
		16th	答案返却	学習のまとめ	
2nd Semester	3rd Quarter	1st	評論読解①	評論の構造を理解し、読解の方法を説明できる。	
		2nd	評論読解②	評論（時事ニュース）を読解し、要約と意見提示ができる。	
		3rd	評論読解③	評論（時事ニュース）を読解し、要約と意見提示ができる。	
		4th	評論読解④	評論（時事ニュース）を読解し、要約と意見提示を行い、共有できる。	
		5th	スピーチ①	文章表現との違いに留意し、スピーチ技法を説明し、構成シートを作成できる。	

		6th	スピーチ②	練習スピーチによりスピーチskillを理解し、改善のポイントを説明できる。
		7th	スピーチ③	スピーチskillを適切に活用し、効果的にスピーチできる。
		8th	中間試験	学習のまとめ
	4th Quarter	9th	詩の鑑賞①	鑑賞技法（小説との共通点、違い）を活用して、『初恋』を鑑賞できる。
		10th	詩の鑑賞②	近代文学史概観を理解し、詩を鑑賞できる。
		11th	詩の鑑賞③	既習の表現法および詩特有の表現法をふまえ、詩を鑑賞できる。
		12th	詩の鑑賞④	既習の表現法および詩特有の表現法をふまえ、詩を鑑賞し、暗唱できる。
		13th	CMコピーの分析①	既習の表現法を整理し、説明できる。
		14th	CMコピーの分析②	既習の表現法を活用し、CMコピーを分析できる。
		15th	まとめ	到達目標に照らし、学習内容を点検し、整理できる。
16th	答案返却	学習のまとめ		

Evaluation Method and Weight (%)

	定期試験	小テスト	ポートフォリオ	発表・取り組み姿勢	その他	Total
Subtotal	80	0	8	8	4	100
基礎的能力	80	0	8	8	4	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2020	Course Title	英語 2
Course Information					
Course Code	1112H01		Course Category	General / Compulsory	
Class Format	Lecture		Credits	School Credit: 2	
Department	Liberal Arts and Sciences		Student Grade	2nd	
Term	Year-round		Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	Q:Skills for Success Listening and Speaking Level 1				
Instructor	Taninaka Toshihiro				
Course Objectives					
This course is designed to develop listening and speaking skills for English conversation by providing critical thinking opportunities which enable students to practice using an open-ended lecture format. Knowledge of English vocabulary, expressions and grammar is applied to real life situations. Composition and comprehension activities are also utilized in order to continue developing conversation fluency.					
Rubric					
		Ideal Level of Achievement (Very Good)	Standard Level of Achievement (Good)	Unacceptable Level of Achievement (Fail)	
Evaluation 1		Students are able to converse smoothly with one another and the native teacher.	Students can answer a question or make a comment in a few words and speak freely in a group.	Students cannot understand the majority of exercises and activities and cannot speak easily.	
Evaluation 2		Students speak their opinions directly and utilize critical thinking skills in English.	Students can answer the majority of questions, listen attentively and write their ideas clearly.	Students remain passive, do not express themselves and cannot comprehend the lecture	
Evaluation 3		Students can take notes entirely in English and can present their ideas clearly and concisely.	Students can take notes in Japanese and grasp the main idea of the lecture but not the details.	Students can take notes in Japanese and do not understand the majority of the lecture.	
Assigned Department Objectives					
学習・教育到達度目標 C-3					
Teaching Method					
Outline	This course focuses on listening and speaking skills for Basic English conversation. Critical thinking opportunities aid students in processing new information and the application of that knowledge is related to real life situations through dialogue practice. Composition and comprehension activities are also utilized.				
Style	<ol style="list-style-type: none"> 1. Develop listening skills and communication strategies using native English conversation. 2. Gain confidence in speaking and listening and perfect composition writing and critical reading skills. 3. Improve communication skills in order to smoothly engage in conversations with foreign people. 4. Engage in cultural awareness and open-mindedness to others using cultural comparisons. 				
Notice	Students will come to class prepared. Students using a cellphone in class equals one tardiness on the first warning. Students will not sleep in the class. Students will be enthusiastic and enjoy themselves.				
Course Plan					
			Theme	Goals	
1st Semester	1st Quarter	1st	Course and student introductions	Note-taking skills, writing key words and main ideas	
		2nd	Formal self-introduction to peers in a professional setting; politeness	Job Hunting exercise; It's + adj. + infinite; asking for repetition / clarification	
		3rd	Paced and timed reading diagnostic	Forms of present tense / review of past tenses	
		4th	Reading skills: Previewing; main idea; etc.	Distinguishing between words with similar meanings	
		5th	Vocabulary quiz, exercises to be arranged	Vocabulary Word list review	
		6th	Cultural Identity vs. Ethnic Fashions	Purpose of international studies / communication	
		7th	International Advertising exercise	Listening for main ideas and more nuanced details	
		8th	Mid-Term Exam		
	2nd Quarter	9th	The World's Most Visited Attractions comprehension	Understanding numbers and dates; discussion question	
		10th	Metric versus Non-Metric measurements	How to convert large numbers or decimal numbers	
		11th	Village is More Global, Language is More Vital	Modals, prepositions, discussion topics	
		12th	Sociology; Presentation on international tourism	Suffixes; Reduction of "be going to" into "gonna"	
		13th	Vocabulary Quiz; The Science of Smiling Discussion and activity	Making notes using a word web; synonyms	
		14th	Simple present for informal narratives; Participle forms	Simple present-tense third person -s/-es; using the dictionary	
		15th	Sports in our lives Grammar activity	Relative clauses, Gerunds as subjects or objects / Infinitives	
		16th	Final Exam		
2nd Semester	3rd Quarter	1st	Review of course expectations	Using an outline, comprehension check	
		2nd	Cross-Cultural Research using Direct/Indirect Speech	Conjunctions "and" and "but"; linking consonants to vowels	

		3rd	Making inferences and eliminating lies	Develop self-editing strategies
		4th	Writing in a Variety of Rhetorical Modes	Improve reading speed; Recognizing new vocabulary
		5th	What's the Right Thing to Do; Philosophical morality.	Identify references in a text (pronouns/nouns)
		6th	Listening for different opinions; speech analysis	Using eye contact, tone of voice and pauses
		7th	Vocabulary quiz; Verb-noun collocations; Content word stress	Predict development and anticipate ideas; active reading
		8th	Mid-Term Exam	
	4th Quarter	9th	Relationships between ideas, comparisons and contrasts, cause and effect, persuasion, etc.	Context clues (grammatical, semantic, organizational) to deduce meaning
		10th	Presentation of information from lecture notes	Distinguish between the presentation of fact and opinion
		11th	Vocabulary Quiz; Express and justify an opinion about an important issue or personal experience	Give and seek constructive feedback through peer review
		12th	Reading skills: scanning; patterns of organization; Verb tense for generalizations and hedging	Recognize accurate paraphrases of information from text
		13th	Paced reading: "Plagiarism Lines Blur" Reading skills: Expanding fixations; critical thinking	Use of agreement / counterargument and refutation; use of "should / shouldn't"
		14th	idioms and expressions in cultures throughout the world	"So" and "Such" with adjectives; linking vowel sounds
		15th	The Science of Fear; Psychology related to Identity	Emotional expression; Tell a personal story
		16th	Final Exam	

Evaluation Method and Weight (%)

	Examination	Quiz	Assignments	Presentation	Other		Total
Subtotal	60	10	15	10	5	0	100
Basic Ability	60	10	15	10	5	0	100
Technical Ability	0	0	0	0	0	0	0
Interdisciplinary Ability	0	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2020	Course Title	英語B
Course Information					
Course Code	1112H11		Course Category	General / Compulsory	
Class Format	Lecture		Credits	School Credit: 2	
Department	Liberal Arts and Sciences		Student Grade	2nd	
Term	Year-round		Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	ブレイクスルー総合英語[基本例文ノート付], ブレイクスルー英文法36章, 同ワークブック, 英文速読10分テスト Rapid Reading Level 2 (以上すべて美誠社)				
Instructor	Taninaka Toshihiro, Fujii Hiromi, Katsufuji Kazuko				
Course Objectives					
<ol style="list-style-type: none"> 教科書で学ぶ基本的な英文法の概念を理解し, 学習のポイントを説明できる。 教科書で学ぶ基本的な英文法の知識を応用して, 文レベルの英作文ができる。 比較的簡単な英語のエッセイ全体の意味の概略を把握しながら, 必要な情報を見つけることのできる速読力を身につける。 3の速読教材の英文をシャドウイングできる。 					
Rubric					
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安	
評価項目1		各節の基本的な英文法の概念や構文を理解し, 学習した例文と同様のポイントを含む英文を、文法用語を用いて分析し説明できる。	各節の基本的な英文法の概念や構文を理解し, 学習した例文のポイントを文法用語を用いて分析し説明できる。	各節の基本的な英文法の概念や構文を理解し, 理解すべきポイントを箇条書き的には説明できる。	
評価項目2		学習した英文法の知識を応用して, モデル文を与えられなくても文法的に正しい1文単位の簡単な英作文ができる。	学習した英文法の知識を応用して, モデル文を与えられなくても文法的にほぼ正しい1文単位の簡単な英作文ができる。	学習した英文法の知識を応用して, モデル文を与えられれば文法的にほぼ正しい1文単位の簡単な英作文ができる。	
評価項目3		200~250語程度の英文を制限時間より短い時間で速読しながら内容を把握し, 必要な情報のほとんどを正しく探し出せる。	200~250語程度の英文を制限時間程度で速読しながら内容をほぼ把握し, 時間をかければ必要な情報のほとんどを探し出せる。	200~250語程度の英文を制限時間程度で速読しながら内容をほぼ把握し, 時間をかければ必要な情報の60%程度を探し出せる。	
評価項目4		速読で取り扱う英文のシャドウイングでは, 複雑な文でもほとんどついていける。	速読で取り扱う英文のシャドウイングでは, 短い簡単な文ではほとんどついていけ, 複雑な文でも半分程度はついていける。	速読で取り扱う英文のシャドウイングでは, 短い簡単な文ではほとんどついていけ, 複雑な文でも一部だけならついていける。	
Assigned Department Objectives					
学習・教育到達度目標 C-3					
Teaching Method					
Outline	英語Aに引き続き英文法の運用力と速読力をさらに発達させる。英文法の理解を通じて英語基礎力を固め, 英語の4技能(読む・聞く・書く・話す)を総合的に伸ばす。また, 速読演習を通して読解力を向上させるとともに語彙力を増強させる。				
Style	Rapid Reading 2の英文エッセイを, 時間を計測しながら速読し, 内容についての質問に答え, 単語熟語の発音と意味の確認し, 文章全体のシャドウイングを行う。文法は, 文法項目についての講義の後, ブレイクスルー英文法36の一部の問題を用いて演習に取り組む。予習には, 基本例文ノートの一部, 復習には, 復習レポートのほか, ブレイクスルー英文法36ワークブックと基本例文ノートの一部を用いる。				
Notice	<ol style="list-style-type: none"> 予習・復習用の基本例文ノート, 英文法36章, 同ワークブックを日頃からこつこつとこなして行くこと。 文法の授業内容は, 教科書や英文法36章, 配布する演習プリントに書き込んでいくこと。(遠隔授業の場合, 演習プリントは, 各自, 事前にプリントアウトするか, レポート用紙などに項目を書き写して用意しておくこと。) 演習プリントは, ファイルに綴じていくこと。 復習レポートは, 毎回提出すること。(遠隔授業では, 出欠確認の代わりにもなります。) 授業には必ず辞書(電子辞書可)を持っていくこと。 提出物の期限は厳守すること。 下記授業計画以外にGTEC, 小テストを実施し, 演習プリント, ワークブックなどは定期的にまとめて提出してもらいます。 				
Course Plan					
			Theme	Goals	
1st Semester	1st Quarter	1st	オリエンテーション	(1) シラバス・学習方法を理解する。	
		2nd	分詞(1) Rapid Reading Level 2 第1回	(1) 分詞の概念を理解し, 分析し, ほぼ正確に説明できる。 (2) (1)の知識を応用して, ほぼ正しい英文(1文単位)を作成できる。 (3) 200~250語程度の英文を速読し, 必要な情報をほぼ探し出すことができる。 (4) 速読で取り扱う英文のシャドウイングでは, 複雑な文章では間違いが, 簡易な文章はほとんどできる。	
		3rd	分詞(2) Rapid Reading Level 2 第2回	(1) 分詞の概念を理解し, 分析し, ほぼ正確に説明できる。 (2) (1)の知識を応用して, ほぼ正しい英文(1文単位)を作成できる。 (3) 200~250語程度の英文を速読し, 必要な情報をほぼ探し出すことができる。 (4) 速読で取り扱う英文のシャドウイングでは, 複雑な文章では間違いが, 簡易な文章はほとんどできる。	

	4th	分詞 (3) Rapid Reading Level 2 第3回	(1) 分詞の概念を理解し、分析し、ほぼ正確に説明できる。 (2) (1)の知識を応用して、ほぼ正しい英文(1文単位)を作成できる。 (3) 200~250語程度の英文を速読し、必要な情報をほぼ探し出すことができる。 (4) 速読で取り扱う英文のシャドウイングでは、複雑な文章では間違うが、簡易な文章はほとんどできる。
	5th	準動詞のまとめ Rapid Reading Level 2 第4回	(1) 準動詞の概念を理解し、分析し、ほぼ正確に説明できる。 (2) (1)の知識を応用して、ほぼ正しい英文(1文単位)を作成できる。 (3) 200~250語程度の英文を速読し、必要な情報をほぼ探し出すことができる。 (4) 速読で取り扱う英文のシャドウイングでは、複雑な文章では間違うが、簡易な文章はほとんどできる。
	6th	接続詞 (1) Rapid Reading Level 2 第5回	(1) 接続詞の概念を理解し、分析し、ほぼ正確に説明できる。 (2) (1)の知識を応用して、ほぼ正しい英文(1文単位)を作成できる。 (3) 200~250語程度の英文を速読し、必要な情報をほぼ探し出すことができる。 (4) 速読で取り扱う英文のシャドウイングでは、複雑な文章では間違うが、簡易な文章はほとんどできる。
	7th	接続詞 (2) 復習問題	(1) 接続詞の概念を理解し、分析し、ほぼ正確に説明できる。 (2) (1)の知識を応用して、ほぼ正しい英文(1文単位)を作成できる。
	8th	前期中間試験	
2nd Quarter	9th	試験返却と解説 関係詞 (1)	(1) 関係詞の概念を理解し、分析し、ほぼ正確に説明できる。 (2) (1)の知識を応用して、ほぼ正しい英文(1文単位)を作成できる。 (3) 200~250語程度の英文を速読し、必要な情報をほぼ探し出すことができる。 (4) 速読で取り扱う英文のシャドウイングでは、複雑な文章では間違うが、簡易な文章はほとんどできる。
	10th	関係詞 (2) Rapid Reading Level 2 第6回	(1) 関係詞の概念を理解し、分析し、ほぼ正確に説明できる。 (2) (1)の知識を応用して、ほぼ正しい英文(1文単位)を作成できる。 (3) 200~250語程度の英文を速読し、必要な情報をほぼ探し出すことができる。 (4) 速読で取り扱う英文のシャドウイングでは、複雑な文章では間違うが、簡易な文章はほとんどできる。
	11th	関係詞 (3) Rapid Reading Level 2 第7回	(1) 関係詞の概念を理解し、分析し、ほぼ正確に説明できる。 (2) (1)の知識を応用して、ほぼ正しい英文(1文単位)を作成できる。 (3) 200~250語程度の英文を速読し、必要な情報をほぼ探し出すことができる。 (4) 速読で取り扱う英文のシャドウイングでは、複雑な文章では間違うが、簡易な文章はほとんどできる。
	12th	関係詞 (4) Rapid Reading Level 2 第8回	(1) 関係詞の概念を理解し、分析し、ほぼ正確に説明できる。 (2) (1)の知識を応用して、ほぼ正しい英文(1文単位)を作成できる。 (3) 200~250語程度の英文を速読し、必要な情報をほぼ探し出すことができる。 (4) 速読で取り扱う英文のシャドウイングでは、複雑な文章では間違うが、簡易な文章はほとんどできる。
	13th	前置詞 Rapid Reading Level 2 第9回	(1) 関係詞の概念を理解し、分析し、ほぼ正確に説明できる。 (2) (1)の知識を応用して、ほぼ正しい英文(1文単位)を作成できる。 (3) 200~250語程度の英文を速読し、必要な情報をほぼ探し出すことができる。 (4) 速読で取り扱う英文のシャドウイングでは、複雑な文章では間違うが、簡易な文章はほとんどできる。
	14th	復習問題 Rapid Reading Level 2 第10回	(1) 200~250語程度の英文を速読し、必要な情報をほぼ探し出すことができる。 (2) 速読で取り扱う英文のシャドウイングでは、複雑な文章では間違うが、簡易な文章はほとんどできる。
	15th	Rapid Reading Level 2 第11回	(1) 200~250語程度の英文を速読し、必要な情報をほぼ探し出すことができる。 (2) 速読で取り扱う英文のシャドウイングでは、複雑な文章では間違うが、簡易な文章はほとんどできる。
	16th	前期末試験返却	

2nd Semester	3rd Quarter	1st	比較 (1) Rapid Reading Level 2 第12回	(1) 比較の概念を理解し、分析し、ほぼ正確に説明できる。 (2) (1)の知識を応用して、ほぼ正しい英文(1文単位)を作成できる。 (3) 200~250語程度の英文を速読し、必要な情報をほぼ探し出すことができる。 (4) 速読で取り扱う英文のシャドウイングでは、複雑な文章では間違うが、簡易な文章はほとんどできる。
		2nd	比較 (2) Rapid Reading Level 2 第13回	(1) 比較の概念を理解し、分析し、ほぼ正確に説明できる。 (2) (1)の知識を応用して、ほぼ正しい英文(1文単位)を作成できる。 (3) 200~250語程度の英文を速読し、必要な情報をほぼ探し出すことができる。 (4) 速読で取り扱う英文のシャドウイングでは、複雑な文章では間違うが、簡易な文章はほとんどできる。
		3rd	比較 (3) Rapid Reading Level 2 第14回	(1) 比較の概念を理解し、分析し、ほぼ正確に説明できる。 (2) (1)の知識を応用して、ほぼ正しい英文(1文単位)を作成できる。 (3) 200~250語程度の英文を速読し、必要な情報をほぼ探し出すことができる。 (4) 速読で取り扱う英文のシャドウイングでは、複雑な文章では間違うが、簡易な文章はほとんどできる。
		4th	否定 (1) Rapid Reading Level 2 第15回	(1) 否定の概念を理解し、分析し、ほぼ正確に説明できる。 (2) (1)の知識を応用して、ほぼ正しい英文(1文単位)を作成できる。 (3) 200~250語程度の英文を速読し、必要な情報をほぼ探し出すことができる。 (4) 速読で取り扱う英文のシャドウイングでは、複雑な文章では間違うが、簡易な文章はほとんどできる。
		5th	否定 (2) Rapid Reading Level 2 第16回	(1) 否定の概念を理解し、分析し、ほぼ正確に説明できる。 (2) (1)の知識を応用して、ほぼ正しい英文(1文単位)を作成できる。 (3) 200~250語程度の英文を速読し、必要な情報をほぼ探し出すことができる。 (4) 速読で取り扱う英文のシャドウイングでは、複雑な文章では間違うが、簡易な文章はほとんどできる。
		6th	様々な構文 (1) Rapid Reading Level 2 第17回	(1) 様々な構文の概念を理解し、分析し、ほぼ正確に説明できる。 (2) (1)の知識を応用して、ほぼ正しい英文(1文単位)を作成できる。 (3) 200~250語程度の英文を速読し、必要な情報をほぼ探し出すことができる。 (4) 速読で取り扱う英文のシャドウイングでは、複雑な文章では間違うが、簡易な文章はほとんどできる。
		7th	Rapid Reading Level 2 第18回 小テスト	(1) 200~250語程度の英文を速読し、必要な情報をほぼ探し出すことができる。 (2) 速読で取り扱う英文のシャドウイングでは、複雑な文章では間違うが、簡易な文章はほとんどできる。
		8th	後期中間試験	
	4th Quarter	9th	試験返却と解説 仮定法 (1)	(1) 仮定法の概念を理解し、分析し、ほぼ正確に説明できる。 (2) (1)の知識を応用して、ほぼ正しい英文(1文単位)を作成できる。
		10th	仮定法 (2) Rapid Reading Level 2 第19回	(1) 仮定法の概念を理解し、分析し、ほぼ正確に説明できる。 (2) (1)の知識を応用して、ほぼ正しい英文(1文単位)を作成できる。 (3) 200~250語程度の英文を速読し、必要な情報をほぼ探し出すことができる。 (4) 速読で取り扱う英文のシャドウイングでは、複雑な文章では間違うが、簡易な文章はほとんどできる。
		11th	仮定法 (3) Rapid Reading Level 2 第20回	(1) 仮定法の概念を理解し、分析し、ほぼ正確に説明できる。 (2) (1)の知識を応用して、ほぼ正しい英文(1文単位)を作成できる。 (3) 200~250語程度の英文を速読し、必要な情報をほぼ探し出すことができる。 (4) 速読で取り扱う英文のシャドウイングでは、複雑な文章では間違うが、簡易な文章はほとんどできる。

		12th	語法 (1) Rapid Reading Level 2 第21回	(1) 語法の内容を理解し、分析し、ほぼ正確に説明できる。 (2) (1)の知識を応用して、ほぼ正しい英文(1文単位)を作成できる。 (3) 200~250語程度の英文を速読し、必要な情報をほぼ探し出すことができる。 (4) 速読で取り扱う英文のシャドウイングでは、複雑な文章では間違いが、簡易な文章はほとんどできる。
		13th	語法 (2) Rapid Reading Level 2 第22回	(1) 語法の内容を理解し、分析し、ほぼ正確に説明できる。 (2) (1)の知識を応用して、ほぼ正しい英文(1文単位)を作成できる。 (3) 200~250語程度の英文を速読し、必要な情報をほぼ探し出すことができる。 (4) 速読で取り扱う英文のシャドウイングでは、複雑な文章では間違いが、簡易な文章はほとんどできる。
		14th	様々な構文 (2) Rapid Reading Level 2 第23回	(1) 様々な構文の内容を理解し、分析し、ほぼ正確に説明できる。 (2) (1)の知識を応用して、ほぼ正しい英文(1文単位)を作成できる。 (3) 200~250語程度の英文を速読し、必要な情報をほぼ探し出すことができる。 (4) 速読で取り扱う英文のシャドウイングでは、複雑な文章では間違いが、簡易な文章はほとんどできる。
		15th	総まとめ	(1) 基礎的な文法の内容を総合的に理解し、分析し、ほぼ正確に説明できる。 (2) (1)の知識を応用して、ほぼ正しい英文(1文単位)を作成できる。
		16th	学年末試験返却	

Evaluation Method and Weight (%)

	定期試験	小テスト	ポートフォリオ	発表	その他	Total
Subtotal	50	20	30	0	0	100
基礎的能力	50	20	30	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2020	Course Title	英会話
Course Information					
Course Code	1112H21		Course Category	General / Compulsory	
Class Format	Lecture		Credits	School Credit: 2	
Department	Liberal Arts and Sciences		Student Grade	2nd	
Term	Year-round		Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	Q:Skills for Success Listening and Speaking Level 1				
Instructor	Christopher Prowant				
Course Objectives					
This course is designed to develop listening and speaking skills for English conversation by providing critical thinking opportunities which enable students to practice using an open-ended lecture format. Knowledge of English vocabulary, expressions and grammar is applied to real life situations. Composition and comprehension activities are also utilized in order to continue developing conversation fluency.					
Rubric					
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1		Students are able to converse smoothly with one another and the native teacher.	Students can answer a question or make a comment in a few words and speak freely in a group.	Students cannot understand the majority of exercises and activities and cannot speak easily.	
評価項目2		Students speak their opinions directly and utilize critical thinking skills in English.	Students can answer the majority of questions, listen attentively and write their ideas clearly.	Students remain passive, do not express themselves and cannot comprehend the lecture.	
評価項目3		Students can take notes entirely in English and can present their ideas clearly and concisely.	Students can take notes in Japanese and grasp the main idea of the lecture but not the details.	Students can take notes in Japanese and do not understand the majority of the lecture.	
Assigned Department Objectives					
学習・教育到達度目標 C-3					
Teaching Method					
Outline	This course focuses on listening and speaking skills for Basic English conversation. Critical thinking opportunities aid students in processing new information and the application of that knowledge is related to real life situations through dialogue practice. Composition and comprehension activities are also utilized.				
Style	<ol style="list-style-type: none"> 1. Develop listening skills and communication strategies using native English conversation. 2. Gain confidence in speaking and listening and perfect composition writing and critical reading skills. 3. Improve communication skills in order to smoothly engage in conversations with foreign people. 4. Engage in cultural awareness and open-mindedness to others using cultural comparisons. 【授業時間60時間】				
Notice	Students will come to class prepared. Students using a cellphone in class equals one tardiness on the first warning. Students will not sleep in the class. Students will be enthusiastic and enjoy themselves.				
Course Plan					
			Theme	Goals	
1st Semester	1st Quarter	1st	Course and student introductions	Note-taking skills, writing key words and main ideas	
		2nd	Formal self-introduction to peers in a professional setting; politeness	Job Hunting exercise; It's + adj. + infinite; asking for repetition / clarification	
		3rd	Paced and timed reading diagnostic	Forms of present tense / review of past tenses	
		4th	Reading skills: Previewing; main idea; etc.	Distinguishing between words with similar meanings	
		5th	Vocabulary quiz, exercises to be arranged	Vocabulary Word list review	
		6th	Cultural Identity vs. Ethnic Fashions	Purpose of international studies / communication	
		7th	International Advertising exercise	Listening for main ideas and more nuanced details, using an outline, comprehension check	
		8th	Mid-Term Exam		
	2nd Quarter	9th	Performance check 1		
		10th	Metric versus Non-Metric measurements	Understanding numbers and dates; discussion question, converting large numbers or decimal numbers	
		11th	Village is More Global, Language is More Vital	Modals, prepositions, discussion topics	
		12th	Sociology; Presentation on international tourism	Suffixes; Reduction of "be going to" into "gonna"	
		13th	Vocabulary Quiz; The Science of Smiling Discussion and activity	Making notes using a word web; synonyms	
		14th	Simple present for informal narratives; Participle forms	Simple present-tense third person -s/-es; using the dictionary	
		15th	Sports in our lives Grammar activity	Relative clauses, Gerunds as subjects or objects / Infinitives	
		16th	Final Exam		
2nd Semester	3rd Quarter	1st	Performance check 2		

		2nd	Cross-Cultural Research using Direct/Indirect Speech	Conjunctions "and" and "but"; linking consonants to vowels
		3rd	Making inferences and eliminating lies	Develop self-editing strategies
		4th	Writing in a Variety of Rhetorical Modes	Improve reading speed; Recognizing new vocabulary
		5th	What's the Right Thing to Do; Philosophical morality.	Identify references in a text (pronouns/nouns)
		6th	Listening for different opinions; speech analysis	Using eye contact, tone of voice and pauses
		7th	Vocabulary quiz; Verb-noun collocations; Content word stress	Predict development and anticipate ideas; active reading
		8th	Mid-Term Exam	
		4th Quarter	9th	Performance check 3
	10th		Presentation of information from lecture notes, relationships between ideas, comparisons and contrasts, cause and effect, persuasion, etc.	Distinguish between the presentation of fact and opinion, context clues (grammatical, semantic, organizational) to deduce meaning
	11th		Vocabulary Quiz; Express and justify an opinion about an important issue or personal experience	Give and seek constructive feedback through peer review
	12th		Reading skills: scanning; patterns of organization; Verb tense for generalizations and hedging	Recognize accurate paraphrases of information from text
	13th		Paced reading: "Plagiarism Lines Blur" Reading skills: Expanding fixations; critical thinking	Use of agreement / counterargument and refutation; use of "should / shouldn't"
	14th		idioms and expressions in cultures throughout the world	"So" and "Such" with adjectives; linking vowel sounds
	15th		The Science of Fear; Psychology related to Identity	Emotional expression; Tell a personal story
	16th		Final Exam	

Evaluation Method and Weight (%)

	試験	小テスト	ポートフォリオ	発表・取り組み	その他	Total
Subtotal	50	15	15	10	10	100
基礎的能力	50	15	15	10	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2020	Course Title	政治経済
Course Information					
Course Code	1112I31		Course Category	General / Compulsory	
Class Format	Lecture		Credits	School Credit: 2	
Department	Liberal Arts and Sciences		Student Grade	2nd	
Term	Year-round		Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	教養の政治学・経済学（学術図書出版社）				
Instructor	Imada Hiroyuki				
Course Objectives					
1.民主政治の基本理論として社会契約説を説明できる。 2.日本国憲法を基軸に現在の政治制度を説明できる。 3.現在の国民経済や経済関連の諸政策を説明できる。					
Rubric					
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限の到達レベル(可)	
到達目標1		民主政治を基本理論として社会契約説を説明できる。	社会契約説の基本枠組み全体を説明できる。	社会契約説の基本枠組みの要点を説明できる。	
到達目標2		現在の政治制度の基本原理・制度・運用を説明できる。	現在の政治制度の基本構造の全体を説明できる。	現在の政治制度の基本構造の要点を説明できる。	
到達目標3		現在の国民経済の問題点や経済関連の諸政策の課題を説明できる。	現在の国民経済や経済関連の諸政策の概要を説明できる。	現在の国民経済や経済関連の諸政策の要点を説明できる。	
Assigned Department Objectives					
学習・教育到達度目標 A-2					
Teaching Method					
Outline	この科目では、民主政治の在り方と経済社会の仕組みについて包括的に学習する。				
Style	授業では、まず、民主主義の基本原理を理解したうえで、現在の政治制度を、日本国憲法を基軸に考察する。今日的な人権問題や社会問題についても学ぶ。次いで、経済の基礎概念を理解した上で、現在の国民経済の把握方法や経済関連の諸政策を考察する。現代企業論についても学ぶ。以上により、政治と経済の基本的論点について説明できる能力を身につける。				
Notice	日常的に、政治や経済の問題について主体的に関心を持つようにしてください。 時事的な話題や自分の身の回りの政治や経済に目を向け、授業との関連付けをしましょう。 参考書：憲法[第七版]（岩波書店）				
Course Plan					
			Theme	Goals	
1st Semester	1st Quarter	1st	政治原論	社会と政治、社会契約説の基本枠組みについて説明できる。	
		2nd	政治原論	社会と政治、社会契約説の基本枠組みについて説明できる。	
		3rd	政治各論 「大日本帝国憲法」	天皇大権、統治機構、臣民の権利について説明できる。	
		4th	政治各論 「大日本帝国憲法」	天皇大権、統治機構、臣民の権利について説明できる。	
		5th	政治各論 「日本国憲法」 国民主権・権力分立	主権、国民主義、権力分立について説明できる。	
		6th	政治各論 「日本国憲法」 国民主権・権力分立	主権、国民主義、権力分立について説明できる。	
		7th	中間試験		
		8th	国会・選挙制度・政党	国民代表、選挙制度、立法権、国会制度、政党について説明できる。	
	2nd Quarter	9th	国会・選挙制度・政党	国民代表、選挙制度、立法権、国会制度、政党について説明できる。	
		10th	国会・選挙制度・政党	国民代表、選挙制度、立法権、国会制度、政党について説明できる。	
		11th	国会・選挙制度・政党	国民代表、選挙制度、立法権、国会制度、政党について説明できる。	
		12th	内閣・官僚制	議院内閣制、行政権、内閣制度、官僚制、行政組織などを説明できる。	
		13th	内閣・官僚制	議院内閣制、行政権、内閣制度、官僚制、行政組織などを説明できる。	
		14th	内閣・官僚制	議院内閣制、行政権、内閣制度、官僚制、行政組織などを説明できる。	
		15th	内閣・官僚制	議院内閣制、行政権、内閣制度、官僚制、行政組織などを説明できる。	
		16th	期末試験答案返却		
2nd Semester	3rd Quarter	1st	裁判所・基本的人権	司法権、裁判制度、基本的人権、司法審査制について説明できる。	
		2nd	裁判所・基本的人権	司法権、裁判制度、基本的人権、司法審査制について説明できる。	
		3rd	裁判所・基本的人権	司法権、裁判制度、基本的人権、司法審査制について説明できる。	

4th Quarter	4th	裁判所・基本的人権	司法権、裁判制度、基本的人権、司法審査制について説明できる。
	5th	圧力団体・世論	日本の圧力団体、世論について説明できる。
	6th	経済原論	経済理論、経済体制、経済主体、経済活動について説明できる。
	7th	経済各論 市場経済と価格機構	市場機構、独占・寡占について説明できる。
	8th	中間試験	
	9th	経済各論 国民経済	国民所得、国富について説明できる。
	10th	経済各論 国民経済	国民所得、国富について説明できる。
	11th	経済各論 景気循環	景気変動、景気指標について説明できる。
	12th	経済各論 経済の諸政策	金融政策、財政政策、経済政策について説明できる。
	13th	経済各論 経済の諸政策	金融政策、財政政策、経済政策について説明できる。
	14th	経済各論 経済の諸政策	金融政策、財政政策、経済政策について説明できる。
	15th	経済各論 現代企業論	企業組織、企業の社会的責任について説明できる。
	16th	期末試験答案返却	

Evaluation Method and Weight (%)

	定期試験	小テスト	ポートフォリオ	発表・取り組み姿勢	その他	Total
Subtotal	70	0	30	0	0	100
基礎的能力	60	0	30	0	0	90
専門的能力	10	0	0	0	0	10
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2020	Course Title	歴史総合
Course Information					
Course Code	1112I51		Course Category	General / Compulsory	
Class Format	Lecture		Credits	School Credit: 2	
Department	Liberal Arts and Sciences		Student Grade	2nd	
Term	Year-round		Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	世界史B (東京書籍)				
Instructor	Fujii Taketo, Hamada Kaori				
Course Objectives					
1. 近現代の歴史の変化に関する諸事象について、世界と其中的の日本をひろく相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関する近現代の歴史を理解する。 2. 諸資料から歴史の変化に関わる様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。 3. 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養う。 4. 日本国民としての自覚、自国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。					
Rubric					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限の到達レベル (可)		
到達目標1	近現代の歴史の変化に関する諸事象について、世界と其中的の日本をひろく相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関する近現代の歴史を十分に理解する。	近現代の歴史の変化に関する諸事象について、世界と其中的の日本をひろく相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関する近現代の歴史を理解する。	現代的な諸課題の形成に関する近現代の歴史を理解する。		
到達目標2	諸資料から歴史の変化に関わる様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけ、発表することができる。	諸資料から歴史の変化に関わる様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。	諸資料から歴史の変化に関わる様々な情報を調べまとめる技能を身につける。		
到達目標3	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする充分な態度を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象についての課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養う。		
到達目標4	日本国民としての自覚、自国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を十分に深める。	日本国民としての自覚、自国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。	日本国民としての自覚、自国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を持つ。		
Assigned Department Objectives					
学習・教育到達度目標 A-1					
Teaching Method					
Outline	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、資料を活用しながら歴史の学び方を習得し、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を考察・構想する。				
Style	生徒それぞれが長期的な変化に関わる諸資料を読み取り、歴史の事象への問いを持つ。生徒が表現した問いを踏まえ、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史に関する理解を深める。生徒が主題を設定して、考察・構想・表現する。				
Notice	主体的な態度で講義に参加するようにしましょう。 参考書：詳説 世界史研究 [改訂版] (山川出版社)				
Course Plan					
			Theme	Goals	
1st Semester	1st Quarter	1st	歴史とわたしたち	生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解する。	
		2nd	歴史の特質と資料	複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現できる。	
		3rd	近代化への問い	近代化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いと表現することができる。	
		4th	近代化への問い	近代化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いと表現することができる。	
		5th	結び付く世界と日本の開国	産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、工業化と世界市場の形成を理解することができる。	
		6th	結び付く世界と日本の開国	産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、工業化と世界市場の形成を理解することができる。	
		7th	国民国家と明治維新	列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解することができる。	
		8th	中間試験	講義で学習した内容を理解し、その成果を十分に発揮することができる。	
	2nd Quarter	9th	国民国家と明治維新	列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解することができる。	
		10th	近代化と現代的な諸課題	現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解することができる。	
		11th	近代化と現代的な諸課題	現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解することができる。	

		12th	国際秩序の変化や大衆化への問い	国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現することができる。
		13th	国際秩序の変化や大衆化への問い	国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現することができる。
		14th	第一次世界大戦と大衆社会	第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。
		15th	第一次世界大戦と大衆社会	第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。
		16th	期末試験・答案返却	講義で学習した内容を理解し、その成果を十分に発揮することができる。
2nd Semester	3rd Quarter	1st	経済危機と第二次世界大戦	第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。
		2nd	経済危機と第二次世界大戦	第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。
		3rd	経済危機と第二次世界大戦	第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。
		4th	国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解することができる。
		5th	国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解することができる。
		6th	グローバル化への問い	グローバル化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現することができる。
		7th	冷戦と世界経済	冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。
		8th	中間試験	講義で学習した内容を理解し、その成果を十分に発揮することができる。
	4th Quarter	9th	冷戦と世界経済	冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。
		10th	冷戦と世界経済	冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。
		11th	世界秩序の変容と日本	冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。
		12th	世界秩序の変容と日本	冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。
		13th	世界秩序の変容と日本	冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。
		14th	現代的な諸課題	歴史的経緯を踏まえて、現代的な諸課題を理解することができる。
		15th	現代的な諸課題	歴史的経緯を踏まえて、現代的な諸課題を理解することができる。
		16th	期末試験・答案返却	講義で学習した内容を理解し、その成果を十分に発揮することができる。

Evaluation Method and Weight (%)

	定期試験	小テスト	ポートフォリオ	発表・取り組み姿勢	その他	Total
Subtotal	60	0	40	0	0	100
基礎的能力	60	0	40	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2020	Course Title	体育
Course Information					
Course Code	1113101		Course Category	General / Compulsory	
Class Format	Lecture		Credits	School Credit: 2	
Department	Liberal Arts and Sciences		Student Grade	3rd	
Term	Year-round		Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	なし/なし				
Instructor	Arai Osamu, Nakashima Hajime				
Course Objectives					
<p>1.互いに協力し合い、主体的に練習やゲームの方法を工夫して運動を実践できる。</p> <p>2.自己の能力に応じて、運動の技能や体力を身につけることができる。</p> <p>3.安全に留意して運動や活動ができる。</p>					
Rubric					
		理想的な到達レベル(優)	標準的な到達レベル(良)	最低限の到達レベル(可)	
到達目標1		自己及び、仲間の取るべき行動を適切に判断し、主体的に練習やゲームを工夫し、活動を円滑に実践できる。	自己の取るべき行動を判断し、他人と協力しながら練習やゲームを工夫し、活動に参加できる。	練習やゲームに参加することができる。	
到達目標2		自己の能力を理解し、適切なプログラムを作成して運動の技能や体力を身につけることができる。	教員が指示したプログラムに従い、運動の技能や体力を身につけることができる。	教員の指示したプログラムに従い、運動の技能や体力を身につける取り組みができる。	
到達目標3		活動中、自己のみならず仲間の安全に留意し、必要に応じて危険を回避する行動を取ることができる。	活動中、自己の安全に留意し、必要に応じて危険を回避する行動を取ることができる。	教員の指示により、安全に留意することができる。	
Assigned Department Objectives					
Teaching Method					
Outline	運動を行うことにより、運動することの楽しさや喜びの実感、運動に必要な技能の習得及び、体力の向上を図る。合わせて自ら意欲的に運動に取り組む姿勢や、生涯に渡って運動に親しむ態度を育てる。特に本授業では、生涯スポーツの観点から、自己の能力や興味関心に応じて種目を選択させ、運動を安全かつ楽しみながら実践できるよう、工夫・協力しながら学習することに重点を置く。				
Style	前期・後期の第1週目に種目を選択・決定し、半期を通じて該当種目を実施する。準備や運営を自主的に行うことで、生涯スポーツの基礎を身につける。 授業時間 60時間				
Notice	普段から健康管理を心がけ、風邪などにより授業を見学・欠席することの無いよう気をつけてください。学校指定の体操服で活動してください。天候等、やむを得ない事情により、実施種目は変更されることがあります。体育大会は授業時数に含まれますので、欠席しないようにしてください。				
Course Plan					
			Theme	Goals	
1st Semester	1st Quarter	1st	種目選択と実践	(1)各種目のルールを理解し説明できる。	
		2nd	種目選択と実践	(2)各種目の基本的な個人技能を習得する。	
		3rd	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。	
		4th	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。	
		5th	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。	
		6th	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。	
		7th	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。	
		8th	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。	
	2nd Quarter	9th	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。	
		10th	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。	
		11th	新体力テスト	正確な測定ができる。	
		12th	新体力テスト	正確な測定ができる。	
		13th	体育大会(前期)	(1)参加する種目で、仲間と協力してゲームを実践できる。	
		14th	体育大会(前期)	(1)参加する種目で、仲間と協力してゲームを実践できる。	
		15th	体育大会(前期)	(1)参加する種目で、仲間と協力してゲームを実践できる。	
		16th			
2nd Semester	3rd Quarter	1st	種目選択と実践	(1)各種目のルールを理解し説明できる。	
		2nd	種目選択と実践	(2)各種目の基本的な個人技能を習得する。	
		3rd	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。	
		4th	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。	
		5th	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。	
		6th	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。	
		7th	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。	
		8th	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。	

4th Quarter	9th	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。
	10th	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。
	11th	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。
	12th	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。
	13th	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。
	14th	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。
	15th	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。
	16th		

Evaluation Method and Weight (%)

	定期試験	小テスト	ポートフォリオ	発表・取り組み姿勢	その他	Total
Subtotal	0	0	0	0	100	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	100	100

Anan College		Year	2020	Course Title	微分積分
Course Information					
Course Code	1113A01		Course Category	General / Compulsory	
Class Format	Lecture		Credits	School Credit: 2	
Department	Liberal Arts and Sciences		Student Grade	3rd	
Term	Year-round		Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	「新版 微分積分」 岡本和夫 実教出版, 改訂版チャート式数学Ⅲ 数研, 練習ドリル数学Ⅲ 数研, 新版 微分積分 演習 実教出版				
Instructor	Tagami Takanori, Kushida Masahiro, Nishimori Yasuhito				
Course Objectives					
1. 定積分を用いて面積・体積を求めることができる。 2. 広義積分の計算ができる。 3. 累次積分の計算ができる。 4. 偏微分の基本的な計算ができて2変数関数の極値が求められる。 5. 1階微分方程式を解くことができる。 6. 定数係数同次線形微分方程式を解くことができる。 7. 定数係数非同次線形微分方程式を解くことができる。					
Rubric					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限の到達レベル(可)		
到達目標1	定積分を用いて複雑な図形の面積・体積を求めることができる。	定積分を用いて基本的な図形の面積・体積を求めることができる。	定積分を用いて簡単な図形の面積・体積を求めることができる。		
到達目標2	複雑な広義積分の計算ができる。	基本的な広義積分の計算ができる。	簡単な広義積分の計算ができる。		
到達目標3	変数変換や順序変換を用いて累次積分の計算ができる。	基本的な累次積分の計算ができる。	簡単な累次積分の計算ができる。		
到達目標4	偏微分の基本的な計算ができて2変数関数の極値が求められる。	偏微分の基本的な計算ができる。	偏微分の簡単な計算ができる。		
到達目標5	いろいろな1階微分方程式を解くことができる。	基本的な1階微分方程式を解くことができる。	簡単な1階微分方程式を解くことができる。		
到達目標6	いろいろな定数係数同次線形微分方程式を解くことができる。	基本的な定数係数同次線形微分方程式を解くことができる。	簡単な定数係数同次線形微分方程式を解くことができる。		
到達目標7	いろいろな定数係数非同次線形微分方程式を解くことができる。	基本的な定数係数非同次線形微分方程式を解くことができる。	簡単な定数係数非同次線形微分方程式を解くことができる。		
Assigned Department Objectives					
Teaching Method					
Outline	数学は工業高専において根幹となる科目である。本授業では微分法および積分法についての理解を深め、関数の解析、図形の計量に活用できる知識と技能を修得する。また偏微分、重積分の基本的な考え方を理解し、計算力を養う。				
Style	教科書を基にして、例題を解説したのち関連する問題演習を行う。併せて、ドリル・チャート・Workbookを用いて計算練習を行う。 【授業時間60時間】				
Notice	1. 授業に集中し、効率的に学習する方法を確立すること。予習復習は必須である。 2. 定期試験だけでなく、平常の小テスト、提出物等での努力を怠らないこと。 3. 課題等提出物の提出期限は厳守すること。				
Course Plan					
			Theme	Goals	
1st Semester	1st Quarter	1st	積分法の応用Ⅰ	定積分を用いて基本的な2曲線間の面積を求めることができる。	
		2nd	積分法の応用Ⅱ	定積分を用いていろいろな2曲線間の面積を求めることができる。	
		3rd	積分法の応用Ⅲ	定積分を用いていろいろな図形の体積を求めることができる。	
		4th	積分法の応用Ⅳ	定積分を用いて回転体の体積を求めることができる。	
		5th	いろいろな不定積分Ⅰ	三角関数の有理式の不定積分を求めることができる。	
		6th	いろいろな不定積分Ⅱ	無理関数の不定積分を求めることができる。	
		7th	まとめ		
		8th	中間試験		
	2nd Quarter	9th	広義積分	広義積分を求めることができる。	
		10th	累次積分	累次積分を求めることができる。	
		11th	累次積分とその応用	いろいろな累次積分を求めることができる。	
		12th	累次積分と順序交換	累次積分の積分順序の交換ができ、重積分の計算ができる。	
		13th	累次積分と順序交換とその応用	累次積分の積分順序の交換ができ、いろいろな重積分の計算ができる。	
		14th	2重積分と座標変換	1次変換と極座標変換を用いて重積分の計算ができる。	
		15th	2重積分と座標変換とその応用	1次変換と極座標変換を用いていろいろな重積分の計算ができる。	
		16th	まとめ	様々な定積分や不定積分が計算できる。	
2nd Semester	3rd Quarter	1st	偏微分係数・偏導関数	偏微分係数と偏導関数を求めることができる。	
		2nd	極値問題	極値の判定条件を用いて、極値を求めることができる。	

4th Quarter	3rd	二変数関数の極値問題	偏微分と極値の判定条件を用いて、二変数関数の極値を求めることができる。
	4th	無限級数とテーラー展開	無限級数を求めることができる。また三角関数や指数関数のテイラー展開を求めることができる。
	5th	変数分離形 1 階微分方程式	変数分離形 1 階微分方程式を解くことができる。
	6th	同次 1 階微分方程式	同次形 1 階微分方程式を解くことができる。
	7th	まとめ	
	8th	中間試験	
	9th	非同次 1 階線形微分方程式	定数変化法を用いて非同次 1 階線形微分方程式が解ける。
	10th	2 階微分方程式	階数降下法を用いて基本的な 2 階微分方程式が解ける。
	11th	2 階微分方程式	階数降下法を用いているいろいろな 2 階微分方程式が解ける。
	12th	定数係数同次線形微分方程式 I	特性方程式を用いて基本的な定数係数同次線形微分方程式が解ける。
	13th	定数係数同次線形微分方程式 II	特性方程式を用いているいろいろな定数係数同次線形微分方程式が解ける。
	14th	定数係数非同次線形微分方程式 I	特殊解が多項式または指数関数のとき定数係数非同次線形微分方程式が解ける。
	15th	定数係数非同次線形微分方程式 II	特殊解が三角関数のとき定数係数非同次線形微分方程式が解ける。
	16th	まとめ	

Evaluation Method and Weight (%)

	定期試験	小テスト	課題	発表・取り組み姿勢	その他	Total
Subtotal	80	0	20	0	0	100
基礎的能力	80	0	20	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2020	Course Title	数学C
Course Information					
Course Code	1113A11		Course Category	General / Compulsory	
Class Format	Lecture		Credits	School Credit: 2	
Department	Liberal Arts and Sciences		Student Grade	3rd	
Term	Year-round		Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	「新版 線形代数」(実教出版), 「新版 線形代数 演習」(実教出版)				
Instructor	Ukida Takuya, Kushida Masahiro				
Course Objectives					
1. 行列の定義を理解し、行列の和・差・実数倍、行列の積を求めることができる。 2. 掃き出し法や行列を用いて連立方程式を解くことができ、逆行列を求めることができる。 3. 行列式の性質を理解し、基本的な行列式の値を求めることができる。 4. 1次変換の定義を理解し、1次変換を表す行列を求めることができる。 5. 行列の固有値・固有ベクトルを求めて、対角化ができる。					
Rubric					
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限の到達レベル(可)	
到達目標1		複雑な行列の和・差・実数倍、行列の積を求めることができる。	行列の和・差・実数倍、行列の積を求めることができる。	簡単な行列の和・差・実数倍、行列の積を求めることができる。	
到達目標2		掃き出し法により、正方行列の正則性を判定できる。	掃き出し法や行列を用いて連立方程式を解くことができる。	掃き出し法により連立方程式を解くことができる。	
到達目標3		行列式の性質を利用して行列式の値の計算ができる。	行列式の値の計算ができる。	簡単な行列式の値の計算ができる。	
到達目標4		1次変換による簡単な図形の原像を求めることができる。	基礎的な1次変換を行列で表すことができ、1次変換による簡単な図形の像を求めることができる。	基礎的な1次変換を行列で表すことができる。	
到達目標5		正方行列の累乗を対角化を利用して計算することができる。	2次と3次の正方行列の固有値と固有ベクトルを求めることができ、それを用いて対角化できる。	2次正方行列の固有値と固有ベクトルを求めることができる。	
Assigned Department Objectives					
Teaching Method					
Outline	数学は工業高専において根幹となる科目である。本授業では、工学への応用で重要な役割を果たす行列と行列式の計算およびその応用を学習する。				
Style	教科書を基に例題の解説や計算方法を説明し、関連する問題演習を行う。 【授業時間60時間】				
Notice	1. 授業に集中し、効率的に学習する方法を確立すること。予習復習は必須である。 2. 定期試験の勉強はもちろん重要であるが、平常の小テストの勉強、提出物なども努力を怠らないこと。 3. 課題など提出物は提出期限を厳守すること。				
Course Plan					
			Theme	Goals	
1st Semester	1st Quarter	1st	行列の加法・減法・実数倍	行列を理解し、加法・減法・実数倍の計算ができる	
		2nd	行列の乗法	行列の積の計算学できる	
		3rd	行列の演算	行列の加法・減法・実数倍・積を含んだ計算が	
		4th	逆行列	2次正方行列の逆行列を求めることができる	
		5th	転置行列	転置行列を理解し、対称行列、交代行列、直交行列が判定できる。	
		6th	掃き出し法(1)	掃き出し法を用いて連立1次方程式を解くことができる。	
		7th	掃き出し法(2)	連立方程式の不能を判定し、不定の場合の解を求めることができる。	
		8th	演習	行列の様々な演算ができる。	
	2nd Quarter	9th	前期中間試験		
		10th	階数・逆行列	掃き出し法を用いて、行列の階数、逆行列を求めることができる。	
		11th	行列式	行列式を理解し、2次、3次の行列式の値を求めることができる。	
		12th	行列式の性質	行(列)操作を用いて行列式の値を求めることができる。	
		13th	行列式の性質	やや複雑な、行(列)操作を用いて行列式の値を求めることができる。	
		14th	文字を含む行列式	文字を含む行列式を因数分解することができる。	
		15th	演習		
		16th	前期末試験		
2nd Semester	3rd Quarter	1st	行列式の展開	行列式の行(列)展開を用いて、行列式の値を求めることができる。	
		2nd	行列の積の行列式	行列の積の行列式を理解することができる。	
		3rd	行列式と逆行列	余因子を求めて逆行列を求めることができる。	
		4th	行列式と連立1次方程式	クラメールの公式を用いて連立方程式の解を求めることができる。	

		5th	演習	行列，行列式の様々な計算ができる。
		6th	1次変換	1次変換を理解し，行列で表すことができる。
		7th	合成変換と逆変換	合成変換，逆変換を表す行列を求めることができる。
		8th	後期中間試験	
	4th Quarter	9th	1次変換と図形	図形の1次変換による像を求めることができる。
		10th	固有値・固有ベクトル	固有値，固有ベクトルを理解し，求めることができる。
		11th	固有値・固有ベクトル	3次正方行列の固有値，固有ベクトルを求めること学べる。
		12th	行列の対角化	固有値・固有ベクトルを計算し，対角化できる。
		13th	対称行列の対角化	対称行列を直交行列を用いて対角化できる。
		14th	対角化の応用	対角化することにより，行列の累乗が求められる。
		15th	演習	行列，行列式の様々な計算ができる。
		16th	後期期末試験	

Evaluation Method and Weight (%)

	定期試験	小テスト	ポートフォリオ	発表・取り組み	その他	Total
Subtotal	80	0	20	0	0	100
基礎的能力	80	0	20	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2020	Course Title	物理
Course Information					
Course Code	1113B01		Course Category	General / Compulsory	
Class Format	Lecture		Credits	School Credit: 2	
Department	Liberal Arts and Sciences		Student Grade	3rd	
Term	Year-round		Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	総合物理 2 (数研)				
Instructor	Matsuo Toshihiro, Yamada Yohei, Sonoda Akihiko				
Course Objectives					
電磁気：クーロンの法則や電場、電位などの基本的概念を説明できる。また、電流が磁場を生み出すことを説明でき、簡単な場合について磁場の強さを計算できる。 量子論：光や電子の粒子性と波動性を説明でき、ボーアの原子模型から離散スペクトルを計算できる。 微分積分を用いた力学：微積分を用いて力学の法則を表し、基本的な問題を扱うことができる。					
Rubric					
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安	
電磁気		クーロンの法則や電場、電位などの基本的概念を理解し、法則を数式を用いて説明することができる。それらに基づいて応用問題の解決に利用できる。 電流が磁場を生み出すことを理解し法則を数式で説明できる。磁気に関する基礎的な現象を法則にもとづいて計算できる。	電気に関する基礎的な現象を説明でき、クーロンの法則や電場、電位などの基本的概念を公式で表し、問題解決に運用できる。 電流が磁場を生み出すことを説明でき公式を数式で表すことができる。それを用いて簡単な場合について磁場の強さを計算できる。	電気に関する基礎的な現象をあげることができ、クーロンの法則や電場などの基本的概念を説明できる。 電流が磁場を生み出すことを理解し、磁気に関する基礎的な現象を説明できる。	
量子論		光や電子の二重性を説明でき、基本的な公式を用いて問題解決に応用できる。ボーアの理論を理解し、離散スペクトルが現れることを説明できる。	光や電子の粒子性・波動性を説明でき、基本的な公式を運用できる。ボーアの理論から離散スペクトルを計算できる。	光や電子の粒子性・波動性を説明できる。ボーアの量子条件を説明できる。	
微分積分を用いた力学		力学の基本法則を微積分を用いて表すことができ、公式の導出に適用できる。また種々の典型的な問題解決に応用できる。	微分積分を用いて力学の問題に関する基本的な扱いができる。	力学に現れる諸量や公式を微分積分の言葉で表すことができる。	
Assigned Department Objectives					
Teaching Method					
Outline	物理学は自然現象の探求を目的として発展した学問であるが、その成果は現代科学技術の基礎としてあらゆる分野に使われている。本講義では、物理学の学習を通じて自然現象を系統的・論理的に考えていく力を養い、広く自然の諸現象を科学的に解明するための物理的な見方、考え方を身につける。3年では、おもに電磁気学と量子論の基礎を学ぶ。また、微分積分を用いた力学の扱い方について初等的な内容の学習をおこなう。				
Style	授業は、小テスト（前回の復習）、講義による説明（新しく学ぶ内容）、問題演習（学んだ内容の確認）で構成します。 【授業時間60時間】				
Notice					
Course Plan					
			Theme	Goals	
1st Semester	1st Quarter	1st	静電気力	クーロンの法則により電荷間に働く力を計算できる	
		2nd	電場	電荷がつくる電場を説明できる	
		3rd	電位	電場の位置エネルギーとして電位を説明できる	
		4th	電流	荷電粒子の運動の総体として電流を説明できる	
		5th	ジュール熱と電力	電流のマイクロモデルからジュール熱が説明できる	
		6th	磁場の性質と電流の作る磁場	電流の作る磁場を計算できる	
		7th	電流が磁場から受ける力	電流が磁場から受ける力を計算できる	
		8th	前期中間試験		
	2nd Quarter	9th	ローレンツ力 1	磁場中を運動する荷電粒子が受ける力を説明できる	
		10th	ローレンツ力 2	ホール効果やサイクロトロンの問題を解くことができる	
		11th	電磁誘導の法則 1	電場や磁場が変化するときの現象を説明できる	
		12th	電磁誘導の法則 2	誘導起電力とエネルギーについて説明できる	
		13th	電磁波	電場と磁場の変化によって電磁波が生じることを説明できる	
		14th	光の性質	光の性質について説明できる	
		15th	光の干渉・回折	光の干渉や回折の基本問題を解くことができる	
		16th	期末試験返却		
2nd Semester	3rd Quarter	1st	陰極線と電子	電子の比電荷を説明できる	
		2nd	ミリカンの実験	電気素量の測定実験の内容を説明できる	
		3rd	光量子説	アインシュタインの光量子説を説明できる	
		4th	X線の波動性と粒子性	X線の波動性とブラッグ条件、粒子性とコンプトン効果を説明できる	
		5th	物質波	ドブロイの物質波を説明できる	
		6th	原子の構造	ラザフォードの原子模型を説明できる	

4th Quarter	7th	ボーアの理論	ボーアの理論によりエネルギー準位の計算ができる
	8th	後期中間試験	
	9th	微分積分を用いた力学 1	速度や加速度のような基本的な量を微分や積分を用いて表すことができる
	10th	微分積分を用いた力学 2	運動方程式を微分方程式の形で表すことができる
	11th	微分積分を用いた力学 3	仕事や力積を積分の形で表すことができる
	12th	CBT試験	
	13th	微分積分を用いた力学 4	万有引力や静電気力による位置エネルギーを積分を用いて導出できる
	14th	微分積分を用いた力学 5	単振動や円運動を微分積分を用いて扱うことができる
	15th	微分積分を用いた力学 6	微分方程式の簡単な例について解くことができる
	16th	期末試験返却	

Evaluation Method and Weight (%)

	定期試験	小テスト	ポートフォリオ	発表・取り組み姿勢	その他	Total
Subtotal	70	15	10	5	0	100
基礎的能力	50	15	10	5	0	80
専門的能力	20	0	0	0	0	20
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0

Anan College	Year	2020	Course Title	日本語総合
--------------	------	------	--------------	-------

Course Information

Course Code	1113G01	Course Category	General / Compulsory
Class Format	Lecture	Credits	School Credit: 1
Department	Liberal Arts and Sciences	Student Grade	3rd
Term	First Semester	Classes per Week	2
Textbook and/or Teaching Materials	高専日本語アビリティ I・II (阿南高専) / 常用漢字ダブルクリア (尚文出版)		
Instructor	Tsuboi Taiji, Nishikori Hirofumi		

Course Objectives

1. 他者を尊重した議論を集団としてまとめ、新たな発想や視点を獲得し、自分の思いや考えを整理し、深化させて説明できる。
2. 類義語・対義語・常用漢字・故事成語を理解し、思考や表現に活用できる。
3. 古文・漢文の時代背景を説明できる。

Rubric

	理想的な到達レベル(優)	標準的な到達レベル(良)	最低限の到達レベル(可)
到達目標1	他者を尊重した議論を集団としてまとめ、新たな発想や視点を獲得し、自分の思いや考えを適切に整理し、深化させて適切な表現スキルにより説明できる。	他者を尊重した議論を集団としてまとめ、新たな発想や視点を獲得し、自分の思いや考えを適切に整理し、深化させて説明できる。	他者を尊重した議論を集団としてまとめ、新たな発想や視点を獲得し、自分の思いや考えを整理し、深化させて説明できる。
到達目標2	類義語・対義語・常用漢字・故事成語を理解し、思考や表現に効果的に活用できる。	類義語・対義語・常用漢字・故事成語を理解し、思考や表現に適切に活用できる。	類義語・対義語・常用漢字・故事成語を理解し、思考や表現に活用できる。
到達目標3	古文・漢文の時代背景を理解し、文化的価値を適切に説明できる。	古文・漢文の時代背景を理解し、文化的価値を説明できる。	古文・漢文の時代背景を説明できる。

Assigned Department Objectives

Teaching Method

Outline	科学技術に関するものを含む広範囲な日本語を対象に、より高度な理解、柔軟な発想・思考、豊かな口頭表現を含む効果的なコミュニケーションや主体的な表現ができることを目的とする。
Style	授業は、表現に関する実践を基本とする。また、古文・漢文の鑑賞により社会を見つめる視野拡大の起点を獲得し、社会的データの活用や漢字学習により理解・表現の力を培う。 【授業時間30時間】
Notice	毎時間の冒頭に「読書の時間」を設けるので、各自で本を用意すること（マンガ、雑誌、テキストを除く）。

Course Plan

		Theme	Goals	
1st Semester	1st Quarter	1st	ガイダンス 情報の信頼性	シラバスにより、到達目標、評価割合、達成度基準等を理解する。 情報の信頼性の確保について説明できる。
		2nd	情報の収集と分類	ブレーンストーミング法、K-J法について説明し、実践できる。
		3rd	口頭表現	口頭表現の特徴について説明できる。
		4th	プレゼンテーション	情報を収集・選択・活用し、図表を用いたプレゼンテーションを実践できる。
		5th	プレゼンテーション	情報を収集・選択・活用し、図表を用いたプレゼンテーションを実践できる。
		6th	漢字とかな	漢字とかな等について説明できる。
		7th	漢字とかな	漢字とかな等について、チームで説明できる。
		8th	前期中間試験	学習のまとめ
	2nd Quarter	9th	答案返却 小論文	情報を収集・選択・構成し、論理的に意見を述べることができる。
		10th	小論文	情報を収集・選択・構成し、論理的に意見を述べることができる。
		11th	小論文	情報を収集・選択・構成し、論理的に意見を述べることができる。
		12th	古文	枕草子・方丈記・徒然草の背景・大意を説明できる。
		13th	古文	枕草子・方丈記・徒然草を暗唱できる。
		14th	漢文	論語の背景・大意を理解し、暗唱できる。
		15th	グループ・ディスカッション	グループ・ディスカッション技法を理解し、実践できる。
		16th	答案返却	学習のまとめ

Evaluation Method and Weight (%)

	定期試験	小テスト	ポートフォリオ	発表・取り組み姿勢	その他	Total
Subtotal	75	10	0	10	5	100
基礎的能力	75	10	0	10	5	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2020	Course Title	英語 3
Course Information					
Course Code	1113H01		Course Category	General / Compulsory	
Class Format	Lecture		Credits	School Credit: 2	
Department	Liberal Arts and Sciences		Student Grade	3rd	
Term	Year-round		Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	Fundamental Science in English I (SEIBIDO) / Hyper Listening Plus Intermediate 3rd Edition / 速読速聴・英単語 Core1900 (Z-KAI)				
Instructor	Katsufuji Kazuko, Taninaka Toshihiro, Tanigawa Naoko				

Course Objectives

1. 科学分野の基礎的な概念について書かれた英文を精読し内容を把握できるようにする。
2. 基本的な科学分野やリスニング教材で使われている重要語句を習得する。
3. 基本的な科学分野やリスニング教材で使われている文法事項を理解する。
4. リスニング力の向上を図る。ディクテーションやリスニングのテスト形式になれる。

Rubric

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	科学分野の基礎的な概念について書かれた英文を精読し内容を正確に把握できる。	科学分野の基礎的な概念について書かれた英文を精読し内容を概ね把握できる。	科学分野の基礎的な概念について書かれた英文を精読する技術がなく、内容を把握できない。
評価項目2	基本的な科学分野やリスニング教材で使われている重要語句を正確に聴き取り、習得している。	基本的な科学分野やリスニング教材で使われている重要語句をほぼ聴き取り、概ね習得している。	基本的な科学分野やリスニング教材で使われている重要語句を聴き取れず、習得できていない。
評価項目3	基本的な科学分野やリスニング教材で使われている文法事項を正確に理解できる。	基本的な科学分野やリスニング教材で使われている文法事項を概ね理解できる。	基本的な科学分野やリスニング教材で使われている文法事項について、理解できない。
評価項目4	ディクテーションやリスニングの標準テストの形式に親しみ、高い精度で問題に取り組むことができる。	ディクテーションやリスニングの標準テストの形式に親しみ、概ね戸惑うことなく問題に取り組むことができる。	ディクテーションやリスニングの標準テストの形式になれておらず、戸惑う。さらには、問題が解けない。

Assigned Department Objectives

Teaching Method

Outline	科学分野の基礎的な概念について書かれた英文を読み、語彙・文法・表現について学習します。簡単な読み物を読んだ後に、語彙や文法事項の演習を行い、理解と実践力を高めます。また、リスニング教材を用いて、標準テストの形式に慣れながら、その対策を行います。リスニング教材で用いられる語彙や文法、表現についての学習します。
Style	科学分野の基本概念について書かれた英文を精読し、読解演習を行います。授業や予復習に際しては、ワークブック・補助プリントを併用し、本文に使われた語彙や文法事項を確認し、英語の総合的運用能力の向上を目指します。自然の速度に近いリスニング演習を行い、その内容を確かめ、理解します。
Notice	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業には必ず英和辞典（電子辞書可）を持参すること。 2. 教科書の語句・語彙集の語句について適宜小テスト、課題自習プリントを課す。 3. 提出物の提出期限は厳守すること。

Course Plan

		Theme	Goals	
1st Semester	1st Quarter	1st	Orientation Fundamental Science in English Lesson1 (1)	到達目標の1から4について、読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文を学習します。
		2nd	Fundamental Science in English Lesson1 (2) Hyper Listening Plus Intermediate Lesson 1	到達目標の1から4について、読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文を学習します。
		3rd	Fundamental Science in English Lesson1 (3) Hyper Listening Plus Intermediate Lesson 2	到達目標の1から4について、読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文を学習します。
		4th	Fundamental Science in English Lesson1 (4) Hyper Listening Plus Intermediate Lesson 3	到達目標の1から4について、読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文を学習します。
		5th	Fundamental Science in English Lesson2 (1) Hyper Listening Plus Intermediate Lesson 4	到達目標の1から4について、読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文を学習します。
		6th	Fundamental Science in English Lesson2 (2) Hyper Listening Plus Intermediate Lesson 5	到達目標の1から4について、読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文を学習します。
		7th	Fundamental Science in English Lesson2 (3) Review 1	到達目標の1から4について、読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文を学習します。
		8th	Fundamental Science in English Lesson2 (4) Core 1900 第1章 1~6 Quiz1	到達目標の1から4について、読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文を学習します。
	2nd Quarter	9th	前期中間試験	
		10th	Fundamental Science in English Lesson2 (5) Hyper Listening Plus Intermediate Lesson 6	到達目標の1から4について、読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文を学習します。
		11th	Fundamental Science in English Lesson3 (1) Hyper Listening Plus Intermediate Lesson 7	到達目標の1から4について、読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文を学習します。
		12th	Fundamental Science in English Lesson3 (2) Hyper Listening Plus Intermediate Lesson 8	到達目標の1から4について、読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文を学習します。
		13th	Fundamental Science in English Lesson3 (3) Hyper Listening Plus Intermediate Lesson 9	到達目標の1から4について、読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文を学習します。
		14th	Fundamental Science in English Lesson4 (1) Hyper Listening Plus Intermediate Lesson 10	到達目標の1から4について、読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文を学習します。
		15th	Fundamental Science in English Lesson4 (2) Review 2 Core 1900 第1章 6~8, 第2章 9~12 Quiz 2	到達目標の1から4について、読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文を学習します。
		16th	前期期末試験	

2nd Semester	3rd Quarter	1st	Fundamental Science in English Lesson6 (1) Hyper Listening Plus Intermediate Lesson 11	到達目標の1から4について、読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文、リスニングを学習します。
		2nd	Fundamental Science in English Lesson6 (2) Hyper Listening Plus Intermediate Lesson 12	到達目標の1から4について、読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文、リスニングを学習します。
		3rd	Fundamental Science in English Lesson6 (3) Hyper Listening Plus Intermediate Lesson 13	到達目標の1から4について、読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文、リスニングを学習します。
		4th	Fundamental Science in English Lesson6 (4) Hyper Listening Plus Intermediate Lesson 14	到達目標の1から4について、読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文、リスニングを学習します。
		5th	Fundamental Science in English Lesson7 (1) Hyper Listening Plus Intermediate Lesson 15	到達目標の1から4について、読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文、リスニングを学習します。
		6th	Fundamental Science in English Lesson7 (2) Hyper Listening Plus Intermediate Review 3	到達目標の1から4について、読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文、リスニングを学習します。
		7th	Fundamental Science in English Lesson7 (3) Core 1900 第2章 13~16, 第3章 17~18 Quiz 3	到達目標の1から4について、読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文、リスニングを学習します。
		8th	後期中間試験	
	4th Quarter	9th	Fundamental Science in English Lesson9 (1) Hyper Listening Plus Intermediate Lesson 16	到達目標の1から4について、読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文、リスニングを学習します。
		10th	Fundamental Science in English Lesson9 (2) Hyper Listening Plus Intermediate Lesson 17	到達目標の1から4について、読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文、リスニングを学習します。
		11th	Fundamental Science in English Lesson9 (3) Hyper Listening Plus Intermediate Lesson 18	到達目標の1から4について、読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文、リスニングを学習します。
		12th	Fundamental Science in English Lesson10 (1) Hyper Listening Plus Intermediate Lesson 19	到達目標の1から4について、読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文、リスニングを学習します。
		13th	Fundamental Science in English Lesson10 (2) Hyper Listening Plus Intermediate Lesson 20	到達目標の1から4について、読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文、リスニングを学習します。
		14th	Fundamental Science in English Lesson10 (3) Hyper Listening Plus Intermediate Review 4	到達目標の1から4について、読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文、リスニングを学習します。
		15th	Fundamental Science in English Lesson10 (4) Core 1900 第3章 19~24 Quiz 4	到達目標の1から4について、読解演習、構文・表現演習、速読演習、英作文、リスニングを学習します。
		16th	学年末試験	

Evaluation Method and Weight (%)

	試験	発表	相互評価	ポートフォリオ	小テスト	態度	Total
Subtotal	60	0	0	10	30	0	100
基礎的能力	60	0	0	10	30	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2020	Course Title	英作文
Course Information					
Course Code	1113H31		Course Category	General / Compulsory	
Class Format	Lecture		Credits	School Credit: 2	
Department	Liberal Arts and Sciences		Student Grade	3rd	
Term	Year-round		Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	New Favorite English Expression I (東京書籍)、同準拠Workbook Task-based、英語構文(数研出版)				
Instructor	Ogasawara Maiko, Yamada Maho				
Course Objectives					
英語でのコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。様々なテーマに関する情報や自分の意見を英語で表現、発表できること。基本的な文法事項や構文を学びながら、それを応用して英作できるようになることを具体的な目標とする。					
Rubric					
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限の到達レベル	
到達目標1		教科書のテーマに関する内容を十分理解し、自身を持って積極的に発表できる。	教科書の内容を理解し、発表を実践できる。	教科書の内容が十分理解できず、発表を実践することが困難である。	
到達目標2		構文を理解し、それらを活用することができ、自分の考えを英語で表現できる。	構文を理解し、指導者のサポートによりそれを活用できる。英語で自己表現しようとする姿勢がある。	構文が十分理解できず、応用が困難であり、まとまった考えを英語で表現できない。	
到達目標3		テーマに沿った100語程度の作文ができ、それを正しい発音やイントネーションで発表できる。	テーマに沿った100語程度の作文ができ、それを口頭で発表できる。	テーマの内容を作文や口頭発表で十分に表現できない。	
Assigned Department Objectives					
Teaching Method					
Outline	ライティング活動では、基本的な文法事項や構文を学び、それを使えるようなスキルを身につける。また、様々なテーマを扱った文章に触れ、それに関して自分の意見を表現できるライティング力を養う。前期では100ワード程度の作文を書き、それを口頭発表する。後期は、同じく100ワード程度の作文を書き、写真や図などの資料を用いて口頭発表(ポスタープレゼンテーション)をする。				
Style	テキストとワークブックを中心に各レッスンのテーマについて積極的に英文が書けるよう指導する。 【授業時間60時間】				
Notice	授業には必ず辞書を携行し、積極的に活用すること。ワークブック及びプリントによる課題提出が定期的に求められる。前期後期ともに口頭発表を実施するので、授業では普段から正しい発音、イントネーションで英語を話すことを心がける。				
Course Plan					
			Theme	Goals	
1st Semester	1st Quarter	1st	Bridge, Lesson 1,2	基礎的な文構造、文法事項を学び、トピックに応じて実際にそれらを使うことができる。	
		2nd	Lesson 3、構文Unit 1	同上	
		3rd	Lesson 4	同上	
		4th	Do you remember?1 / 構文Unit 11	同上	
		5th	Lesson 5	同上	
		6th	Lesson 6	同上	
		7th	作文指導 / 構文Unit 12	100語程度の作文が書ける	
		8th	前期中間試験		
	2nd Quarter	9th	Lesson7/構文Unit 2	基礎的な文構造、文法事項を学び、テーマに応じて実際にそれらを使うことができる。	
		10th	Lesson8	同上	
		11th	口頭発表	同上 1分以上の口頭発表ができる	
		12th	Lesson 9	同上	
		13th	Lesson 10 /構文Unit 3	同上	
		14th	Lesson 11/ 構文Unit 4	同上	
		15th	前期期末試験		
		16th			
2nd Semester	3rd Quarter	1st	Lesson12 /構文Unit 5	目的に応じた文章の書き方について学び、実際に書くことができる。	
		2nd	Lesson13	同上	
		3rd	Lesson14 /構文Unit 7	同上	
		4th	Lesson15	同上	
		5th	Lesson16	同上	
		6th	Do you remember?4 /構文Unit 13		
		7th	作文指導 /構文Unit 14	100語程度の作文が書ける	
		8th	後期中間試験		
	4th Quarter	9th	Lesson17 /構文Unit 6	情報や考え気持などを英語で豊かに表現できる。	
		10th	Lesson18	同上	
		11th	Lesson 19 /構文Unit 8	同上	

Anan College		Year	2020	Course Title	日本史
Course Information					
Course Code	1113I21		Course Category	General / Compulsory	
Class Format	Lecture		Credits	School Credit: 2	
Department	Liberal Arts and Sciences		Student Grade	3rd	
Term	Year-round		Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	高校日本史B (山川出版社) / 写真資料集：日本史のアーカイブ (とうほう)				
Instructor					
Course Objectives					
1. 古代から現代にいたる我が国の歴史について基礎的知識を身につけて説明できる。 2. 過去のいろいろな出来事に関する歴史資料を理解し、時間の流れに即して因果関係を説明できる。 3. 世界的視野に立って我が国の歴史の展開を考察することで、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を身に付けられる。					
Rubric					
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限の到達レベル (可)	
到達目標1		古代から現代に至る我が国の歴史の基礎的知識について、詳細に説明できる。	古代から現代に至る我が国の歴史の基礎的知識について、その概要を説明できる。	古代から現代に至る我が国の歴史の基礎的知識について、一定程度の説明ができる。	
到達目標2		日本の歴史上の出来事について、関連する資料を用いて詳細に説明できる。	日本の歴史上の出来事について、関連する資料を用いて概要を説明できる。	日本の歴史上の出来事について、関連する資料を用いて主要な点を説明できる。	
到達目標3		国際社会に生きる日本人としての自覚について、歴史の展開に即して詳細に説明できる。	国際社会に生きる日本人としての自覚について、歴史の展開に即して説明できる。	国際社会に生きる日本人としての自覚について、歴史を考慮しながら説明できる。	
Assigned Department Objectives					
Teaching Method					
Outline	日本史を学ぶことによって、わが国の伝統や文化を理解し、国際社会に生きる日本人としての資質を養う。				
Style	講義形式の授業で、日本の諸地域における歴史の流れについて、教科書を用いて考察する。また、日本文化の特色・人々の生活・都市の形成・地域同士の交流などに着目し、歴史資料を通して理解を深める。				
Notice	教科書に加えて、通常授業では歴史資料集や学習プリント等を使用する。また、ノート提出も予定しているので、「講義をしっかりと聴き、ノートをしっかりとること」を心がけてほしい。 参考書：争点 日本の歴史 (1～6) (新人物往来社)				
Course Plan					
			Theme	Goals	
1st Semester	1st Quarter	1st	原始・古代	古代社会の形成や律令国家の形成、貴族政治の展開について理解し説明できる。(旧石器時代～平安中期)	
		2nd	原始・古代	古代社会の形成や律令国家の形成、貴族政治の展開について理解し説明できる。(旧石器時代～平安中期)	
		3rd	原始・古代	古代社会の形成や律令国家の形成、貴族政治の展開について理解し説明できる。(旧石器時代～平安中期)	
		4th	原始・古代	古代社会の形成や律令国家の形成、貴族政治の展開について理解し説明できる。(旧石器時代～平安中期)	
		5th	原始・古代	古代社会の形成や律令国家の形成、貴族政治の展開について理解し説明できる。(旧石器時代～平安中期)	
		6th	中世	武家社会の形成や成長の様相について理解し説明できる。(平安後期～室町)	
		7th	中世	武家社会の形成や成長の様相について理解し説明できる。(平安後期～室町)	
		8th	中間試験		
	2nd Quarter	9th	中世	武家社会の形成や成長の様相について理解し説明できる。(平安後期～室町)	
		10th	中世	武家社会の形成や成長の様相について理解し説明できる。(平安後期～室町)	
		11th	中世	武家社会の形成や成長の様相について理解し説明できる。(平安後期～室町)	
		12th	近世 (1)	幕藩体制の成立の様相について理解し説明できる。(安土・桃山～江戸初期)	
		13th	近世 (1)	幕藩体制の成立の様相について理解し説明できる。(安土・桃山～江戸初期)	
		14th	近世 (1)	幕藩体制の成立の様相について理解し説明できる。(安土・桃山～江戸初期)	
		15th	近世 (1)	幕藩体制の成立の様相について理解し説明できる。(安土・桃山～江戸初期)	
		16th	期末試験・答案返却時間		
2nd Semester	3rd Quarter	1st	近世 (2)	幕藩体制の展開や動揺の様相について理解し説明できる。(江戸中期～後期)	
		2nd	近世 (2)	幕藩体制の展開や動揺の様相について理解し説明できる。(江戸中期～後期)	
		3rd	近世 (2)	幕藩体制の展開や動揺の様相について理解し説明できる。(江戸中期～後期)	
		4th	近代 (1)	近代国家の成立の様相について理解し説明できる。(幕末～明治)	

4th Quarter	5th	近代 (1)	近代国家の成立の様相について理解し説明できる。 (幕末～明治)
	6th	近代 (1)	近代国家の成立の様相について理解し説明できる。 (幕末～明治)
	7th	近代 (1)	近代国家の成立の様相について理解し説明できる。 (幕末～明治)
	8th	中間試験	
	9th	近代 (2)	近代日本とアジアの関係について理解し説明できる。 (大正～戦前昭和)
	10th	近代 (2)	近代日本とアジアの関係について理解し説明できる。 (大正～戦前昭和)
	11th	近代 (2)	近代日本とアジアの関係について理解し説明できる。 (大正～戦前昭和)
	12th	現代	現代の世界と日本との関わりについて説明できる。 (戦後昭和～平成)
	13th	現代	現代の世界と日本との関わりについて説明できる。 (戦後昭和～平成)
	14th	現代	現代の世界と日本との関わりについて説明できる。 (戦後昭和～平成)
	15th	現代	現代の世界と日本との関わりについて説明できる。 (戦後昭和～平成)
	16th	期末試験・答案返却時間	

Evaluation Method and Weight (%)

	定期試験	小テスト	ポートフォリオ	発表・取り組み姿勢	その他	Total
Subtotal	80	0	20	0	0	100
基礎的能力	80	0	20	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2020	Course Title	地理
Course Information					
Course Code	1113I41		Course Category	General / Compulsory	
Class Format	Lecture		Credits	School Credit: 2	
Department	Liberal Arts and Sciences		Student Grade	3rd	
Term	Year-round		Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	新詳地理(帝国書院)/新詳高等地図(帝国書院)				
Instructor	Miyamoto Kakuwa				
Course Objectives					
<p>1. 自然環境、資源、産業、都市・村落、生活文化に関する地域性について系統地理的に理解できる。</p> <p>2. 現代世界を構成する各地域を地誌的に考察し、多様な特色を持っていることを理解できる。</p> <p>3. 地理的に考察する意義や有用性に気づき、地理的な見方や考え方を身につけられる。</p>					
Rubric					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		最低限の到達レベル(可)
到達目標1	自然環境と人間生活のかかわりと地域性について、地理的事象から課題を設定し、追究できる。		自然環境と人間生活のかかわりと地域性を系統地理的に理解し、それらの知識を身につけて説明できる。		自然環境と人間生活について、個別の事象のみ説明できる。
到達目標2	現代社会の各地域に関する資料や情報を地誌的に追究する技能を身につけ、まとめることができる。		現代社会の各地域について、多様な特色があることを理解し、それらの知識を身につけて説明できる。		現代社会の各地域について、特定の国・項目についてのみ説明できる。
到達目標3	現代世界の多様性や地域性をとらえる視点や方法を考察し、系統地理・地誌の両面から説明できる。		地理的に考察する意義と有用性に気づき、現代世界と日本を概観し、地理的事象について説明できる。		地図を見て、現代社会の各地域の位置と地形のみ説明できる。
Assigned Department Objectives					
Teaching Method					
Outline	現代世界の地理的事象を系統地理的、地誌的に考察する。				
Style	講義形式での授業をつつして、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。				
Notice	都道府県名や主要国名、首都名などは地理学習の基本です。地図帳を開く習慣を身につけてください。				
Course Plan					
			Theme	Goals	
1st Semester	1st Quarter	1st	地理情報と地図、地図の活用	地図でとらえる現代世界について、地図化のメリットや地図化がわかることを考察し、地図化の技能を習得している。	
		2nd	自然環境	地形および気候の特徴と人間生活への影響の多様性や地域性を大観し、それらの知識を身につけている。	
		3rd	自然環境	地形および気候の特徴と人間生活への影響の多様性や地域性を大観し、それらの知識を身につけている。	
		4th	自然環境	地形および気候の特徴と人間生活への影響の多様性や地域性を大観し、それらの知識を身につけている。	
		5th	自然環境	地形および気候の特徴と人間生活への影響の多様性や地域性を大観し、それらの知識を身につけている。	
		6th	自然環境	地形および気候の特徴と人間生活への影響の多様性や地域性を大観し、それらの知識を身につけている。	
		7th	自然環境	地形および気候の特徴と人間生活への影響の多様性や地域性を大観し、それらの知識を身につけている。	
		8th	中間試験		
	2nd Quarter	9th	資源と産業	産業の発達と変化について、自然環境とのかかわりやグローバル化の視点から考察できる。	
		10th	資源と産業	産業の発達と変化について、自然環境とのかかわりやグローバル化の視点から考察できる。	
		11th	資源と産業	産業の発達と変化について、自然環境とのかかわりやグローバル化の視点から考察できる。	
		12th	資源と産業	産業の発達と変化について、自然環境とのかかわりやグローバル化の視点から考察できる。	
		13th	資源と産業	産業の発達と変化について、自然環境とのかかわりやグローバル化の視点から考察できる。	
		14th	資源と産業	産業の発達と変化について、自然環境とのかかわりやグローバル化の視点から考察できる。	
		15th	資源と産業	産業の発達と変化について、自然環境とのかかわりやグローバル化の視点から考察できる。	
		16th	期末試験・答案返却時間		
2nd Semester	3rd Quarter	1st	人口、村落・都市	村落・都市の立地や発達・機能に関する資料や情報を系統地理的に追究する技能を身につけている。	
		2nd	人口、村落・都市	村落・都市の立地や発達・機能に関する資料や情報を系統地理的に追究する技能を身につけている。	
		3rd	人口、村落・都市	村落・都市の立地や発達・機能に関する資料や情報を系統地理的に追究する技能を身につけている。	

4th Quarter	4th	生活文化、民族・宗教	衣食住の差異と社会のかかわりについて感心を高め、それらの多様性や地域性をとらえる視点や方法を身につけている。
	5th	生活文化、民族・宗教	衣食住の差異と社会のかかわりについて感心を高め、それらの多様性や地域性をとらえる視点や方法を身につけている。
	6th	生活文化、民族・宗教	衣食住の差異と社会のかかわりについて感心を高め、それらの多様性や地域性をとらえる視点や方法を身につけている。
	7th	生活文化、民族・宗教	衣食住の差異と社会のかかわりについて感心を高め、それらの多様性や地域性をとらえる視点や方法を身につけている。
	8th	中間試験	
	9th	現代世界の諸地域	世界の諸地域よ多様性について地誌的に理解するとともに、地誌的にとらえる視点や方法を理解し、それらの知識を身につけている。
	10th	現代世界の諸地域	世界の諸地域よ多様性について地誌的に理解するとともに、地誌的にとらえる視点や方法を理解し、それらの知識を身につけている。
	11th	現代世界の諸地域	世界の諸地域よ多様性について地誌的に理解するとともに、地誌的にとらえる視点や方法を理解し、それらの知識を身につけている。
	12th	現代世界の諸地域	世界の諸地域よ多様性について地誌的に理解するとともに、地誌的にとらえる視点や方法を理解し、それらの知識を身につけている。
	13th	現代世界の諸地域	世界の諸地域よ多様性について地誌的に理解するとともに、地誌的にとらえる視点や方法を理解し、それらの知識を身につけている。
	14th	現代世界と日本	日本が抱える地理的な諸課題を認識し、解決の方向性を考察できる。
	15th	現代世界と日本	日本が抱える地理的な諸課題を認識し、解決の方向性を考察できる。
	16th	期末試験・答案返却時間	

Evaluation Method and Weight (%)

	定期試験	小テスト	ポートフォリオ	発表・取り組み姿勢	その他	Total
Subtotal	80	0	20	0	0	100
基礎的能力	80	0	20	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0

Anan College	Year	2020	Course Title	英語総合 1
--------------	------	------	--------------	--------

Course Information

Course Code	1114H41	Course Category	General / Compulsory
Class Format	Lecture	Credits	Academic Credit: 2
Department	Liberal Arts and Sciences	Student Grade	4th
Term	Second Semester	Classes per Week	2
Textbook and/or Teaching Materials	Earth Watch (センゲージラーニング)		
Instructor	Katsufuji Kazuko, Fujii Hiromi		

Course Objectives

1. 社会的・科学的な話題のドキュメンタリー動画を視聴して、その内容を理解して簡単な質問に答えられる。
2. 動画のスク립トを読解し、その内容を理解して簡単な質問に答えられる。
3. 各ユニットで与えられたテーマについて、簡単な英語で自分の意見を表明することができる。

Rubric

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
到達目標1	社会的・科学的な話題のドキュメンタリー動画を視聴して、内容についての質問に英文でも答えられる。	社会的・科学的な話題のドキュメンタリー動画を視聴して、内容についての質問に、選択肢や日本語、単語レベルの英語で答えられる。	社会的・科学的な話題のドキュメンタリー動画を視聴して、内容についての質問に、選択肢や日本語、単語レベルの英語でも答えられない。
到達目標2	教材の番組のスク립トを読んで、内容についての質問に英文で答えられる。	教材の番組のスク립トを読んで、質問に対して選択肢や日本語、単語レベルの英語で答えられる。	教材の番組のスク립トを読んで、質問に対して選択肢や日本語、単語レベルの英語でも答えられない。
到達目標3	学習した重要語句や重要文法事項を使い、十分情報を補足しながら自分の意見を表明する英作文ができる。	学習した重要語句や重要文法事項を使い、1~2文で自分の意見を表明する英作文ができる。	学習した重要語句や重要文法事項を使って英文の形で自分の意見を表明することが全くできない。

Assigned Department Objectives

Teaching Method

Outline	社会的、または科学的な話題を取り扱った英語視聴覚教材の音声・映像とそのスク립トを通して社会現象や科学技術の基本用語を含む英文の聴解力・読解力を高める。また登場した語彙や文法の重要事項を習得し、その知識を和文英訳や自分の意見を表明する簡単な英作文に応用できるようにする。
Style	予習では、My Opinion, Vocabulary Refreshに取り組み、その週で扱うテーマについて。授業では、Key Word Study, Listening Practice, Listening Practice 2 をDVDを視聴しながら解答と解説を行う。教員がその日の Lesson の II. Reading の重要語句、構文を、スライドを視聴しながら説明する。復習では、授業で取り扱った Lesson の II. Reading について、Vocabulary Check, Comprehension Questions, Grammar Check に取り組む。 【授業時間30時間+自学自習時間60時間】
Notice	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業には英和辞書（電子辞書可）を持参すること。 2. オリエンテーション時に説明する方法で、自学自習として予習復習を十分行うこと。 3. 教材のDVDを自分でも視聴できる環境を整えておくこと。 4. ポートフォリオは、課題の取り組み状況（内容）を評価する。

Course Plan

		Theme	Goals	
2nd Semester	3rd Quarter	1st	オリエンテーション Unit 1	学習方法についての理解
		2nd	Unit 1	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会的・科学的な話題のドキュメンタリー動画を視聴して、その内容を理解して簡単な質問に答えられる。 2. 動画のスク립トを読解し、その内容を理解して簡単な質問に答えられる。 3. 各ユニットで与えられたテーマについて、簡単な英語で自分の意見を表明することができる。
		3rd	Unit 2	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会的・科学的な話題のドキュメンタリー動画を視聴して、その内容を理解して簡単な質問に答えられる。 2. 動画のスク립トを読解し、その内容を理解して簡単な質問に答えられる。 3. 各ユニットで与えられたテーマについて、簡単な英語で自分の意見を表明することができる。
		4th	Unit 3	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会的・科学的な話題のドキュメンタリー動画を視聴して、その内容を理解して簡単な質問に答えられる。 2. 動画のスク립トを読解し、その内容を理解して簡単な質問に答えられる。 3. 各ユニットで与えられたテーマについて、簡単な英語で自分の意見を表明することができる。
		5th	Unit 4	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会的・科学的な話題のドキュメンタリー動画を視聴して、その内容を理解して簡単な質問に答えられる。 2. 動画のスク립トを読解し、その内容を理解して簡単な質問に答えられる。 3. 各ユニットで与えられたテーマについて、簡単な英語で自分の意見を表明することができる。

4th Quarter	6th	Unit 5	<p>1. 社会的・科学的な話題のドキュメンタリー動画を視聴して、その内容を理解して簡単な質問に答えられる。</p> <p>2. 動画のスク립トを読解し、その内容を理解して簡単な質問に答えられる。</p> <p>3. 各ユニットで与えられたテーマについて、簡単な英語で自分の意見を表明することができる。</p>
	7th	Unit 6	<p>1. 社会的・科学的な話題のドキュメンタリー動画を視聴して、その内容を理解して簡単な質問に答えられる。</p> <p>2. 動画のスク립トを読解し、その内容を理解して簡単な質問に答えられる。</p> <p>3. 各ユニットで与えられたテーマについて、簡単な英語で自分の意見を表明することができる。</p>
	8th	Unit 7	<p>1. 社会的・科学的な話題のドキュメンタリー動画を視聴して、その内容を理解して簡単な質問に答えられる。</p> <p>2. 動画のスク립トを読解し、その内容を理解して簡単な質問に答えられる。</p> <p>3. 各ユニットで与えられたテーマについて、簡単な英語で自分の意見を表明することができる。</p>
	9th	【後期中間試験】	
	10th	Unit 8	<p>1. 社会的・科学的な話題のドキュメンタリー動画を視聴して、その内容を理解して簡単な質問に答えられる。</p> <p>2. 動画のスク립トを読解し、その内容を理解して簡単な質問に答えられる。</p> <p>3. 各ユニットで与えられたテーマについて、簡単な英語で自分の意見を表明することができる。</p>
	11th	Unit 9	<p>1. 社会的・科学的な話題のドキュメンタリー動画を視聴して、その内容を理解して簡単な質問に答えられる。</p> <p>2. 動画のスク립トを読解し、その内容を理解して簡単な質問に答えられる。</p> <p>3. 各ユニットで与えられたテーマについて、簡単な英語で自分の意見を表明することができる。</p>
	12th	Unit 10	<p>1. 社会的・科学的な話題のドキュメンタリー動画を視聴して、その内容を理解して簡単な質問に答えられる。</p> <p>2. 動画のスク립トを読解し、その内容を理解して簡単な質問に答えられる。</p> <p>3. 各ユニットで与えられたテーマについて、簡単な英語で自分の意見を表明することができる。</p>
	13th	Unit 11	<p>1. 社会的・科学的な話題のドキュメンタリー動画を視聴して、その内容を理解して簡単な質問に答えられる。</p> <p>2. 動画のスク립トを読解し、その内容を理解して簡単な質問に答えられる。</p> <p>3. 各ユニットで与えられたテーマについて、簡単な英語で自分の意見を表明することができる。</p>
	14th	Unit 12	<p>1. 社会的・科学的な話題のドキュメンタリー動画を視聴して、その内容を理解して簡単な質問に答えられる。</p> <p>2. 動画のスク립トを読解し、その内容を理解して簡単な質問に答えられる。</p> <p>3. 各ユニットで与えられたテーマについて、簡単な英語で自分の意見を表明することができる。</p>
15th	Unit 13	<p>1. 社会的・科学的な話題のドキュメンタリー動画を視聴して、その内容を理解して簡単な質問に答えられる。</p> <p>2. 動画のスク립トを読解し、その内容を理解して簡単な質問に答えられる。</p> <p>3. 各ユニットで与えられたテーマについて、簡単な英語で自分の意見を表明することができる。</p>	
16th	【学年末試験】		

Evaluation Method and Weight (%)

	試験	ポートフォリオ	Total
Subtotal	60	40	100
基礎的能力	60	40	100
専門的能力	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0

Anan College		Year	2020	Course Title	体育	
Course Information						
Course Code	1194101	Course Category	General / Elective			
Class Format	Lecture	Credits	School Credit: 1			
Department	Liberal Arts and Sciences	Student Grade	4th			
Term	Second Semester	Classes per Week	2			
Textbook and/or Teaching Materials	なし/なし					
Instructor	Arai Osamu, Nakashima Hajime					
Course Objectives						
1.互いに協力し合い、主体的に練習やゲームの方法を工夫して運動を実践できる。 2.自己の能力に応じて、運動の技能や体力を身につけることができる。 3.安全に留意して運動や活動ができる。						
Rubric						
	理想的な到達レベル(優)	標準的な到達レベル(良)	最低限の到達レベル(可)			
到達目標1	自己及び、仲間の取るべき行動を適切に判断し、主体的に練習やゲームを工夫し、活動を円滑に実践できる。	自己の取るべき行動を判断し、他人と互いに協力しながら練習やゲームを工夫し、活動に参加できる。	練習やゲームに参加することができる。			
到達目標2	自己の能力を理解し、適切なプログラムを作成して運動の技能や体力を身につけることができる。	教員が指示したプログラムに従い、運動の技能や体力を身につけることができる。	教員の指示したプログラムに従い、運動の技能や体力を身につける取り組みができる。			
到達目標3	活動中、自己のみならず仲間も安全に留意し、必要に応じて危険を回避する行動を取ることができる。	活動中、自己の安全に留意し、必要に応じて危険を回避する行動を取ることができる。	教員の指示により、安全に留意することができる。			
Assigned Department Objectives						
Teaching Method						
Outline	運動を行うことにより、運動することの楽しさや喜びの実感、運動に必要な技能の習得及び体力の向上を図る。あわせて自ら意欲的に運動に取り組む姿勢や、生涯にわたって運動に親しむ態度を育てる。特に本授業では、生涯スポーツの観点から、自己の能力や興味関心に応じて種目を選択させ、運動を安全かつ楽しみながら実践できるよう、工夫・協力しながら学習することに重点を置く。					
Style	第1週目に種目を選択・決定し、半期を通じて該当種目を実施する。準備や運営を自主的に行うことで、生涯スポーツの基礎を身につける。 授業時間 3 0 時間					
Notice	普段から健康管理を心がけ、風邪などにより授業を見学・欠席することの無いよう気をつけてください。 学校指定の体操服で活動してください。 天候等、やむを得ない事情により、実施種目は変更されることがあります。 前期の体育大会は授業時数に含まれますので、欠席しないようにして下さい。					
Course Plan						
			Theme	Goals		
2nd Semester	3rd Quarter	1st	種目選択と実践	(1)各種目のルールを理解し説明できる。		
		2nd	種目選択と実践	(2)各種目の基本的な個人技能を習得する。		
		3rd	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		4th	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		5th	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		6th	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		7th	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		8th	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
	4th Quarter	9th	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		10th	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		11th	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		12th	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		13th	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		14th	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		15th	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		16th				
Evaluation Method and Weight (%)						
	定期試験	小テスト	ポートフォリオ	発表・取り組み姿勢	その他	Total
Subtotal	0	0	0	0	100	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	100	100

Anan College		Year	2020	Course Title	英語の語彙・文法
Course Information					
Course Code	1194201		Course Category	General / Elective	
Class Format	Lecture		Credits	School Credit: 2	
Department	Liberal Arts and Sciences		Student Grade	4th	
Term	Year-round		Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	前期SUCCESSFUL STEPS FOR THE TOEIC L&R TEST (成美堂) 後期 ESSENTIAL APPROACH FOR THE TOEIC L&R TEST (成美堂) 通年: TOEIC TEST必ず出る単スピードマスター (Jリサーチ出版)				
Instructor	Fujii Hiromi				
Course Objectives					
1. TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応することができる。 2. 授業で扱った、TOEICに頻出する語彙・表現を理解し、運用できるようになる。 3. 授業で扱った、TOEICに頻出する文法事項や構文を理解し、運用できるようになる。 4. TOEICテストにおいて、350～500点以上を獲得する。					
Rubric					
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
到達目標1		TOEICの出題傾向、出題形式を把握し、解答時間も考慮しながら適切な対応ができる。	TOEICの出題傾向を把握し、各パートの問題形式に対応できる。	TOEICの出題傾向を把握しておらず、各パートの問題形式に対応できない。	
到達目標2		授業で扱った、TOEICに頻出する語彙・表現の90%以上を暗記し、正しく運用できる。	授業で扱った、TOEICに頻出する語彙・表現の60%程度を暗記し、ほぼ正しく運用できる。	授業で扱った、TOEICに頻出する語彙・表現の暗記が60%未満で運用力が低い。	
到達目標3		授業で扱った、TOEICに頻出する文法事項や構文を90%以上理解し、正しく運用できる。	授業で扱った、TOEICに頻出する文法事項や構文を60%程度理解し、ほぼ正しく運用できる。	授業で扱った、TOEICに頻出する文法事項や構文の理解が60%未満で運用力が低い。	
到達目標4		TOEICテストにおいて、500点以上を獲得した。	TOEICテストにおいて、400点以上を獲得した。	TOEICスコアが300点以下である。	
Assigned Department Objectives					
Teaching Method					
Outline	TOEIC L&R の実践形式の問題演習を通して語彙力、文法力、聴解力、読解力を総合的に向上させ、500点のTOEICスコア達成を目指す。また、単語・熟語集を用いて、単語や熟語を暗記し、適切に運用できるようになる。				
Style	TOEIC対策用のテキストを使った演習形式の授業である。毎回の授業に加えて、自習課題でTOEIC受験に備える。 【授業時間60時間】				
Notice	正当な理由のない欠席については、単語テストの追試は実施しない。				
Course Plan					
			Theme	Goals	
1st Semester	1st Quarter	1st	オリエンテーション Unit 1	授業の目的、到達目標、学習方法を理解する。各ユニットの問題演習を通して、TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。	
		2nd	Unit 2	各ユニットの問題演習を通して、TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。	
		3rd	Unit 3	各ユニットの問題演習を通して、TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。	
		4th	Unit 4	各ユニットの問題演習を通して、TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。	
		5th	Unit 5	各ユニットの問題演習を通して、TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。	
		6th	Unit 6 単語テスト (スピードマスター-DAY 1 ~ DAY 5)	各ユニットの問題演習を通して、TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。	
		7th	Unit 7	各ユニットの問題演習を通して、TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。	
		8th	中間テスト	各ユニットの問題演習を通して、TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。	
	2nd Quarter	9th	Unit 8	各ユニットの問題演習を通して、TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。	
		10th	Unit 9	各ユニットの問題演習を通して、TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。	
		11th	Unit 10	各ユニットの問題演習を通して、TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。	
		12th	Unit 11	各ユニットの問題演習を通して、TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。	

2nd Semester	3rd Quarter	13th	Unit 12	各ユニットの問題演習を通して、OEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。
		14th	Unit 13 単語テスト (スピードマスターDAY 6 ~ DAY 10)	各ユニットの問題演習を通して、TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。
		15th	Unit 14	各ユニットの問題演習を通して、TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。
		16th	テスト返却	
	4th Quarter	1st	オリエンテーション Unit 1	教科書の使い方説明、後期の目標設定
		2nd	Unit 2	各ユニットの問題演習を通して、TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。
		3rd	Unit 3	各ユニットの問題演習を通して、TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。
		4th	Unit 4	各ユニットの問題演習を通して、TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。
		5th	Unit 5	各ユニットの問題演習を通して、TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。
		6th	Unit 6	各ユニットの問題演習を通して、TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。
		7th	Unit 7	各ユニットの問題演習を通して、TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。
		8th	Unit 8	各ユニットの問題演習を通して、TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。
	4th Quarter	9th	後期中間試験	
		10th	Unit 9	各ユニットの問題演習を通して、TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。
		11th	Unit 10	各ユニットの問題演習を通して、TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。
		12th	Unit 11	各ユニットの問題演習を通して、TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。
13th		Unit 12	各ユニットの問題演習を通して、TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。	
14th		Unit 13	各ユニットの問題演習を通して、TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。	
15th		Unit 14	各ユニットの問題演習を通して、TOEICの出題傾向を把握し、出題形式に慣れ、各パートの問題形式に対応できるようになる。	
16th		答案返却		

Evaluation Method and Weight (%)

	中間・定期試験	小テスト	ポートフォリオ	Total
Subtotal	50	20	30	100
基礎的能力	50	20	30	100
専門的能力	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0

Anan College		Year	2020	Course Title	応用化学
Course Information					
Course Code	1194401		Course Category	General / Elective	
Class Format	Lecture		Credits	School Credit: 1	
Department	Liberal Arts and Sciences		Student Grade	4th	
Term	Intensive		Classes per Week		
Textbook and/or Teaching Materials					
Instructor	Matsuo Toshihiro, Yamada Yohei, Sonoda Akihiko				
Course Objectives					
<p>化学熱力学：熱力学と統計力学の初歩を学び、とくに化学で重要になる自由エネルギーの扱いに習熟する。 量子化学：量子化学の基礎であるシュレーディンガー方程式について学び、エネルギー固有値を求められることを目標とする。 機器分析：講義で取り扱う分析機器の装置構成や原理について、記述・説明できることを目標とする。</p>					
Rubric					
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安(可)	
化学熱力学		種々の自由エネルギーがどのように定義されるかを理解し、数式を用いて公式を説明できる。具体的な問題に対してこれらを用いた計算ができる。	ヘルムホルツ自由エネルギーとギブス自由エネルギーの定義を理解し、それらの違いについて説明できる。自由エネルギーの公式を用いて計算ができる。	ヘルムホルツ自由エネルギーとギブス自由エネルギーの定義を説明できる。	
量子化学		量子化の意味を理解し、さまざまなポテンシャルエネルギーでのエネルギー固有値と波動関数を求めることができる。	井戸型ポテンシャルのシュレーディンガー方程式の解を求めることができる。	1次元の箱の中の自由粒子シュレーディンガー方程式の解を求めることができる。	
機器分析		講義で扱った分析機器の原理と構造、得られる応答について詳細な記述・説明をすることができる。	講義で扱った分析機器の原理と構造、得られる応答について簡単に説明することができる。	講義で扱った分析機器のうちいくつかの装置について、その原理と構造について説明することができる。	
Assigned Department Objectives					
Teaching Method					
Outline	広く化学一般の基礎から応用にかけて、担当各教員の専門と興味に基づき講義する。				
Style	授業は3つのテーマについて5回ずつ行われる。各テーマごとにテストを行う。 【授業時間30時間】				
Notice	本講義は集中講義であるが、開講時期は担当教員により異なるので十分に注意すること。				
Course Plan					
			Theme	Goals	
1st Semester	1st Quarter	1st	熱平衡状態	少数の変数で平衡状態が記述されることとそれらの間に成り立つ法則を学ぶ。	
		2nd	等温変化と断熱変化	等温変化と断熱変化で成り立つ法則について理解する。また、熱力学関数としてのエントロピーの扱いに習熟する。	
		3rd	ヘルムホルツの自由エネルギー	等温変化の際の最大仕事としてヘルムホルツ自由エネルギーが定義されることを理解し、いくつかの問題に適用する。	
		4th	ギブス自由エネルギー	ギブス自由エネルギーを定義し、その特性を説明できる。自由エネルギーを用いて具体的な問題を解くことができる。	
		5th	確認テスト		
		6th	古典物理学の破たん	古典物理学では説明できない物理現象を学習し、量子化学の必要性について理解する。	
		7th	古典的波動方程式	古典的波動方程式を復習し、シュレーディンガー方程式の導入を行う。	
		8th	シュレーディンガー方程式	シュレーディンガー方程式から解を求めて、粒子の波動関数とエネルギー固有値を求める。	
	2nd Quarter	9th	シュレーディンガー方程式	シュレーディンガー方程式から解を求めて、粒子の波動関数とエネルギー固有値を求める。	
		10th	確認テスト		
		11th	機器分析の概要	現在の科学技術と機器分析の関係について説明することができる。電磁波と物質の相互作用について説明することができる。	
		12th	吸光光度法と蛍光光度法	紫外・可視分光光度計および分光蛍光光度計の原理とその概要を説明することができる。また、それらのスペクトルをみて情報を読み取ることができる。	
		13th	原子吸光分析法と原子発光分析法	原子吸光光度計および誘導結合プラズマ発光分析計の原理とその概要を説明することができる。	
		14th	誘導結合プラズマ質量分析計と顕微鏡（光学顕微鏡、電子顕微鏡、走査プローブ顕微鏡）	誘導結合プラズマ質量分析計の原理とその概要を説明することができる。顕微鏡（光学顕微鏡、電子顕微鏡、走査プローブ顕微鏡）の概要を知る。	
		15th	確認テスト		
		16th			

2nd Semester	3rd Quarter	1st		
		2nd		
		3rd		
		4th		
		5th		
		6th		
		7th		
		8th		
	4th Quarter	9th		
		10th		
		11th		
		12th		
		13th		
		14th		
		15th		
		16th		

Evaluation Method and Weight (%)

	試験	ポートフォリオ	Total
Subtotal	60	40	100
基礎的能力	30	20	50
専門的能力	30	20	50
分野横断的能力	0	0	0

Anan College		Year	2020	Course Title	哲学
Course Information					
Course Code	1194601		Course Category	General / Elective	
Class Format	Lecture		Credits	School Credit: 2	
Department	Liberal Arts and Sciences		Student Grade	4th	
Term	Year-round		Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	【教科書】使用しません。適宜、プリント資料を配付します。 【参考書】高等学校 改訂版 倫理（第一学習社）				
Instructor	Fujii Taketo				
Course Objectives					
1. 哲学上の諸問題に関する基礎的な知識について説明できる。 2. 議論用資料作成を通して、自分の主張を明確に文章にまとめることができる。 3. 議論を通して、周囲の意見を認めることができる。					
Rubric					
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安(可)	
到達目標 1		哲学上の諸問題に関する基礎的な知識について、講義内容の詳細を踏まえて、説明できる。	哲学上の諸問題に関する基礎的な知識について、講義内容の概略を踏まえて、説明できる。	哲学上の諸問題に関する基礎的な知識について、講義内容の要点を踏まえて、説明できる。	
到達目標 2		論理に矛盾がなく、十分な分量で自分の主張を議論用資料として文章にまとめることができる。	十分な分量で自分の主張を議論用資料として文章にまとめることができる。	論理にやや不明瞭な点があるが、自分の主張をある程度明確に文章にまとめられる。	
到達目標 3		議論に主体的にかかわり、周囲の意見を尊重できる。	議論にかかわり、周囲の意見を尊重できる。	議論へのかかわりが不十分だが、ある程度周囲の意見を尊重して耳を傾けられる。	
Assigned Department Objectives					
Teaching Method					
Outline	自分自身もつまさまな疑問に対して、徹底的に考え抜くことが哲学における基本的態度です。「哲学する」とはどのようなことかについて、西洋と日本の思想を取り上げつつ、講義してゆきます。そして、哲学上の諸問題に関する講義と議論用資料作成を・議論を通して、①それぞれの学生が「哲学する」ことができるように動機づけして、国際人として通用する柔軟な思考を養成します。②それぞれの学生が多様な価値観を認めつつ、自己の確立ができるようになります。				
Style	基本的に講義形式ですが、年4回議論の時間を予定しています。 【授業時間60時間】				
Notice	議論のための資料として、適宜、小レポートを提出してもらう予定です。レポートはUSBメモリー・メール等で受けつけるので、その心づもりをしておいてください。議論は年4回を予定しています。また、講義で述べたことについて定期試験で確認する方針なので、「講義をしっかり聴く」ことを心がけてほしいと思います。				
Course Plan					
			Theme	Goals	
1st Semester	1st Quarter	1st	「哲学」とは？	「哲学」と「思想」との相違について、説明できる。	
		2nd	「哲学」とは？	「哲学」と「思想」との相違について、説明できる。	
		3rd	「哲学」「philosophia」の語	「哲学」の語の由来について、説明できる。	
		4th	「哲学」「philosophia」の語	「哲学」の語の由来について、説明できる。	
		5th	「哲学」「philosophia」の語	「philosophia」の語の由来について、説明できる。	
		6th	「哲学」「philosophia」の語	「philosophia」の語の由来について、説明できる。	
		7th	議論	資料作成を通して自分の意見をまとめ、議論を通して周囲の意見を認められる。	
		8th	西洋における哲学上の諸問題 1	デカルトを中心にした主観客観の一致問題について、説明できる。	
	2nd Quarter	9th	西洋における哲学上の諸問題 1	デカルトを中心にした主観客観の一致問題について、説明できる。	
		10th	西洋における哲学上の諸問題 2	ロック・ヒューム等を中心にした主観客観の一致問題について、説明できる。	
		11th	西洋における哲学上の諸問題 2	ロック・ヒューム等を中心にした主観客観の一致問題について、説明できる。	
		12th	西洋における哲学上の諸問題 3	カント・ヘーゲルを中心にした主観客観の一致問題について、説明できる。	
		13th	西洋における哲学上の諸問題 3	カント・ヘーゲルを中心にした主観客観の一致問題について、説明できる。	
		14th	西洋における哲学上の諸問題 3	カント・ヘーゲルを中心にした主観客観の一致問題について、説明できる。	
		15th	議論	資料作成を通して自分の意見をまとめ、議論を通して周囲の意見を認められる。	
		16th	【答案返却時間】		
2nd Semester	3rd Quarter	1st	日本における哲学上の諸問題 1	『古事記』を中心にした古代人の思想について、説明できる。	
		2nd	日本における哲学上の諸問題 1	『古事記』を中心にした古代人の思想について、説明できる。	
		3rd	日本における哲学上の諸問題 1	『古事記』を中心にした古代人の思想について、説明できる。	
		4th	日本における哲学上の諸問題 2	言霊の思想を中心にした古代人の思想について、説明できる。	

		5th	日本における哲学上の諸問題 2	言霊の思想を中心にした古代人の思想について、説明できる。
		6th	議論	資料作成を通して自分の意見をまとめ、議論を通して周囲の意見を認められる。
		7th	日本における哲学上の諸問題 3	禅の思想・道元を中心に中世人の思想について、説明できる。
		8th	日本における哲学上の諸問題 3	禅の思想・道元を中心に中世人の思想について、説明できる。
	4th Quarter	9th	日本における哲学上の諸問題 3	禅の思想・道元を中心に中世人の思想について、説明できる。
		10th	日本における哲学上の諸問題 3	実存主義の思想について、説明できる。
		11th	日本における哲学上の諸問題 4	世阿弥を中心に中世人の思想について、説明できる。
		12th	日本における哲学上の諸問題 4	世阿弥を中心に中世人の思想について、説明できる。
		13th	日本における哲学上の諸問題 5	千利休を中心に近世人の思想について、説明できる。
		14th	日本における哲学上の諸問題 5	千利休を中心に近世人の思想について、説明できる。
		15th	議論	資料作成を通して自分の意見をまとめ、議論を通して周囲の意見を認められる。
		16th	【答案返却時間】	

Evaluation Method and Weight (%)

	定期試験	小テスト	ポートフォリオ	発表・取り組み姿勢	その他	Total
Subtotal	60	0	0	0	40	100
基礎的能力	60	0	0	0	32	92
専門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	8	8

Anan College		Year	2020	Course Title	法学
Course Information					
Course Code	1194611		Course Category	General / Elective	
Class Format	Lecture		Credits	School Credit: 2	
Department	Liberal Arts and Sciences		Student Grade	4th	
Term	Year-round		Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	ガイドブック法学（嵯峨野書院）				
Instructor	Imada Hiroyuki				
Course Objectives					
1. 法規範の特質、法分類、裁判手続の基本について説明できる。 2. 憲法の基本的人権論、司法審査理論について説明できる。 3. 民法、刑法などの原理・制度・運用について説明できる。					
Rubric					
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限の到達レベル（可）	
到達目標1		法規範の特質分析や法分類の意義、裁判手続における立証責任の意義について説明できる。	法規範の特質、法分類、裁判手続の基本的概要について説明できる。	法規範の特質、法分類、裁判手続の基本的要点について説明できる。	
到達目標2		憲法の基本的人権に関する判例の意義と課題を説明できる。	憲法の基本的人権論、司法審査理論について概要を説明できる。	憲法の基本的人権論、司法審査理論の要点について説明できる。	
到達目標3		民法、刑法などの原理・制度・運用について説明できる。	民法、刑法などの原理・制度の概要について説明できる。	民法、刑法などの原理・制度の要点について説明できる。	
Assigned Department Objectives					
Teaching Method					
Outline	この科目では、具体的な法文や訴訟判例を素材に、現行法の制度・運用について検討し、各自が法的思考能力を身に付けることを目標とする。				
Style	授業では、先ず、「法学基礎論」で法学の基礎的知識や方法論を学び、次に「法学各論」で各法分野につき、制度や運用に関する具体的な法文や訴訟判例の検討を通じて、法的思考方法を習得する。				
Notice	日常的に、様々な現実社会の問題について、法的観点から考えてみるようにして下さい。新しい立法や裁判の動向、権利や自由に関する時事的な話題にも積極的に目を向けましょう。参考書：法学部、ロースクール、司法研修所で学ぶ法律知識(ダイヤモンド社)				
Course Plan					
			Theme	Goals	
1st Semester	1st Quarter	1st	法とは何か	社会規範としての法の特質、法の諸分類について説明できる。	
		2nd	法とは何か	社会規範としての法の特質、法の諸分類について説明できる。	
		3rd	法の解釈	法の解釈技術について説明できる。	
		4th	法の解釈	法の解釈技術について説明できる。	
		5th	法の解釈	法の解釈技術について説明できる。	
		6th	裁判の構造	裁判手続の基本的構造、立証責任について説明できる。	
		7th	裁判の構造	裁判手続の基本的構造、立証責任について説明できる。	
		8th	裁判の構造	裁判手続の基本的構造、立証責任について説明できる。	
	2nd Quarter	9th	憲法の基本的人権保障	基本的人権、司法審査制、二重の基準論について説明できる。	
		10th	憲法の基本的人権保障	基本的人権、司法審査制、二重の基準論について説明できる。	
		11th	憲法の基本的人権保障	基本的人権、司法審査制、二重の基準論について説明できる。	
		12th	憲法の基本的人権保障	基本的人権、司法審査制、二重の基準論について説明できる。	
		13th	民法	債権、契約、不法行為、物権などについて説明できる。	
		14th	民法	債権、契約、不法行為、物権などについて説明できる。	
		15th	民法	債権、契約、不法行為、物権などについて説明できる。	
		16th	期末試験答案返却		
2nd Semester	3rd Quarter	1st	民法	債権、契約、不法行為、物権などについて説明できる。	
		2nd	民法	債権、契約、不法行為、物権などについて説明できる。	
		3rd	消費者保護法	特定商取引法、消費者契約法などについて説明できる。	
		4th	消費者保護法	特定商取引法、消費者契約法などについて説明できる。	
		5th	消費者保護法	特定商取引法、消費者契約法などについて説明できる。	

4th Quarter	6th	製造物責任法	製造物、製造業者、欠陥責任などについて説明できる。
	7th	製造物責任法	製造物、製造業者、欠陥責任などについて説明できる。
	8th	製造物責任法	製造物、製造業者、欠陥責任などについて説明できる。
	9th	刑法	罪刑法定主義、犯罪成立要件、刑罰などについて説明できる。
	10th	刑法	罪刑法定主義、犯罪成立要件、刑罰などについて説明できる。
	11th	刑法	適正手続原則、刑事手続の全体構造などについて説明できる。
	12th	刑事訴訟法	適正手続原則、刑事手続の全体構造などについて説明できる。
	13th	刑事訴訟法	適正手続原則、刑事手続の全体構造などについて説明できる。
	14th	労働法	労働基準法、男女雇用機会均等法などについて説明できる。
	15th	労働法	労働基準法、男女雇用機会均等法などについて説明できる。
	16th	期末試験答案返却	

Evaluation Method and Weight (%)

	定期試験	小テスト	ポートフォリオ	発表・取り組み姿勢	その他	Total
Subtotal	70	0	30	0	0	100
基礎的能力	60	0	20	0	0	80
専門的能力	10	0	10	0	0	20
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2020	Course Title	体育	
Course Information						
Course Code	1195101	Course Category	General / Elective			
Class Format	Lecture	Credits	School Credit: 1			
Department	Liberal Arts and Sciences	Student Grade	5th			
Term	First Semester	Classes per Week	2			
Textbook and/or Teaching Materials	なし/なし					
Instructor	Arai Osamu, Nakashima Hajime					
Course Objectives						
1.互いに協力し合い、主体的に練習やゲームの方法を工夫して運動を実践できる。 2.自己の能力に応じて、運動の技能や体力を身につけることができる。 3.安全に留意して運動や活動ができる。						
Rubric						
	理想的な到達レベル(優)	標準的な到達レベル(良)	最低限の到達レベル(可)			
到達目標1	自己及び、仲間の取るべき行動を適切に判断し、主体的に練習やゲームを工夫し、活動を円滑に実践できる。	自己の取るべき行動を判断し、他人と互いに協力しながら練習やゲームを工夫し、活動に参加できる。	練習やゲームに参加することができる。			
到達目標2	自己の能力を理解し、適切なプログラムを作成して運動の技能や体力を身につけることができる。	教員が指示したプログラムに従い、運動の技能や体力を身につけることができる。	教員の指示したプログラムに従い、運動の技能や体力を身につける取り組みができる。			
到達目標3	活動中、自己のみならず仲間も安全に留意し、必要に応じて危険を回避する行動を取る事ができる。	活動中、自己の安全に留意し、必要に応じて危険を回避する行動を取る事ができる。	教員の指示により、安全に留意することができる。			
Assigned Department Objectives						
Teaching Method						
Outline	運動を行うことにより、運動することの楽しさや喜びの実感、運動に必要な技能の習得及び体力の向上を図る。あわせて自ら意欲的に運動に取り組む姿勢や、生涯にわたって運動に親しむ態度を育てる。特に本授業では、生涯スポーツの観点から、自己の能力や興味関心に応じて種目を選択させ、運動を安全かつ楽しみながら実践できるよう、工夫・協力しながら学習することに重点を置く。					
Style	第1週目に種目を選択・決定し、半期を通じて該当種目を実施する。準備や運営を自主的に行うことで、生涯スポーツの基礎を身につける。 授業時間 30時間					
Notice	普段から健康管理を心がけ、風邪などにより授業を見学・欠席することの無いよう気をつけてください。 学校指定の体操服で活動してください。 天候等、やむを得ない事情により、実施種目は変更されることがあります。 前期の体育大会は授業時数に含まれますので、欠席しないようにして下さい。					
Course Plan						
		Theme	Goals			
1st Semester	1st Quarter	1st	種目選択と実践	(1)各種目のルールを理解し説明できる。		
		2nd	種目選択と実践	(2)各種目の基本的な個人技能を習得する。		
		3rd	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		4th	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		5th	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		6th	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		7th	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		8th	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
	2nd Quarter	9th	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		10th	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		11th	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		12th	種目選択と実践	(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		13th	体育大会(前期)	(1)参加する種目で、仲間と協力してゲームを実践できる。		
		14th	体育大会(前期)	(1)参加する種目で、仲間と協力してゲームを実践できる。		
		15th	体育大会(前期)	(1)参加する種目で、仲間と協力してゲームを実践できる。		
		16th				
Evaluation Method and Weight (%)						
	定期試験	小テスト	ポートフォリオ	発表・取り組み姿勢	その他	Total
Subtotal	0	0	0	0	100	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	100	100

Anan College		Year	2020	Course Title	英語総合2
Course Information					
Course Code	1195211		Course Category	General / Elective	
Class Format	Lecture		Credits	Academic Credit: 2	
Department	Liberal Arts and Sciences		Student Grade	5th	
Term	Second Semester		Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	AFP World News Report 4, Makoto SHISHIDO, Seibido				
Instructor	Taninaka Toshihiro				
Course Objectives					
1. 教材(DVD及び英文エッセイ)で用いられている英語の語彙・語法を習得する。 2. 英語DVDを視聴し、その概要を正確に理解できる。 3. 英文エッセイを読んで、その概要を正確に理解できる。 4. 英語でのプレゼンテーションの形式を理解し作成できる。 5. 英語でのディバートの形式や表現を理解し、ディバートでの発話を作文できる。					
Rubric					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		最低限の到達レベルの目安
評価項目1	教材で扱われた語彙・語法を教材以外の類似の文脈でも理解できし、自らの英作文や発話に応用できる。		教材で扱われた語彙・語法を教材以外の類似の文脈の中で正しく理解できる。		教材で扱われた語彙・語法を教材中では正しく理解できる。
評価項目2	5分程度の英語DVDを視聴し、その概要を正確に理解し、要点をまとめることができる。		5分程度の英語DVDを視聴し、その概要を正確に理解し、英文での質問に英語の短文で答えることができる。		5分程度の英語DVDを視聴し、その概要を正確に理解し、選択肢のある英語での質問に答えることができる。
評価項目3	400語程度の英文エッセイを読んで、その概要を正確に理解し、要点をまとめることができる。		400語程度の英文エッセイを読んで、その概要を正確に理解し、英文での質問に英語の短文で答えることができる。		400語程度の英文エッセイを読んで、その概要を正確に理解し、選択肢のある英語での質問に答えることができる。
評価項目4	発表台本のノート欄を備え、聴衆の理解を助ける魅力的な画像を多く含む英語でのプレゼンテーションを作成できる。		発表台本のノート欄を備え、聴衆の理解を助ける最低限の画像を含む英語でのプレゼンテーションを作成できる。		発表台本のノート欄を備えた英語でのプレゼンテーションを作成できる。
評価項目5	英語でのディバートの構成やディバート特有の表現を理解し、ディバート用の英文を作文でき、口頭でも発話できる。		英語でのディバートの構成やディバート特有の表現を理解し、ディバート用の英文を作文できる。		英語でのディバートの構成やディバート特有の表現を理解できる。
Assigned Department Objectives					
Teaching Method					
Outline	環境・健康・科学技術などの題材を取り上げた英語DVDを視聴しながら聴解演習し、併せて関連エッセイを読解演習する。その過程でポピュラーサイエンス分野特有の語彙・語法に慣れる。また、これらの語彙や語法も利用しながら、自ら調べた内容も補足して、学習分野に関連した英文のプレゼンテーションを作成する。その際には、ディバートを想定した対立する2つの見方を盛り込み、ディバート形式の思考訓練をする。授業時間30時間、自学自習時間60時間				
Style	予習では、重要語句をチェックしながらDVDを視聴しておく。復習では、同じように重要語句をチェックしながら関連分野のエッセイを読んでおく。予習復習は自学自習ノートに記入しておく。授業中は、教科書の設問を利用しながら、復習として学習したエッセイの読解演習、予習しておいた新しい章の聴解演習を行い、語法のキーポイントを確認する。ディバートを想定した内容を盛り込んだ英文プレゼンテーションの作成は、グループ学習によって自学自習の一部として行う。 この科目は学修単位科目のため、事前・事後学習としてレポートやオンラインテストを実施する。				
Notice	1. 教科書付録のDVDを視聴できる環境を準備してください。 2. 授業には必ず辞書を持参してください。 3. 【重要】自学自習用にノートを1冊用意してください。ルーズリーフ及びリングノートは認めません。 4. 予習・復習に必要な語彙のヒントをmanabaに掲載します。プレゼンテーションの提出もmanabaを通して行うので、manabaにアクセスできる環境を準備してください。				
Course Plan					
			Theme	Goals	
2nd Semester	3rd Quarter	1st	オリエンテーション	シラバスの内容を理解する。	
		2nd	L1 Emojis	L1 聴解演習 語彙・語法の理解と作文への応用	
		3rd	L1 Emojis L2 Robots	L1 読解演習 L2 聴解演習 語彙・語法の理解と作文への応用	
		4th	L2 Robots L3 Shopping	L2 読解演習 L3 聴解演習 語彙・語法の理解と作文への応用	
		5th	L3 Shopping L4 Volunteering Overseas	L3 読解演習 L4 聴解演習 語彙・語法の理解と作文への応用	
		6th	L4 Volunteering Overseas L5 Pop vs Traditional Culture	L4 読解演習 L5 聴解演習 語彙・語法の理解と作文への応用	
		7th	L5 Pop vs Traditional Culture L6 Foreign Visitors	L5 読解演習 L6 聴解演習 語彙・語法の理解と作文への応用	
		8th	前期中間試験		
	4th Quarter	9th	L6 Foreign Visitors L7 English in Office	L6 読解演習 L7 聴解演習 語彙・語法の理解と作文への応用	
		10th	L7 English in Office L8 National Parks	L7 読解演習 L8 聴解演習 語彙・語法の理解と作文への応用	

		11th	L8 National Parks L9 Old and New	L8 読解演習 L9 聴解演習 語彙・語法の理解と作文への応用
		12th	L9 Old and New L10 The Paris Agreement	L9 読解演習 L10 聴解演習 語彙・語法の理解と作文への応用
		13th	L10 The Paris Agreement L11 Social Inequality	L10 読解演習 L11 聴解演習 語彙・語法の理解と作文への応用
		14th	L11 Social Inequality 英語でのディベートの手法	L11 読解演習 語彙・語法の理解と作文への応用 英語でのディベートの手法を理解する
		15th	英語ディベート演習	英語でのディベートを実践する
		16th	前期末試験答案返却	

Evaluation Method and Weight (%)

	定期試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	小テスト	Total
Subtotal	50	20	0	0	20	10	100
基礎的能力	50	20	0	0	20	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2020	Course Title	ドイツ語
Course Information					
Course Code	1195301		Course Category	General / Elective	
Class Format	Lecture		Credits	School Credit: 1	
Department	Liberal Arts and Sciences		Student Grade	5th	
Term	Second Semester		Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	Schritte International neu: Kurs- und Arbeitsbuch A1.1 (Max Hueber Verlag)				
Instructor	chang chinhui				
Course Objectives					
The aim of the course is to enable students to understand and speak German at a basic level.					
By the end of the course, students should have achieved the following:					
1. Gain basic proficiency and fluency in German pronunciation, grammar, use of vocabulary, etc.					
2. Communicate in German in everyday situations at a simple level.					
3. Develop strategies and attitudes conducive to further study of German.					
Rubric					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		最低限の到達レベル(可)
到達目標1	ドイツ語の発音規則に習熟し、始めて見る単語も正しく発音できる		ドイツ語の発音規則を習得し、既習の単語を正しく発音できる		ドイツ語のアルファベットを正しく読み、頻出単語を正しく発音できる
到達目標2	既習の会話表現を用いて、ドイツ語での会話をスムーズに行うことができる		既習の会話表現を用いて、ドイツ語で会話を行うことができる		既習の会話表現のうち頻出の表現を用いて簡単なあいさつや自己紹介等ができる
到達目標3	既習の文法知識を習得し、簡単な文を読んだり書いたりできる		既習の文法規則の多くを習得し、簡単な文の構造を把握できる。		既習の文法規則のうち、規則動詞の変化など、ごく基本的なものを習得している
Assigned Department Objectives					
Teaching Method					
Outline	The course is based on the German textbook "Schritte international Neu 1", which is adapted for German beginners. At the beginning of the course, the basic rules of the pronunciation of German will be introduced and practiced in the class. The following course content will be organized around three broad topic areas which provide contexts for the acquisition of vocabulary and the study of grammar and sentence structures: (1.) Greetings and Introductions; (2.) Family and Friends; (3.) Eating and Drinking.				
Style	The course introduces the language for everyday purposes such as introducing oneself, giving greetings, describing everyday life. A variety of classroom activities will be designed for developing four basic skills: listening, speaking, reading and writing. Students are expected to participate actively in class activities and prepare for lessons before class.				
Notice	1. The course is taught mainly in German. Japanese and English can be used as auxiliary languages in class. 2. Students must have attended at least 2/3 of their classes. Students who miss classes are required to inform themselves about the course content they have missed by asking their colleagues or contacting the teacher. 3. Students' degree of effort, attitude (active or passive), and participation are assessed.				
Course Plan					
			Theme	Goals	
2nd Semester	3rd Quarter	1st	Introduction to German Alphabets and Pronunciation	Alphabets and Pronunciation	
		2nd	Introduction to German Alphabets and Pronunciation	Exam (Alphabets and Pronunciation)	
		3rd	Lesson 1: Guten Tag. Mein Name ist...	Vocabulary and Greetings: Hallo! Auf Wiedersehen.	
		4th	Lesson 1: Guten Tag. Mein Name ist...	Self-introduction: Mein Name ist Richard Yulu. Home Country and Languages: Ich komme aus Spanien. Ich spreche Italienisch und ein bisschen Deutsch.	
		5th	Lesson 1: Guten Tag. Mein Name ist...	Spelling and Telephone Conversations: Maria: M-A-R-I-A. Business Cards and Forms	
		6th	Lesson 1: Guten Tag. Mein Name ist...	Exam and Review (Lesson 1)	
		7th	Lesson 2: Meine Familie	Vocabulary and Greetings: Wie geht es Ihnen? - Danke, sehr gut.	
		8th	Lesson 2: Meine Familie	My Family: Das ist mein Vater. My Residence: Ich komme aus der Schweiz. Ich wohne in Deutschland.	
	4th Quarter	9th	Lesson 2: Meine Familie	Numbers: 0-20 Personal Information: Wo sind Sie geboren?	
		10th	Lesson 2: Meine Familie	Exam and Review (Lesson 2)	
		11th	Lesson 3: Essen und Trinken	Vocabulary and Queries: Wie heißt das auf Deutsch?	
		12th	Lesson 3: Essen und Trinken	Quantifiers: zwei Bananen, ein Kilo Kartoffeln... Shopping List: Käse, Tee, Eier...	
		13th	Lesson 3: Essen und Trinken	Prices and Quantities: Was kosten 100 Gramm Käse? My Favorite Food: Mein Lieblingsessen ist Pizza.	

	14th	Lesson 3: Essen und Trinken	Exam and Review (Lesson 3)
	15th	Final Exam	Oral Exam
	16th	Final Exam	Conclusion and Review

Evaluation Method and Weight (%)

	定期試験	小テスト	ポートフォリオ	発表・取り組み姿勢	その他	Total
Subtotal	30	40	20	10	0	100
基礎的能力	30	40	20	10	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2020	Course Title	中国語	
Course Information						
Course Code	1195302	Course Category	General / Elective			
Class Format	Lecture	Credits	School Credit: 1			
Department	Liberal Arts and Sciences	Student Grade	5th			
Term	Second Semester	Classes per Week	2			
Textbook and/or Teaching Materials	1年生のコミュニケーション中国語 (白水社)					
Instructor	Zhao Tong					
Course Objectives						
1.中国の文化と生活に関する基礎的な知識を理解し、最新の中国事情を知る。 2.中国語の発音と基本な文法を理解し、基礎的な日常会話ができる。						
Rubric						
	理想的な到達レベルの目安(優)	標準的な到達レベルの目安(良)	最低限の到達レベルの目安(可)			
評価項目1	中国語の社会事情、文化、生活に関することについて興味を持ち、理解できる。	中国の社会事情、文化、生活に関することについてある程度理解できる。	中国の社会事情、文化、生活に関することについて最低限理解できる。			
評価項目2	発音記号を見て、中国語を正しく発音できる。	発音記号を見て、中国語を発音できる。	発音記号を見て、ある程度中国語を発音できる。			
評価項目3	簡単な日常会話が流暢にできる。	簡単な日常会話ができる。	一部の簡単な日常会話ができる。			
Assigned Department Objectives						
Teaching Method						
Outline	中国の社会事情、生活・文化に関する基礎的な知識を理解するとともに、中国語の発音と表現に関する基礎知識、及び基礎的な会話を学習する。中国の最新の経済発展を授業の所々に紹介し、等身大の中国を理解する。					
Style	授業は会話に関する学習と練習を基本とする。					
Notice	外国語の勉強が話すことが大事なので、授業中、積極的な態度で声を出すこと。ただし、私語は絶対にやめてください。					
Course Plan						
			Theme	Goals		
2nd Semester	3rd Quarter	1st	ガイダンスとオリエンテーション	授業の進め方や評価方法と基準などを説明する。中国に対する理解を深めるために社会事情や文化を紹介する。		
		2nd	中国語の基礎：発音(母音) その1	発音記号と四声を使って、中国語の母音を発音できること。		
		3rd	中国語の基礎：発音(母音) その2	発音記号と四声を使って、中国語の母音が発音できること。		
		4th	中国語の基礎：発音(子音) その1	発音記号と四声を使って、中国語の子音を発音できること。		
		5th	中国語の基礎：発音(子音) その2	発音記号と四声を使って、中国語の子音を発音できること。		
		6th	自己紹介	「～は～である」を使って自己紹介できること。		
		7th	これは何ですか	疑問文を使って会話ができること。		
		8th	中間試験			
	4th Quarter	9th	これはいかがですか	指示代名詞と簡単な動詞を使えること。		
		10th	買い物	形容詞と量詞の使い方が理解できること。		
		11th	どこにありますか	数字、日付、時刻の表現を使えること。		
		12th	何がありますか	完了形の使い方を習得すること。		
		13th	ホテルにチェックイン	存在の表現を習得すること。		
		14th	何時にいきますか	時間の量の表現を習得すること。		
		15th	予備			
		16th	期末テスト			
Evaluation Method and Weight (%)						
	定期試験	小テスト	レポート・課題	発表	その他	Total
Subtotal	80	0	0	0	20	100
基礎的能力	80	0	0	0	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2020	Course Title	日本語の表現	
Course Information						
Course Code	1195501		Course Category	General / Elective		
Class Format	Lecture		Credits	Academic Credit: 2		
Department	Liberal Arts and Sciences		Student Grade	5th		
Term	First Semester		Classes per Week	2		
Textbook and/or Teaching Materials	高専日本語アビリティ I・II (阿南高専)					
Instructor	Tsuboi Taiji, Nishikori Hirofumi					
Course Objectives						
1. 社会マナー・ルール、敬語・表現ルールの基本を理解し、適切に用いて文章を作成できる。(I) 2. 流行語・方言等について関心を持ち、その諸相についての調査をふまえ、エビデンスを示して説明できる。(II)						
Rubric						
	理想的な到達レベル(優)		標準的な到達レベル(良)		最低限の到達レベルの目安(可)	
到達目標1	社会マナー・ルール、敬語・表現ルールの基本を理解し、適切に用いて文章を即応的に作成できる。		社会マナー・ルール、敬語・表現ルールの基本を理解し、適切に用いて文章を適切に作成できる。		社会マナー・ルール、敬語・表現ルールの基本を理解し、適切に用いて文章を作成できる。	
到達目標2	他者を尊重する議論を集団としてまとめ、新たな発想や視点を獲得し、自分の思いや考えを整理し深化させるとともに、それらに効果的な手法を効果的に説明できる。		他者を尊重する議論を集団としてまとめ、新たな発想や視点を獲得し、自分の思いや考えを整理し深化させるとともに、それらに効果的な手法を適切に説明できる。		他者を尊重する議論を集団としてまとめ、新たな発想や視点を獲得し、自分の思いや考えを整理し深化させるとともに、それらに効果的な手法を説明できる。	
Assigned Department Objectives						
Teaching Method						
Outline	広範囲な日本語を対象に、より高度な理解、柔軟な発想・思考、豊かな口頭表現を含む効果的なコミュニケーションや主体的な表現ができることを目的とする。					
Style	LMSにより、講義VTR視聴(テキストを用いた予習・復習を含む)、レポート提出(教員による添削指導を含む)、チームプロジェクト等を実施する。実授業は、それらの学習理解をふまえた討論、ファシリテーション、実技等により、振り返りを中心とする。この科目は学修単位のため、事前・事後学修としてレポート(オンラインを含む)、授業VTR視聴(レポートとセット)を課す。 【授業時間30時間+自学自習時間60時間】					
Notice	LMSの活用環境を整備しておくこと。					
Course Plan						
			Theme	Goals		
1st Semester	1st Quarter	1st	社会の課題の確認(坪井)	ブレイン・ストーミング法・KJ法等を活用し、社会の課題を確認できる。		
		2nd	短歌(錦織)	短歌の基本を説明し、作成できる。		
		3rd	社会の課題の調査①(坪井)	社会の課題について、調査計画書を作成できる。		
		4th	俳句(錦織)	俳句の基本を説明し、作成できる。		
		5th	社会の課題の調査②(坪井)	社会の課題について、調査できる。		
		6th	敬語(錦織)	敬語の基本を説明し、運用できる。		
		7th	社会の課題の調査②(坪井)	社会の課題について、報告できる。		
		8th	前期中間試験	学習のまとめ		
	2nd Quarter	9th	通信文(錦織)	通信文の基本形について説明し、作成できる。		
		10th	人間力①(坪井)	社会で求められる分野横断的能力について、行動特性を抽出できる。		
		11th	電話(錦織)	電話対応の基本を説明し、運用できる。		
		12th	人間力②(坪井)	社会で求められる分野横断的能力について、行動特性を共有できる。		
		13th	記録・報告(錦織)	記録・報告の基本を説明し、運用できる。		
		14th	人間力③(坪井)	社会で求められる分野横断的能力について、行動特性の点から考察できる。		
		15th	短文(錦織)	短文によって表現内容をまとめることができる。		
		16th	答案返却			
Evaluation Method and Weight (%)						
	定期試験	小テスト	ポートフォリオ	発表・取り組み姿勢	その他	Total
Subtotal	40	0	45	15	0	100
基礎的能力	40	0	35	0	0	75
専門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	10	15	0	25